夕刊 滿洲日報 五月六日

政局推移の默契と政策の完全な合一

床次氏肚裡に在る入閣條件

新黨は氣乘り薄し

【東京特電六日發】田中內閣の改造に際して床次氏を入閣せしむることに對しては薩派の人々を中心に反對運動起りつゝある一方、床次氏自身も無條件の入閣には頗る氣乘り薄であり政友會と新黨クラブとが對等の立場に於て

一、政局の將來に對する局面打開につき意見が全然一致せる場合（即ち適當の時機において政權を床次氏に讓り政友會が之を援助すること）

二、政策上の協定成立の場合（即ち政友會が兩稅委讓を斷念し財政の緊縮を斷行し金解禁を行ひ其他の諸政策に於て民心の一新を圖ること）

以上の二項につき意見の一致を見なければ、此の際輕々しく政友會の勸說に應ずることは出來ぬと考へてゐる、然しながら斯くの如き場合は寧ろ兩黨の合同となるべきものであるので新黨クラブの大勢は單に政友會との友好關係を持續して將來の立場を有利ならしむることを希望し、床次氏の入閣問題には餘り興味を有せぬもの〻如くである

內閣改造方針は全部首相に一任

與黨內の大勢一致す

【東京六日發電】內閣改造が如何なる範圍に行はれるか、又床次氏の入閣が果して實現するか否かは一般に興味を以て見られてゐるところであるが、閣內及び與黨內にてもそれ〴〵の立場に依つて異つた意見を有し、田中首相の處置如何に依つては如何なる

紛擾 を釀さんも圖られないので田中首相も此等の情勢については充分注意を拂ひ萬全を期すべく種々考慮してゐるが最近に至り一部閣僚並に與黨內部に於て此の際黨出身閣僚は全部一應進退を首相に一任し首相をして自由に手腕を揮はしめよとの意嚮が擡頭して來た、即ち之は自己の利害關係に依つて首相の內閣改造に對する意志を鈍らせんとする一部閣僚や政務官に對する

牽制 運動であり且つ黨內區々の意見を退け黨の統制を亂さゞらんとするの意志より出たもので結局は黨の大勢を制するに至るべく內閣改造具體化し床次氏入閣問題が本舞臺に入らんとするに至らば各閣僚も進退の一切を擧げて首相に一任することにならうと見られる

不戰條約案近く御諮詢奏請

政府樞府の諒解成る

【東京六日發電】不戰條約案御諮詢奏請の時期、並に問題の文句に關しては樞密院方面の情勢に鑑み擧げて田中首相に一任してあるが田中首相は極力之が善後處置につき考究奔走した結果案は原案の儘として附帶條項として「第一條中の人民の名に於ての文句に限り我國に關係せざるものと諒解す」との聲明を加へて御諮詢を仰ぐ事に樞府方面とも大體諒解が出來たので首相は十四日頃の閣議に於て一應承認を求め御諮詢奏請の手續きを採り本月中には御批准を終る方針である、田中首相は五日午後六時堀田歐米局長を官邸に招致し不戰條約問題御諮詢の手續きを採ることについて約一時に亘り協議した

首相、內田伯に辭意を飜すやう勸告

【東京六日發電】政府と樞府との間に折衝を重ねてゐる不戰條約の字句問題については政府は大體に於て樞府の主張を是認することゝなつた模樣で、之に對し內田伯は全權として調印した關係上深く其の責任を感じ樞府にて遂に態度を確定する以上辭職するが當然なりとの考へより此の程近親者に辭意を洩らしたとのことであるが然るに若し內田伯が辭表を提出せば當面の責任者たる田中兼外相の責任にまで波及すると云ふので田中首相は內田伯に辭意を飜へすよう勸告したと云はれてゐるが、政府が樞府に屈服する以上責任問題は今後喧ましくなるものと見られてゐる

拓省設置と朝鮮除外問題の紛糾

責任は政府に在りと

貴族院方面の注目

【東京六日發電】樞密院で問題となつて居る拓殖省官制勅令案中朝鮮總督の權限論に對しては議會中より貴族院方面で相當出親し豫算案議決の本會議でも石塚英藏氏よりこの點につき政府の方針を質問した程であるが、樞府精査委員中齋藤氏の投げた一石は朝鮮各地に意外の衝動を與へ、國民協會その他六親日團體を中心に、朝鮮除外運動は相當熾烈となりつゝあるに鑑み、貴族院各派間には問題の性質から見れば新外領土を政府部內並に議會に對し主張する機關の設置は海外關係地において當然歡迎さるべきにかゝはらず、今日朝鮮にて種々な論議が行はれつゝあることは事前に省設置理由を理解せしめなかつたによるもので、殊に齋藤その他と異り朝鮮は總督府官制にも明記して居る通り拓殖省設置の曉には當然總督の權限問題に觸れるは豫知さるべきことで政府、朝鮮當局の失態を責ねばならぬと稱してゐる

米獨諒解成る

賠償問題妥協案

【巴里四日發電】賠償問題專門委員獨逸代表シヤハト氏は本日公式にアメリカ代表ヤング氏提案の妥協案を條件つきで承認した

黑田次官一行けふ來連す

出迎人で埠頭賑ふ

滿洲における國有財產調査の重要任務を擔ひ來滿せる黑田大藏次官一行十名は六日入港のはるびん丸で來連したが神田內務局長、田中大連民政署長、藤井庶務課長、櫻井遞信局長、大津經理課長、神鞭滿鐵理事、竹中同經理部長、藤井同秘書役、佐藤商議會頭等が沖に出迎へた、一行は黑田次官を始め會計檢査院第一部長河野秀男、大藏省國有財產課長安江好治、大藏省銀行局特別銀行課長大野龍太、大藏省事務官荒川昌三、貴族院議員藤田四郎、衆議院議員菅原傳、陸軍省經理局一等主計八木光三、管財局屬田村兵吉、主計局屬今井一男

一行は零時半船が岸壁に着くと同時に秋山埠頭長の先導で

一先づ 待合所內の貴賓室に少憩しその後、滿鐵差廻しの自動車に分乘、ヤマトホテルに入つた一行は午餐後、直に滿鐵の一般經濟狀態その他に就き說明をうけ、更に關東廳側より長澤土木出張所長より大連の市街計畫に就き一場の說明あり續いて佐藤商議會頭その他より商議會議より滿洲金融制度改革等に就き說明及陳情を受けた

銀資供給に就ては實情を聽いて考慮

信託會社問題は尚ほ相談中

黑田大藏次官談

今度やつて來たのは關東州に於ける國有財產調査と滿洲の經濟視察が目的である、國有財產調査は內地は既に終り朝鮮は去年行つたので今度は關東州と云ふ譯である、滿鐵の信託會社は信託法が關東州に布いてないので其の設立はどうかと思ふが目下滿鐵とも相談中である、銀資金の融通を主とする證券會社に就ては未だ聞いては居ないが、對支關係もあり、當地の經濟界を調査し且つ色々當地の人々とも話して見た上でなければどうとも云へない、數年前銀資金を供給する中央銀行設立に關して大藏省から事務官が滿洲に調査に來たこともあるが、當時と今日とは事情を異にし正金や東拓もあることだ、又支那關係もあり只機關ばかり備はつたところで實際に適合せねば何んにもならぬ、まあ調査してからのことだ

滿洲經濟の視察だけ

菅原傳氏語る

黑田次官一行と共に滿洲の國有財產調査のため同行來連した我政黨界の長老衆議院議員菅原傳氏は語る

滿洲にはズツと昔、日露戰爭の時來た丈けで、それから約二十四、五年の月日が流れてゐる、何か言ひたいが何分そんな昔の觀念を土臺にしては話にはならんだらう、まあ今度この一行に加つたのを幸ひ、よく視察するんだね、何滿鐵民營問題かね、それはむしろ君たちの方が詳しいから、私等は船の無電で承知した位だ、今度來た事に就いて色々な觀察が下されてゐる樣だが、私自身は滿洲の經濟視察に來たまでだ

大連の日程

六日着連した大藏次官一行の大連に於ける日程は左の如くである

△六日正午滿鐵の招待に州廳、滿鐵からは理事以下部長及部長待遇者十三名列席した

△七日午前滿蒙資源館、中央試驗所、沙河口工場視察

△八日午前西崗子公學堂、取引所、日清油房、華工收容所視察、午後關東廳救療所、窯業會社、露天市場視察

△九日午前八時ヤマトホテル發自動車にて旅順へ、途中龍王塘水源地視察

△十日午後旅順發大連へ

尚沿線視察日程は既報の通りであるが滿鐵からは築島信司氏が主として案內の役に當ると

旅順視察日程

黑田大藏次官一行の旅順に於ける視察日程は左のごとくである

△九日　午前八時大連發同九時頃旅順着十時半より約一時間に亘り關東廳關係事項につき打合せ正午軍司令官主催の午餐會に臨み陸軍所管地博物館を視察、午後六時木下長官主催の晩餐會

△十日　午前八時半師範學堂、警官練習所、工科大學、矢原氏經營の鹽田、郵便局敷地、警察署海軍所管地を視察、正午久保田駐在武官主催の午餐會に臨み午後一時より戰跡、戰利品陳列所を見學四時半自動車で大連に向ふ

官民合同で一行の歡迎會

十日夜開催

黑田次官一行の大連官民合同の歡迎會は田中民政署長、石本市長、佐藤商議會頭發起の下に十日午後六時三十分からヤマトホテルに於て開催されるが會費は金六圓、出席希望者は大連商工會議所宛申込まれたしと

次官一行の宿所

黑田大藏次官一行十名の大連に於ける旅館は左の如くである

▲黑田次官　ヤマトホテル四番

▲河野會計檢査院第一部長　同上三番

▲菅原代議士　同上八番

▲藤田貴族院議員　遼東ホテル新館二番

▲安江國有財產課長　ヤトホテル十五番

▲大野特銀課長　同上十八番

▲荒川主計局主計官　同上十四番

▲八木陸軍一等主計　同百八番

滿洲青年議會

六月初め大連に開會

滿洲青年聯盟本部は沿線各理事參集して理事會を開催中であつたが第一回議會を近く大連に開催することに決定し五月二十日迄に議員の總選擧を行ふ手筈となつたから各地に於ても日ならずして猛運動が起るであらう、因に第一回議會開催期日は小日山理事長旅行中の爲未だ確定せざるも多分六月一二三日の三日間滿鐵協和會館に開會の豫定である

最近著しい州內各會の發達

昭和四年度に於る業績

現在會の施設せる事業の主なるものは、敎育であつて警備、勸業等之に次ぎ其の他土木、衛生、地方改良、屠獸場、市場等公共の事業を經營してゐるが、敎育施設としては普通學堂を設置經營して支那兒童の初等敎育を行つてゐる、近年漸く施設整ひ就學兒童も增加各會共校舍の增築を要する現況である

勸業に 關しては苗圃の經營、模範菜果樹園、蠶業試驗、牛豚種の改良等の施設をなし、他面農會又は畜產組合に對し相當の補助をなし之等團體の活動を促し農村の振興を圖りつゝある、しかして昭和四年度管內各會の經費豫算總額は百十一萬五千餘圓で前年より六萬餘圓を增加した、會稅の收入は七千九萬餘圓で歲入の七割強を占め（內反別割五十五萬圓—歲入の四割九分—戶別割十四萬六千餘圓—一割三分二厘—）

特別稅 九萬一千餘圓入、稅外收入は三十二萬四千餘圓にて歲入總額の二割九分に當つてゐる、之が割當率は戶別割一戶平均一圓九十二錢二厘、一人當り二十六錢八厘、反別割一畝平均二十四錢九厘で、會稅の一戶平均は十圓三十四錢九厘一人當りは一圓四十四錢四厘となり、前年に比して一戶當り五十九錢三厘、一人當にて七錢八厘を減じた

歲出は 普通學堂費の三十五萬二千七百八十九圓（前年より一萬八千餘圓增）を筆頭として事務所費の二十八萬圓、警備費七萬五千餘圓、勸業費五萬餘圓、土木費一萬五千餘圓、地方改良費二萬三千餘圓、基本財產造成費三萬二千餘圓、臨時部には補助費六萬五千餘圓等の支出が重なるものであるが、最近に於ける會自治、財政及事業の發達は之によりても頗る著しきものあることが觀取される

北滿支那側要人張學良氏に進言

日本側の吉會線問題交涉で兎角長引く滯奉期間

【哈爾濱特電四日發】張作相吉林省政府首席張景惠東支督辦、呂榮寰東支副督辦等北滿支那側要人が昨年以來屢出奉し、その都度滯在が長引いた理由は東支鐵道問題、對露外交並に通商問題及び對南問題などに關して奉天幹部と種々打合せのためでもあらうが、主なる

原因と しては張學良氏が南京政府と連絡をとりつゝ吉會線問題に關する日本側からの交涉に對し政策的に善處するため吉會線と深い關係の地位にある吉林省及び東支鐵道首腦者の滯奉進言を必要とするによるものであると見てゐる、而して吉會線問題も孰何とか決せねばならぬ際、南方政府と連絡をとる上に且つは又直接交涉に當つて智謀を與へたものは北滿の事情に明るい張作相並に張景惠及び鐵道通の呂榮寰の諸氏であるから問題が未だ解決せず再び日本からの

交涉が 豫期される今日張景惠並に張作相の兩氏は職務の都合で今週中あたりには一旦歸任するであらうが呂氏の歸哈はまだ〳〵遲れるものと見られると想像してゐる

けふ來連した黑田大藏次官

證券會社を設立し信託の機能を發揮

滿鐵社長に手續せば許可すると

藏相、意向を傳ふ

滿鐵の信託會社設立については屢報の通り關東州內に信託業法の適用なくまた近く之を施行することも不可能な事情にある關係から、申請中の該會社は大藏省銀行局にて難色があり遂に調査研究の結果資本金一億圓程度の證券會社を設立し之に依て信託會社と略同樣の機能を發揮せしむることに大藏、滿鐵兩者の諒解成り、四日山本社長と會見の際、三土藏相は更めて申請手續きを執る上は取急ぎ認可する旨を告げた

證券會社變更は未定の問題

小日山滿鐵理事談

滿鐵が政府に認可の申請をした信託會社は資本金一億圓で五千萬圓拂込み即ち會社所有の有價證券及現金三百五十萬圓を出資し該證券の取扱は勿論支那側の銀資吸收を希望してゐたが大藏省では信託會社としてでなく證券會社としての機能を

運用 した方がよいといふことで折衝中であつたので滿鐵は滿洲財界の目下單てなる證券會社でなく信託會社として運用することだとして提案した譯けだ、然し證券會社としての案は未だ絶對的のものでない、前述する大藏次官一行に信託會社の立案趣旨を大いに說明してその考慮を煩はす筈である、又假りに證券會社として

認可 を仰ぐにしても出中の信託會社案は當然會社組織に書類の變更をせねばならぬが未だこの手續きはしてゐないので證券會社として認可を見る筈はないことゝ思ふ

荻川放談 (33)

改革

滿鐵の改革と云ふ新聞報知が、頻りに東京方面から傳はる、議會も濟んだに、社長の歸任が遲いと思つたら、斯うした問題が在るゆゑと領かれる、改革なるかな、適正なる改革は進步と發達を意味する、滿鐵は生れて既に二十年を過ぐ、其間に殆ど改革と名のつくほどの改革を受けて居らぬに、四圍外國の情勢は全く一變の趣きあり、此情勢に鑑み滿鐵改革の聲も、各方面で幾らか聽こえぬでもなかつたが經濟界に於て經驗と智識に加へ鋭き手腕の所有者たる現社長によつて、此改革が考慮さるゝに深き意義を感ず。

◇

實務に携はらずして、當該事業の改革を云爲するものに對しては、其處に嚴密の校査を要すべきが、現社長によつての滿鐵改革は、實務に携はつての方寸策畫たり、尊敬して之を迎へ、僞軍に之が取扱ひを爲さゞるべからず、而して傳ふる如くんば、其改革は單に社內に止まらずして、國政にも關聯ありと爲すに於て殊に然りで、由來滿鐵のことゝし云へば、世間就中滿洲言論界は、針ほどのことをも棒と觀て、無暗に之を橫議するの僻がある、今度の改革案は針でない棒である、併し此の橫議だけは避けたい。

◇

幸ひ今度の改革案に對しまだ橫議と認むべきはない、否正論の發表さへ少きは、世間が此改革の重大性に鑑みて然るならん、若し東京方面の新聞報知が眞なりとせば、蓋し是れ現社長の滿鐵改革案の是非を公論に問ひたる事にもなるが、改革の重大性からして輕々しく之に論議を加へざるは甚に善い、縱し論議ありとも、社長自身が其抱負を公開するまで之れを待て、而して此間に問ふべきこと糺すべきことあらば、他に採るべき色んな手段もあるべし、要は滿鐵の改革に完全を期せんには、彼是それを議論して、之に邪魔の入らざることが大切なり。

◇

それにつけ、社長の改革案の一なりと云ふ、滿鐵に社長の諮問機關として、評議員會を置くと云ふ案件如きは、卽時に採擇して、之を以て其改革を審査せしめたく、是れ恰も今度英國勞働黨首領マクドナルドが、國家改造の前提として、政府組織を改造し、現在の政務機關たる各省を統一する爲め、別個の委員會を設定せんとする意見に似通ひて、頗る面白し、但し新たに選ばるゝ評議員が、單に實業界のみからと限られざることを希ふ

山崎課長歸連

新任遼陽師團長に挨拶のため赴遼中であつた山崎滿鐵文書課長は六日午前八時三十分着列車で歸連した

人事

▲高橋仁一氏（南滿電氣支配人）六日入港のはるびん丸にて歸連

▲田邊鐵氏（公主嶺取引所長）同上

▲廣瀨金藏氏（三泰油房重役）同上

▲德島在鄉軍人團一行十七名視察のため同上來連

▲長野縣實業補習敎員養成所生徒一行二十九名　同上

▲八幡濱商業學校生徒一行四十三名　同上

▲宮崎中學校生徒一行九十四名　同上

▲棚田豢造氏（本社整理部長）滿蒙課傳競爭の要務を帶びて五日午後九時發奉天へ出張

大觀小觀

軍備制限問題が、軍費公開決議だけで漸く纏まつた。眞の軍縮實現は前途遼遠。

◇

徹底的軍縮意見の露、支兩國が世界有數の陸軍國であるのは妙な現象。

◇

床次氏の入閣を薩派が阻止してゐる。いよ〳〵路頭に迷はせる積りか。サツパリ判らぬ。

◇

滿鐵改革案、流石に山条式だ。政府も一寸手がつけられぬらしい氣味ではある。

◇

南京派の高壓に對して、馮派あくまで隱忍す。此の隱忍が聊か無氣味ではある。

◇

市長も三月かゝつて出來た。助役も之に倣ふとある。

歌集　木蓮

長尾昌一

忍冬あまき香かげば七つなりし母の御前の吾のこひしき

日の一日さみしと思ふ旅宿のあしたに母を思ひいだして

大屋島夕べは月をむらさきに乙女のごとく騒ける波

落人のかなしき聲もこもるかに屋島の秋をなける蟋蟀

ひたひたと夕べは夢をさゝやくと屋島が浦の波のやさしさ

形あるものにもあらばとりいでゝいだき泣かましさみしき心

阿僧祇のはてなき時をなくともなほおもかげに人やうまるる

天氣豫報

七日（曇）南西の風　曇後晴

日出四時四九分　日沒六時五一分

滿潮前九時　後九時一五分

干潮前二時三〇分　後二時五五分

昭和の御前試合

優勝の四氏に名刀を授與

三組の銀盃と共に

【東京六日發電】五日晴れの御前試合に美事優勝の榮を贏ち得た栗原、木原、横山、持田の四氏は試合終了後五三の桐に菊模樣を打込んだ三組銀杯を優勝賞として授與されると同時に侍從職から御下渡になつた左の如き四口の名刀をそれぞれ授與された

▲栗原氏に宮本包則の御太刀(刀長二尺三寸四分、明治二十八年二月謹作)

▲木原氏に延壽正國の御太刀(刀長二尺二寸八分、明治二十八年四月謹作)

▲横山氏に羽山丹臣の御太刀(刀長二尺二寸、明治三十一年一月一日秋田にて謹作)

▲持田氏に備前祐永の御太刀(刀長二尺二寸八分、天保四年二月吉日備前長船住人横山加賀之介藤原朝臣祐永の作)

國粹を保存奬勵

一木宮相談

【東京六日發電】御前試合終了後一木宮相は左の如く語つた

氣候不順で寒さが後戻りした樣な今日長くも二時間の長い間陛下の臨幸を仰いだ光榮の御前試合に百六十六名の多數の選士が一人の故障もなくすらすらと進め得た事は我等主催者側として喜ばしいことであつた、特に昨夜の雨で今日の如き氣遣はれたが今日は寒くはあるが、一天紺碧の好天氣であつた之も神國に備はる天佑であらう、兎角日本人は四十を過ぎると老込勝ちであるが、今日の試合に依り若い者は勿論四十を越した老武者に尚ほ矍鑠壯者を凌ぐ概あるを見て武道の精神は此處だと肯かれた選士達の武道精神に則つた堂々たる勝負振りも今更の如く武道の清澄さを偲ばれたがわけて劍道の高野、中山、柔道の嘉納、山下四名人の「古式の型」はげにも勇壯典雅であつた、武道の眞底を流るゝ大神秘が自ら見る人の體內に浸潤するやう感ぜられた、今後も益々此の國粹を保存奬勵しなければなりませぬ

優勝の榮え

謙遜して感想を語る

【東京特電五日發】劍道府縣選士優勝者横山永十君は福島高商三年生で同校劍道部主將で今年二十三歳の青年である、同君は優勝の喜びを滿面に湛えて語る

何しろ選士は全國一粒選りの人々で皆私達より先輩で勝つ自信などはなかつた、決勝戰の畑生氏は精鍊證ではあり、最初横面に附け入つたところを胴を取られてゐるので、あとは唯夢中であつた、勝つて見ると唯感激するだけで何にも申上げられない

◇

更に指定選士として優勝した持田盛二君は語る

父は尚ほ八十餘歳の高齢で群馬縣に居り、小野派一刀流の免許を持つてゐるので、十二歳の時から稽古を強いられた、日清役後劍道が盛んになつた時である二十五歳の時、京都に出て修行した、相手の高野先生は私のズツと先輩で、とても勝てる人ではなかつたが、右足を痛められてゐたので勝たして貰つたやうなものである

◇

柔道府縣選士優勝者木原久雄君は次のごとく語る

私の柔道は十三歳の時、山口縣防府中學に入つて始めて、中學の時初段、明治專門學校在學中に四段まで進みました、勤務先の八幡製鐵所の方が忙がしいので十分稽古も出來なかつたし、試合は唯夢中でやつただけでした

◇

指定選士優勝者栗原民雄君は左のごとく語る

審判方法には意見もあつたが試合は力限りやりました、今日の勝因は平常の無休主義の賜と思ふ、性來鈍感なと先生に注意されてゐたため無休主義で練習に努めたのであります

高野畑生氏の敗因

中山師範批評

【東京特電五日發】御前試合の指定選士及び地方選士の決勝戰々績に就審判中山博道氏は批評し語る

高野茂義(大連)對持田盛二(京城)の試合は最初から持田優勢であつた、高野は得意の片手上段で幾度か小手を試みたが成らず持田亦た得意の突きを三度試みたが、お互に得意が奏効しなかつたのは互に用心したためで模範試合らしきものであつた、高野の破綻は振りカブらうとする刹那に飛び込まれたのである最後に上段の小手をとられたのは將に動作を始めやうとして既に前方に左足が動きかゝつたとき即ち出鼻をやられたことが敗因であらうと思ふ又、畑生對横山は双方よく戰つたが横山は先づ小手に當てたが不充分でとれなかつた、畑生の破綻は出鼻小手をとられたのである、稽古から見ると畑生の方が修練が積んで居るやうであるが横山は氣分で勝つたといへる

「金剛呪門」映畫會讀者優待割引券(一枚一人)
(この券持參者に限り割引優待)
演藝館及び沙河口劇場共通
主催 滿洲日報社

流行性腦脊髓膜炎 芝罘に侵入猖獗

公安局から注射液購入に來連

大連港で嚴重防疫

流行性腦脊髓膜炎は殆ど支那全土に蔓延し、日々の死亡者も相當の數に上つてゐるが、この大連港とは最も近接の間にある芝罘においても恐ろしい勢ひで流行しつゝある旨當地海務局に報じられた六日早朝芝罘より入港の海勇丸にて煙臺市立公安局醫官趙子平氏が來連したが芝罘西南河下縣一帶に三週間前より同病患者續出し既に三名死亡するに至つたので同氏はワクチン液購入の爲來連したものであつて氏の語るところによると尚續發する模樣である

關東廳に達した報告によれば上海方面に於ける同病の流行は頗る猛烈で三月末までは一日平均二十名の發生であつた所四月に入つては上旬に於いて一日平均二十名中旬二十七名下旬三十名の割合で發生し計八百名の發生を見、二百五十名の死亡者を出したが前月に比すると約十倍の增加である

而して關東廳衞生課では同方面との交通に關し嚴重に取締を行ひ病菌の侵入を防ぐことゝなつた

一般婦人の參加希望

五月祭練習會

本年初めての催しで各方面から少からず興味を以て迎へられてゐる大連市役所主催本社後援の五月祭りは愈十二日大連運動場に於て華々しく擧行されることゝなつたが、これに先だち七九兩日午後四時より彌生高等女學校に於て別項社告の通り舞踊練習會を開き晴れの日に備へることゝなつたが各團體のほか一般婦人の參加を歡迎する

「金剛呪門」映畫會

七八日兩夜沙河口劇場で

本紙連載の「金剛呪門」の映畫會は去る四日より本社主催の下に市內浪速館に於て開催し初日以來白熱的歡迎裡に素晴らしい人氣を博し連日連夜大入滿員で本年度の新記錄を作り札止めの盛況を呈してゐるが、西部本紙讀者のために七八日の兩夜沙河口劇場に於て上映することになつた、會費は七十錢と五十錢で讀者は優待券持參者に限り五十錢と三十錢に割引する

三井畫伯佛蘭西サロン入選

一昨年七月繪畫研究の爲佛蘭西に赴き巴里に留學中の當地の三井條太郎氏は今回首尾良くサロンフランセに出品せる「縫ふ女」「肖像畫」の二點當選し一躍世界的一流美術家としての名聲を獲るに至つた

因にサロンフランセと云ふのは國立の宛かも我が帝展の如きもので絕對的權威を持つて居り滿洲より斯くの如き美術家を出したるは實に我が在滿邦人の誇りと云ふ可きである

蛇のやうに人妻に附き纏ふ

執拗な行商の支那人

五日午前九時三十分ごろ大連近江町一五二物品行商胡玉章(四三)は兒玉町九滿鐵機關區員太田新吉(假名)方の裏口より侵入し折柄居合せた同人妻フキ子(假名、(二九))に對し柏餅を進上するとて同女の歡心を買ひ怪しげな擧動に出るのでフキ子は底氣味惡くなり屋外に逃げ出さんとしたが、戶口に立ち塞がり同女を抱きすくめんとした騷ぎに新吉の實弟精一(二〇)がその筋に訴へたので北公園派出所より警官驅け付け取押へた

この痴漢は昨年七月ごろも眞夜中に主人の不在中表入口より同家に侵入し就床中のフキ子を襲ひフキ子のため刺身庖丁を以て左手甲に一擊を與へられその儘逃走したもので當時の傷痕はまだ左手甲に殘つてゐたが、フキ子は附近で評判の美人な爲め胡玉章は昨年來懸想し執拗くつき纏つてゐたもので取調べの上取敢へず拘留十日に處せられた

グ公殿下御入京

寫眞(上圖)は秩父宮殿下と御同列にて霞ケ關離宮に向はせらるゝグロスター公殿下(下圖)は東京驛前に御出迎へ申し上げた在京英人

不人情な夫 妻を酌婦に賣り

精神病者となつたのを顧ぬ 國元から照會で發覺

小崗子署宛て數日前兵庫縣宍粟郡千種村字西山生れ見當りんから同人娘繁野(二)は市內丹後町二二理髮業清水林藏と結婚したが最近繁野は精神病者となつて同署で保護を加へられてゐると云ふ話で夫林藏に尋ねても返事もくれぬから繁野の現狀を御調査願ひ度いと照會して來たので同署保安係では早速林藏を取調べると

林藏は繁野を前借六百五十圓で長春吉野町二丁目紅矢ハル方へ酌婦に沈め繁野が泣きの涙で呻吟中遂に昨年末精神に異常を來たし稼業が出來なくなり小崗子署保安係の手で廢業せしめて目下慈惠病院伏見臺分院に入院せしめてゐるが夫林藏は此狂へる繁野を放擲して顧みない有樣なので同署では林藏を呼出し懇々說諭を加へた

密告したと金品を強要

賭博犯人が

大連久方町五南滿電氣會社員小島常右衞門(四)ほか十一名が去る一日夜賭博開帳中檢擧された事は既報の通りであるが、この中の久方町五貿易商森田暢(二七)は五日深更前記小島の情婦たる吉野町一〇〇仕立業賤川キヨ(三)かたに至りキヨに對し「賭博を密告したのはお前であらう」と詰問恐喝し金品を強要した事が發覺し大連署に恐喝犯人とし取押へられた

鮮妓に迷うて失業者自殺

沙河口朝鮮料理店に忍込み猫いらずを嚥み危篤

六日午前八時頃沙河口西町一〇一朝鮮料理永興館方抱酌婦政子が客を送り出した際、泊り客の無い筈の部屋から人のうめき聲が聞えたので調べて見ると苦悶中の男は同家抱酌婦八千代事宋蓮峰(二)の馴染客で近頃足止めされてゐる新潟縣人當時市內智光院止宿中の野口隆一郎(三)なので大いに驚き届出でたが野口は猫イラズを服用して家人の眼を掠め先夜遲く勝手知つたる同家に忍び入り空室に入つて居たもので早速滿鐵沙河口分院に擔ぎ込み應急手當を施したが生命危篤

野口は本年三月滿鐵築港事務所を解雇されて以來次第に零落して遂に智光院に止宿する程落ぶれたが豫て馴染の前記八千代の事が思ひ切れず五日朝から同家を訪うて八千代に逢はせて呉れと賴んだが斷はられ思ひ上つて前記の始末に及んだものであると

脫走支那兵の拳銃密賣未遂

大連若狹町九一趙緒俊かた無職陳明璜(三)は元山東軍第四師長劉選來の部下で去る四月二十六日脫走し同月二十七日龍口より連勝號に

スポーツ

歐洲ゾーン戰

【ヘルシングフォルス四日發電】デビスカツプ世界庭球選手權歐洲ゾーン第一回戰フインランド對エヂプト第一日シングルス試合は本日當地で擧行フインランド・エヂプト共各一點を得た

デ杯戰米豫選

【フイラデルフイア四日發電】デビスカツプ庭球戰アメリカ選手豫選會は本日擧行された成績左の如し

ハンター {六對四 四對六 六對四} ヘネシー

ヴアンリン {六對四 六對三} アリソン

多數贓品隱匿

大連西通り三八寺井作造かたで三日より傭ひ入れた苦力朱徹承(二)に擧動不審の點あるので届け出により西廣場派出所より小笠原巡査出張し逮捕の上嚴重取調べた處褥子の綿の中に腕時計、金緣眼鏡、珊瑚かけ、卵型腕時計、クローム指輪、サム時計、シーマ腕時計、金指輪、金メダル、眞珠入メダル等合計十六點時價百五十圓に相當する贓品を隱匿してゐた事實を自白した、何れより竊取したか不明であるが心當りの者は大連署司法係へ申出て貰ひたいと

藝妓訴へらる

大連逢坂町一六八無職多川莊平及びその娘藝妓由太郎こと多川チセ子(二)の兩名は六日同町三〇貸座敷舞鶴こと勝野トメより詐欺罪により大連署へ告訴された

訴狀によると由太郎はもと同地玉川樓の抱藝妓として稼業中前記勝野が玉川樓の營業權および抱藝酌婦の讓渡を受け名義書替その他の手續に際し親子兩名は共謀上、由太郎が舞鶴に於て稼業する如く裝ひ入院諸掛費二十四圓を支拂はしたのみか由太郎の前借金一千四十九圓十三錢を踏み倒さんとしたといふにある

藝者の家出

大連平和街六二料理店吾妻樓抱へ藝妓夢路こと齋藤ヨシ(二二)は四日午前十時ごろ無斷家出したまゝ未だに歸らぬので自殺の虞れありと抱主よりの願出により目下大連署で搜査中

◇…五月に入つて一日からお天氣が惡く時ならぬ寒さがつゞく、これは北支那方面に低氣壓が滯留してゐるためで昨年に較べて三度乃至五度氣溫が低い。即ち一日からの氣溫は一日十度九、二日八度五、三日八度七、四日十三度二、五日十度で平年より一日二度、二日四度一、三日四度三、四日零度八、五日三度三低い

◇…內地も氣狂ひ天氣で新潟縣地方は四日夜來氣溫低下し五日の朝降雹があつたが卅年來の珍現象【高田五日發電】

◇…五日朝群馬縣でも霜が下り農作物の被害甚大【前橋五日發電】

◇…哈爾賓商務街の某露人の娘が兩親の知らぬ間に飼犬の乳を吸つてゐることが發見されたが、狂犬の疑ひがあるといふので大騷ぎ【哈爾賓發】

◇…二日の午後二時頃天津領事館警察の福山警部以下の手で價格二萬元の密輸阿片を白河の濁流に捨てたので岸から怨めしそうに黒山の人【天津發】

金剛呪門 (230)

山中峰太郎作　小田富彌畫

解放の三人

……まさか、おいらを蒔くつもりぢやあるめエな。駕籠は行つちまツたが。いやだぜ、祇園の四角で、立ちづめの置いときぼりは！

と、辻に佇んでる虎三少年、

……チエツ！ゆふべから歩きづめで、足が棒のやうだ。

と、おもはず舌打ちした時、向ふ島村屋の暖簾を、中から斜に出てきた教彥、タタくと此方へ歩きだしてきた。

ツイと隱れた虎三、

……だめだ！、見つかツた！が隼の親分は、知られてもいゝと言つたんだ。

と、そのまゝ腕を組んで立つてる前の辻を、足早に通りすぎた教彥が、振向きもせずに歩いて行く……

「ヘツ、今ちよツと、寢てゐまんのでな……」

「横着な男もあるものだ。呼べ！」

「へエ、……」

一人が土間の框から奥へ入つて行つた。

やがて出てきた身長の高い番士長、頰をふくらまして不平さうに、眠たげな眼を、教彥へ向けると立ちどまつた。

「あゝ松平様の……」

「番士長、晝寢か？」

「ウヘツ、いえ、その昨夜から、起きてゐますんで、へエ」

と、番士長、髮をかきかき、しきりに頭を下げた。

「ヘツ……」

「ちと尋ねたい事があつて參つたが」

「この番所に、今、留置きの女がをる筈だ」

「へエ、……オイ！、奥の三人を連れて來い」

番士長は餘儀なく呟いた。

一人の番士が奥へ走つて行つたまもなく引出されてきたお近と獅生、その叔母にあたる年增女、三人が土間へ來ると、

「若様、御存じの女で？へ、」

と、番士長、變に笑ひだした。

その笑ひ聲に顏を上げた獅生がふと教彥を見ると、蒼白く瞳を見はつた。

と、教彥の唇がふるへた。がやつれて見える獅生の顏を、まばたきもせずに見つめた瞬間に、おちついて言ひかけた。

「外へ來るが好い！」

「……」

獅生は頂だれた。今にも崩れおちさうな、なよなよしい姿のまゝ、ヒシとお近に寄すがツた。それを見ると、番士長が傍から言ひだした。

「松平様の若様がお前らを引受けて下さると仰せなんでな。まあ放してやるんだ。今までは、それ、あの乞食すがたの人から、己が預かつてゐたんだ。己を怨むなよ。放してやるんだ。恩だと思つてさア行け！」

……をります、三人で」

「それを放して貰ひたいのだ」

「へエ、嘯野の親分から、預かりましたんですが」

「構はぬ！」

「ヘツ、けれども、これ許りは、何んとも筋が違ひますんで、後で私が……」

「後は己が始末をつけるのだ。出せ！」

と、虎三は腕をほどくと尾けだした。

行くほどに教彥は番所へ入つた。土間の牀几に腰をおろしてる番士たちが、見ると立上つた。

「何か御用で？」

「番士長はをらぬか？」

「へ、どなた樣で？」

おほらかに言はれて、

「名のるには及ばぬ。番士長を呼べ！」

「へエ……」

「三人を出せ！」

するどい聲に、番士長と番士たち、ビクツとした。

「では、後のことは、若様がお引受下さいますんで？」

「二言はないのだ！」

しからう！」

それを聞くと、お近が獅生の手を引いて、教彥の前へすゝみ出た。

大連映畫街の解説と伴奏樂 【上】

江馬洋生

露西亞の未來派の畫家ヴヰクトル、パルモフは「吾人は既に不斷の流動をモツトーとすべき時代に生活しつゝある」と謂つて運動に伴ふ流動の美を極度に讃へてゐる、吾々映畫を支持するものにとつても、これ程心地よい魅力を感じる言葉は少い。

實に映畫は流動する、その發達の過程においても映畫の潮流は世界的に交渉する、昨日米國西海岸にその源を發したトーキーの渦は今日既に日本の岸を洗つてゐる、實に驚異すべき速力と美の變化である。然るに映畫界の一分野であり……

……ら十年一日大盤石の如くびくとも動かぬものが二つある、それは大連映畫界の說明と伴奏……

少女歌劇座公演曲目

愈よ九日初日

期待されてゐる村上演藝部主催の歌舞伎座に於ける日本少女歌劇座の公演も二三日を除す所となつた、が既報の如く歌劇座は……「昭和行列」十景を上演……其の他の上演曲目何れも各地に於いて絕大な好評を以て迎へられた特選曲目のみを上演するのであると

九日の初日は既に各席共に……れの盛況を見て、招待券……無料入場券は行屆かざる……あるを慮り十日より御使用……る樣と言ふ素晴らしい景……る

特に上演される曲目は左の如く……ノでありオペラファンの血を湧かすに足る好曲目である。

1 喜歌劇　十萬ドル　一幕
2 樂的時代曲　自雷也　一幕
3 音樂の頁　三部曲
A 歌劇　カルメン
　フオツクス・トロツト鴨綠江
B 長唄　越後獅子
　幻想　森の鍛冶屋
C 流行歌　道頓堀行進曲
　ジャズ　ふるさと
4 レヴユウ
昭和行列（十景）君ケ代、田家の朝、旭日の輝き、獨唱昭和の御世、四季の好み、コミツク「あらまア」、大光進行、神國祝ひ、國極殿神舞、假裝行列
5 支那歌劇「舞姬李花」一幕
慘忍な王と可憐な舞姬の純情を描いた一幕ものである。
6 喜歌劇「銀座行進曲」
ナンセンスとユウモアとシニツクに終始された明るい春に相應しい大人が見ても子供が見ても面白いものであると（寫眞はチヤイナーガール）

本社主催の演藝館に於ける「金剛呪門」映畫會は初日から全く素晴らしい景氣で▲殊に夜は七時に札止めといふ有樣であるが、昨夜の如きは正月興行を突……

亡國的老衰病！

腦動脈の硬化と血壓の異常亢進より起る

『中風』腦溢血

△目覺めよ、男女四十歲以上の人
△神經衰弱と間違ひ易い動脈硬化の諸症狀！

肺結核に次ぐ死亡率を示し、第二の亡國病として今や識者の間に大問題となつてゐる動脈硬化症と血壓の亢進症は春から初夏にかけて、俗にいふのぼせ時季に最も惡化する恐がある。最近新聞紙上にだても屢々として諸名士が倒れてゐるが、これは一般に……

溢血で倒れる素質の人は大抵身體健康、血色のよい人であるからこの動脈硬化を治し、進行を止め、血壓の下降を促し、腦溢血の豫防さへ出來れば、必ず長命する資格のある人である。

化學界で問題となれる、海草精、海貴來……最近醫……

まづ腦動脈硬變すれば、輕い目暈がする、のぼせ易い、便……うつ血による肩のこり、から頭にかけて吊る、又重く、輕微の頭痛と物忘れする、（腦動脈硬化の爲に）血行惡く、腦の……

海草精　日本總發賣元　東京市本郷區菊坂町五十二番地　河合洋行　電話小石川五一一二番　振替東京四六一八二番

（說明書進呈）代理店　……日新堂藥房

映畫案内

四日開　公　演藝館

滿洲日報連載

帝キネ作品　新世帶　森川八重子　葛間林太郎　共演

原作…山中峰太郎　監督…双ケ岡孝　金剛呪門

マキノ作品　主演…武井龍三　無法者　谷崎十郎　松浦築枝　共演

六日より特別興行

大松竹契約四週年紀念興行

現代喜劇　萬歲　全卷　吉谷久雄　吉川英蘭　主演

大時代劇　初登城　全卷　下加茂映畫　阪東壽之助、千早晶子、若月孔雀、關操　主演

松竹蒲田本年度傑作映畫　野村芳亭監督　青春交響樂　十卷　田中絹代、八雲惠美子、筑波雪子、押本映治、宮島健一、清水一郎、藤野秀夫、男女優オールスターキャスト

大河右太衛門（きづな）越後獅子公開御期待下さい

帝國館

六日より優秀映畫週間

日活特作時代劇　明暗道中師　鳥羽陽之助、川上彌生主演

日活現代劇部超特作映畫　日本最初の鐵道ローマンス　鐵道省御後援　特急三百哩　山本嘉一、島耕二、瀧花久子、三田實　主演

パラマウント特作映畫　クラレンス・バッジャー監督　人間力　快漢　リチャード・ディックス氏主演

浪速館

常盤館

今晚一日限り大入御禮として

日のべ　階下二十錢　開放

小松嵐

明七日より　千葉周作　通り魔

健康の優勝者

……たらんには先づ『妙布』の御常用を……

コリを和らげ痛みを除き疲れを癒して健康を增す

運動疲れ　身體のコリ　過勞の痛みは　何れも筋肉の疲勞困憊の狀態であります　これを元通り　否　ヨリ以上に若返らせるのが『妙布』のキヽメでございます　即ち『妙布』の作用は血液の循環を旺盛にして精氣を增し　體内諸機關の運動を促進して　新陳代謝を迅速にする結果　溌溂たる元氣を回復して健康を增進するので　人間至上の幸福たる健康の　最後の勝利者たらん人には　唯一無二の筋肉若返り藥たる『妙布』の常用を最も必要とする所以であります　故に健康のため幸福のため洽く皆さんにお奬め致します　どうぞお忘れなく御就寢前に…

定價　金二十錢　金三十錢　金五十錢　金壹圓

全國到る所の藥店にあります

僞物あり　『渡邊輝綱』と『妙布』に御注意を願ひます

本舗　東京市麻布區霞町二十一番地　靈山堂　渡邊輝綱　電話青山二六二七番　振替東京四六〇七番

滿洲日報

英國今次の政治的爭霸戰

滿洲日報

政友、民政兩黨の外に第三黨を組織する策動が行はれてゐるといふ事だが、主義、政策を目標としない政權獲得を目的とする政黨の離合集散は、國民の共鳴を得る筈なく、吾等もこれに對して興味を持ち得ない。イギリスの政黨は保守、勞働及び自由の三黨鼎立で、自由黨は少しく灰色の二股大根なるも、保守黨と勞働黨とは主義、政策において全然異なつて居り、從つてこの五月の總選擧がどんな結果を招徠するかは、他國の事ながら、吾等に却つて或る興味を感ぜしむるものがある。

◇

保守黨と勞働黨との政治的爭鬪は、資本主義と社會主義との爭ひと言つて可なるべく、自由黨の旗色はこの點において鮮明を缺いでゐる。殊に注意したのは産業政策の相違で、自由黨のロイド・ジョージ氏は政權を握つてゐた當時の一九二一年に産業保護稅の制度、即ちイギリスの産業とその從業員に脅威を與へる外國輸入品に對し從價三分の一の特別輸入稅を賦課する制度を樹てたが、マクドナルド氏を首班とする勞働黨が内閣を組織するに迨んで、その一九二四年にこれを廢棄し、ボールドウイン氏を首相とする現在の保守黨内閣が出來てから、又之を採用した。故にこの産業保護稅については保守黨と自由黨との間に共通點あり、而して勞働黨はこれに絕對反對といふ事になるのであるが、そはまた今次の總選擧における國民注視の一目標であらねばならぬ。

◇

然るにこゝに注意を要する問題はこの産業保護稅と自由貿易主義との關係である。保守黨内閣が自由黨の遺策たる産業保護稅の制度を採用するや、保守黨議員からイギリスの重要産業たる鐵鋼業にも本法を適用すべしとの要求が起り、内務大臣ヒツクス氏は昨年十月中ロムジーにおいて鐵工業にも保護稅法適用の必要ありと說いたが、保守黨は本來之を欲せず、藏相チヤーチル氏の如きは、議會においても、處々の演說においても、自由貿易主義の必要を唱へ、鐵鋼業に對し産業保護稅法を適用するは以ての外であると論じ、この閣内及び黨内の相反する意見に對し、首相ボールドウイン氏はチヤーチル氏の意見が政府の意見であると言つた。して見ると、保守黨は自由貿易主義を捨てたわけでなく、保護稅法と保護貿易主義とは別物であるといふ事になるのである。

◇

此くの如き意見の分裂は、保守黨とその内閣の不一致を示すものと看られるが、首相ボールドウイン氏が政府黨の院内幹事長アイヤスモンセル氏に送つた書束によれば、それは反對黨の術策に致された一時の暗影であるといふ事になる。果して然るや否やの詮議はこれを後日の問題とし、保守黨が原則として自由貿易主義を採るとすれば、保護貿易主義を非とする勞働黨との關係が妙な具合にならうと考へられるが、勞働黨はその内閣組織時代に産業保護稅法を廢棄したのであるから、保守黨が之を捨てない限り、やはり保守黨を以て自由貿易主義の敵と見做すであらう。若しそれ保守黨と自由黨との關係に至りては、産業保護稅法の上において一致し得ても、兩黨の提携と云ふことは遂に望まれぬであらう。

◇

イギリスの政治的爭霸戰は此くの如く主義、政策を中心として居り、それに依つて總選擧に對する國民の意嚮も定まるのであるが、悲しいかな我國の政治的爭霸戰は依然として政權獲得を中心とする泥試合である。政友會と民政黨との外に第三黨が出來るとしても、主義、政策の上に鮮明なる差別のあらう筈はなく、そは要するに政權獲得の團體たる既成政黨の分解作用を意味するに過ぎない。政黨によるイギリスの政治的爭霸戰にも、此處に論じた産業保護稅法に對するが如き曖昧摸糊のものもあるが、我國の如き低級なる政爭でない事は明白である。

中部西伯利へ移民七十萬
五ケ年計畫で實行を期する
勞農の國内移民計畫

【哈爾賓特信】勞農政府では豫てから移民計畫樹立の意圖を有してゐたが今回いよいよ農務人民委員會の手により五ケ年間の計畫をもつて國内移民を

實行 することゝなつた、右計畫によると右期間内に西部並に中部西伯利地方へ七十萬二千人の移民を送りこれが經費として三億五千二百萬留が計上されて居り又沿海州の四指定區域ブレインスキー、ビトサンスキー、ネグラソフスキー、ヘンガイスキーには二億四千二百萬留の豫算がとつてある、尚移民は一團體三十戶とし一戶につき三十五ヘクターの土地を無償で下附する

規定 であると、尚この外同委員會では一千三百萬留の資本をもつて極東水農株式會社を組織し烏蘇里沿岸地方に水田を經營する計畫を有し農民一戶に對し一千九百留の補助金を與へる豫定であると

吉同鐵道の測量
吉林、同賓間は既に終り
同賓以北は追て着手

【吉林特信】吉林省政府は曩に吉同鐵道(吉林―同江に至る約五百哩)の布設を計畫し政府技監張國賢氏を主體として測量しつゝあつたが、此の程漸く吉林同賓間の測量は終つた。同賓より同江に至る部分は未だ測量に着手しないが此の間は別に測量隊技士五人其の他十人より成るものを組織し張技監が中心となりて測量を進める筈である、該鐵道は沿線と吉林省の十縣の區域を通過し現在に於ては未開の土地多く同鐵道の開通は同地方のあらゆる方面に於て大なる光明を放つものである、其の十縣の縣名は吉林、舒蘭、楡樹、五常、同賓、方正、依蘭、富錦、樺川、同江の諸縣である

ば不可能で掠奪はまだしも虐殺される危險があり是等排日思想の渦卷ける奥地へ旅商團を派遣するが如き事が果して成功するや否や疑問である、日貨の延び得る餘地は充分あるが近時洪水の如く壓倒的勢力を占めつゝある敵日思想そのものゝ排除に努めざる限り邦商の手に依る邦貨の侵出は困難であると

因に背後地の狀況が右の如き狀態なので撫順實業協會員と輸入組合員との

合同 になる第一次背後地旅商團は興京方面を全部中止し奉海沿線各地の安全地帶に旅商を試みる事に變更した

て通行した位のもので案外平穩に終了した

排日運動を省政府嚴禁
各校長を招集して示達

【吉林特信】四月二十八日長春各學校生徒が、吉會鐵道反對運動を起したが吉林省政府は直に長春交涉員周玉柄氏に電話を以て同交涉員をして各學校に排日的行動をせざる樣取締らしめた結果同運動も直に止んだ、同問題に關しては省政府は非常に注意し、去る四月二十九日省城各學校長を省政府に召集しかゝる運動を絕對に禁止した模樣であるが當地に於ては現在のところ頗る平穩である

仙部軍は軍費の不渡から一般商民に對し橫暴を働いて居るが最近同地の資産家兩益成の經理を無理に收監し多大の釋放料を要求したので商民は一致して其不法を鳴し再三無條件釋放を迫つたが遂に容れなかつたので三十日午後七時より總罷市を決行し駐軍の反省を求めた結果李品仙總指揮は該旅長に釋放を命じ漸く無事解決を見た模樣である

日滿連絡會議
東支代表出席

【哈爾賓特信】東支鐵道管理局長エムシヤノフ氏及び同商業部長ネオビハーノフ氏は來る十五日京城で開催の日滿旅客連絡運輸會議に東鐵代表として出席すべく十二日頃同車當地を出發の筈である

張作相氏歸吉

【長春特信】長らく赴奉中であつた吉林省政府主席張作相氏は奉海線經由三日歸吉した

サ副領事赴任

【哈爾賓特信】齊々哈爾駐在の勞農副領事サムソーノフ氏は豫てから黑河領事に榮轉すべしと傳へられてゐたが同氏は既に四月中旬チタブエゴエを經て赴任したと

英人經營學校の回收を命ず
教育權の回收で紛糾

【間島特信】延吉縣教育局長の名を以て同縣下に於ける外人經營の私立學校を全部(五十餘)閉鎖すべく命令を發し既に二箇所の學校に閉鎖を命じた爲め紛糾中であることは既報の通りであるが、また〱頭道溝市街地に在る英人經營の崇德學校に對して支那縣立學校への編入方を命じたので、こゝにも大紛糾を起してゐる

協昌校の閉鎖を嚴命
鮮人學校壓迫

東邊道一帶に亘り支那官憲は教育權回收策として盛に鮮人學校に壓迫を加へつゝあるがこの程も滿鐵の補助によつて經營してゐる柳河の鮮人學校協昌校に對し壓迫の魔手を伸べ奉省政府主席は同地公安局を通じ同校の閉鎖方を嚴命したるため同公安局はその旨學校に通達する處あつたがその成行は各方面から注目されてゐる

黑河水路調査

【哈爾賓特信】黑龍江及び烏蘇里河下流の水路を露支共同で調査するため黑河市政籌辦所長張壽增、同海關顧問イルナーチエフの兩氏は近く下流地方へ出發の筈である

馮系軍隊
配置狀況

【天津特電】孫良誠軍の河南後退と共に俄に緊張したる馮系軍隊は其精兵八萬を隴海沿線に集中すると共に後方の戰備に忙殺されて居る模樣であり各部隊の配置は大要次の如くである

▲隴海線方面　潼關、陝州、洛陽、鞏縣各一軍、開封、蘭封、柳河、曹縣各一旅

▲京漢線方面　彰德、新鄉、泌陽、道口各一軍、許州、陶家、遂平、確山、抜齊各一旅

五三記念當日
天津は平穩

【天津特信】排日運動取締令の實施後多少緩和の傾向が見えた排日運動は五三記念日には血氣と雷同性に富む支那青年の事故定めし相當の活況を呈するものと一般は豫想し多少の不安を感じて居つたが警備司令部は共産黨や反動分子取締のためと稱し各要所には數十名の巡警を配すると共に道路上には二十間置き位に四五名の巡警を置き嚴重なる警備に當つた、天津市黨部では前日午後三時警備司令部

邦人の奥地旅商成功は疑問
排日のため旅行は不可能
最近の歸來者語る

【撫順特信】撫順の奥地柳河、興京方面を實査中であつて最近歸撫した某氏は同地の排日風潮に關し次の如く語る

背後地の排日思想は極端なる敵日主義のパンフレツト及び某國官憲の宣傳のため殊に近來顯著になり

柳河 を中心とした附近一帶は最も猛烈である、數年前は官權の强制排日の形であつたが最近は排日思想そのものが是等地方土着民の腦裏深く喰入つてゐることは看過し難ひ、その具體例を擧ぐれば自分等一行が同地方の渡船場で渡船料率票一元の定めである處を邦人なるが故に奉天票十圓券を各一人分として要求された、而も中國官憲の護照所持で視察中なるに拘らず宿舍を襲はれ護身用の拳銃その他を掠奪された樣な實狀である且つ酒、煙草その他日常必需品でも邦人と見ると三倍から四倍の

高値 を要求する、故に現今では是等背後地の旅行は相當多數の團體を組織して食糧品、武器等の完全なる準備がなけれ

鮮人貸付穀物の回收にとり掛る
貧民救濟を名として
縣當局の措置に怨聲

【間島特信】吉林政府が窮民救恤の爲め間島へ送つた穀物は續々到來しつゝあるが、支那側が此の種の救濟をするのは空前の事だけに既報の如く猜疑つた酬ひの後腹を恐れる向が多い處へ、最近延吉縣積穀處が貧民救濟の爲めと稱して朝鮮人に貸付けてゐた穀物の回收に取り掛つたので益々疑惑を高めてをり一方返納を命ぜられた朝鮮人からは水害の疲弊を無視した苛酷の措置として怨聲が起つてゐる

駐軍橫暴に唐山の罷市

【天津特信】唐山に駐屯する李品

滿日詩壇
浩然洞小集(上)

節過淸明春日永、茅廬有客擬仙境、野肴村酒更無珍、只領虎灘山水景　吉川鐵華

次韻　風來道人
坐至斜陽何厭永、紅塵無到眞仙境、野肴村酒是謙辭、君有佳詩有佳景

次韻　蒲池朴堂
溪水小橋雲路永、吟筇到處多佳境、螢居半歲倦無爲、先賞虎灘々外景

吉川鐵華
碧灣水暖白鷗飛、坐聽濤聲塵外機、眼界渺茫非莫景、堪誇斜照片帆歸

次韻　風來道人
此景平生夢數飛、水亭來對足忘機、知作隣叟多漁獲、薄暮輕舟鼓棹歸

次韻　蒲池朴堂
恰好窓前白鷺飛、浩然洞裡轉心機、山珍海味忘吾醉、踟步黃昏踏月歸

吉川鐵華
剔燭幽窓詩句刪、菲才淺學悔辛艱、夜深枯坐眠難就、驚聽晨鐘度虎灣

和韻　蒲池朴堂
我心未滿把詩刪、幾度推敲不厭艱、何幸研鑽常有便、良師佳友啓鷲頑

同　前人
奔衣走食尙偸閑、餘力時親筆硯間、要識忙中行樂事、去游塵外白雲灣

次韻　風來道人
刻苦哦詩又自刪、却驚學步老逾艱、倦來時倚危欄望、斜照漾紅灣又灣

南征雜錄(11)
サンポウロ市にて　難波勝治

ブラジル(十一)

コチヤの馬鈴薯栽培史を概述した次手に、私はこの種蔬菜農業の收支に就いて一言して見たい、由來農作物の損益決算は頗る平均表の作り難い者である。

それは生産品それ自身が不定な天候を相手とする者であり、直接作業の局に當る農家の生活振も亦商工業者の如く數字的事務的でないからでもあつて、トマトウや苺などより比較的確實性の多い馬鈴薯に例證を求めるにしても、噂話しを聞いただけでは十人十色である、斯界の專門家を除く外第三者の判斷に苦む事項は少くない、況んや私のやうなヅブ素人がブラジルの事情に通じない母國の人々にこれを傳へんとするに於てをやである。

處が幸ひ私は九月二十一日のグレリウス訪問によつて、其處に二ケ年の經驗を積む坂本兵太郎君の手帳から、掛け引なしに君自身の記錄を寫させて貰ふことが出來た、坂本君の實家は岡山縣上道郡だが、蓑子關係から籍を山口縣に移して居る、十六歲の時布哇に渡つて實兄岡本氏の許で甘蔗栽培に從事すること二十年、大正十五年春妻子を伴れて渡伯したのである。數ケ月間サンパウロ市に滯在して一渉り見聞を廣めたが、流石多年カワイ島で植民生活を續けただけに、カフエ萬能の一般人氣を餘所に蔬作りを思ひ付いた、グレリウスは市の中心から約十八基米突の山地で坂本君は其處に五アルケルスの面積を買ふて入植した。時は大正十五年十一月、翌昭和二年三月末迄に家を建て、且つ約半アルケルの林地を拓いて春薯を植付けたが、第二回目即ち同年の秋には一アルケル半を栽培し、第三回目の昭和三年五月には約二アルケルスの薯畑を仕立て上げたのであるが第一回の損失五百六十ミルレースを除けば、第二第三も毎回十一コントス餘(邦貨換算約三千圓)の純利益を擧げて居る。今當初の準備投資額及び毎回生産物の收支決算を示せば左の通りである。

事業着手準備投資(ミルーレス)

項目	金額
家作(八、五米突一戶(瓦葺下シ))	約二、〇〇〇
車戶(三米、五米突 草葺)	二五〇
小屋(四、七米突 トタン葺)	二五〇
農具米國式二頭曳鋤	一五〇
同上附屬品	七五
馬二頭(一頭五百ミル宛)	一、〇〇〇
米國製ハロー	一三五
井戶(深十米突十ミル)	一〇〇
大工道具七種	八〇
ピンガ樽三箇	三〇
噴霧器三箇(一四五ミル替)	四三五
境界用金網五把	一六〇
バランス	一三三
合計	四、七九八
土地買入五アルケル(一アルケル一コント半)	七、五〇〇
總計	一二、二九八

第一回農作收支表(ミルレース)
收入(一分一アルケル馬鈴薯植附收穫)　一、五六〇
支出　二、一二〇
内譯　開墾費及カマラダ六人乃至七人常使用(約一、〇〇〇ミル)豫防劑(二四〇ミル)肥料(二四〇ミル)種薯(五四〇ミル)
差引損失　五六〇

第二回農作收支表(ミルレース)
收入(一アルケル半馬鈴薯植付收穫)　薯七百俵賣却(一八五七〇ミル)種薯保有百俵(二六五〇ミル)　二一、二二〇
支出　一〇、一五二
内譯　一アルケル開墾費(二コントス)種薯代(二、六五〇ミル)植付費(五四〇ミル)手入賃(二二二一ミル)豫防劑(七七〇ミル)肥料(二、八七〇ミル)掘取費(二コントス)
差引純利益　一一、〇六八

第三回農作收支表(ミルレース)
收入　約二アルケルス馬鈴薯植付收穫五百俵賣却、百三十五俵種薯保存　二二、七二五
支出　一〇、六一九
内譯　ニナタレハ開墾(一、二〇〇ミル)手入賃(五百ミル)豫防劑(五一九ミル)肥料(一、九〇〇ミル)根カブ掘取賃(一、三〇〇ミル)袋七百俵代(七〇〇ミル)種薯代(三、五〇〇ミル)
差引純利益　一二、一〇六

滿洲日報 地方版

長春

長春在住婦人の ハルビン見學團
一泊か二泊の豫定で 六月下旬ごろ決行

長い冬眠時代を過ぎて愈旅行シーズンとなつたので滿鐵地方事務所の社會係では長春在住の婦人連を勸誘して哈爾賓見物に出掛けやうと計畫してゐる、時期は六月下旬で同地に一泊乃至二泊の豫定だと長春の婦人連は北滿の名所哈爾賓の最も近くに住んでゐながら哈爾賓を見物したものは甚だ少いので希望者も可なり多い模樣であるが見學場所は大體東支倶樂部、劇場、女學校、松花江等で一日を市中見物及び買物に費す豫定である往復共汽車は二等とし費用は多分十五六圓程度であらうと

滿鐵社員 運動會

恒例に依つて長春在勤滿鐵社員の陸上運動會が來たる六月二日開催されることゝなつた、場所は西公園內トラツクで當日雨天ならば六月九日に延期する由である、競技種目は圓盤投、砲丸投、槍投、走高跳、走幅跳、二百米突、ローハードル、百米突、四百米突、千五百米突、八百米突リレー、綱引等で一番人氣を呼ぶのは例年の各團體對抗リレーで各團體からは一名宛の選手を出すことになつてゐる團體色別は左の通りだと

驛(綠)機關區、列車區、檢車區、保線區、吉長、吉敦(樺)地方事務所、各學校、販賣所、醫院、用度、消費組合(紫)

家庭研究會 入會者多數

長春家庭研究會はその趣旨が徹底するにつれて續々申込みが殺到したが會場の都合で會員は百五十名を限ることゝしたと、因に各部の講習は夫々既に開始され料理部會員六十名(講師保坂ヤマトホテル料理長)子供服部會員五十名(講師莊淵女史)刺繍部會員五十名(講師同上)にて陣容が整つた

赤坊審査延期

既報兒童週間に於ける赤ン坊の審査會は十二日の豫定であつたが都合に依て十四日に變更された、希望者はそれまでに成るべく申込んで貰ひたいと

研究會座談會

長春家庭研究會は來る七日午後一時から社員倶樂部に於て座談會を催す筈であるが當日は午後二時から長春醫院の塚本院長が出席して家庭衛生に關して質問に答へる由である

北闕夜話

滿鐵劍道部員の二人として內地遠征にゆく長春での唯一の選手吉谷三段▲しなひを取つては立ち向ふものもなき猛者だが家庭の平和維持の爲めには頗る忠實だ▲はるばる帝都まで出掛けると言ふのでそのスキに乘じた譯でもあるまいが令夫人が妾も伴れていつて頂戴とせがみ出したら容易に後に引かない▲流石の吉谷三段も太刀打ちが出來なくなつて本部に伺つて見やうとなだめて置いたが▲同僚の手前まさか伺ひも出せない▲時機は段々接近するし夫人の攻撃は益々加はるし進退兩難に陷つて一週間餘り深思熟考、仕事も手につかない▲何しろ試合を無事に濟ますまではめつたな話も出來ない程の荒武者揃ひなのだから夫人携帶としやれやうものなら歸りには命を持つて歸れるかどうか解らない▲そこで一策を案じたと言ふのは夫人を大連まで同伴して大連からは單獨行動を取らせるさうな▲船や列車が一緒でもめつたに話などしまいぞときつい言ひ付けとある

海軍記念日

來る二十七日の海軍記念日には當地海友會が發起となつて太子堂で祝賀會を催す筈で當日は輕氣球を浮べ模擬軍艦の爆火作業を見せると

哈爾賓

支那側運動會に 競馬場使用
八木總領事快諾す

來る十、十一、十二の三日間に亘つて擧行される當地支那側各學校の第一回春季聯合運動會は初めてのことでもあり且つ張國忱教育廳長が勸からず

力瘤 を入れてゐるので各種の陸上競技を網羅して盛大に行はんと目下頻りと準備中であるがその會場として目下日支間に係爭中となつてゐる馬家溝競馬場を使用したい希望で第二體育場管理員張鑑出及び教育廳第一科長潘德霖の兩氏は四日午後日本總領事館を訪問し右期間の使用方につき承認を求むる處があつた、總領事館では問題は尚未解決のまゝにあるが運動會の趣旨を考慮して、現在の設備を動かさないこと又運動會に

必要 な諸設備は一時的なものであることを條件として競馬場の使用を快く承認した、尚八木總領事は右運動會に賞品を寄贈すべく目下適當なものを物色中であると

哈美術協會展

哈爾賓美術協會の第五回美術展覽會は四日會場の民會公會堂で華々しく蓋を開けた、主な出品は次の通りである

茶後、壺に映ろ光(內山時次)朝、小女の像(和田巖)風景(武田文雄)風景(大池一郎)花、靜物、エスキーズ(大部六藏)流氷、曇り日(山內忠三郎)カバレーの春、都會の朝(油谷頴一)夕陽、町の角(淺野十郎)靜物、風景(山根龍造)

尚この外目下巴里で研究中の奧村直二氏及び三井良太郎氏の作品十數點が參考品として出された

パースハの祭
北滿を訪ふ春と共に 若者達にも春

【哈爾賓發】春といふ期間を殆どもたない哈爾賓では冬から直ぐ夏になります、そしてこの冬と夏とをくつきり境づけるものはパースハのお祭──基督復活祭です、零下何十度といふ嚴い冬籠りから解放されてかぐはしい新綠の自然に心行くばかり人生の行進曲を唱はんとする序幕は實にパースハのお祭によつて切つて降されます、事實哈爾賓の人達は今まで着てゐた厚つぼい手皮の外套をパースハが來ると驚いたやうに脱ぎすて白い服や薄物に着替へます、そして實に快い諧調をもつたステツプと新鮮な顔色をして街頭を濶歩します。

◇

さてこのパースハのお祭りは毎年三月二十一日を過ぎた最初の滿月に次ぐ第一日曜から始まつて三日間引續いて行はれることになつてゐるから、今年は丁度五月五、六、七の三日間がお祭りです、方々にあるカトリツク教のお寺からガラン〳〵と打ち鳴らす鐘の音が初夏の朝風に乘つて響いて來ると善男善女は老も若いも皆一齊に晴着に着換へてお參りに急ぎます、御參りがすめば家へ歸つてめい〳〵祝杯を擧げ二週間も前から用意してあるいろ〳〵の御馳走を主イエス、キリストの名において鱈腹喰べるのですが、こうした風習はどんな貧困な者でもそれ相應に必ずやつて行くのです、例へば明日の日のパンに差し支へることがあつても早速例の手皮の外套を質に入れ安いウオツカに醉つ拂ふのです。

◇

しかし一番このパースハを享樂するものは何といつても年頃の娘や青年達で彼等にはいろ〳〵の御馳走や酒の外にこの解放されたお祭りを機會に禁斷の木の實を味はひ得る人生の春が訪れて來るのです、性の芽生へにふるえてゐる彼等のうちには初夏の溫氣とお祭り氣分とですつかり上氣して禁斷の園の鐵柵を一氣に跳躍して終うものが隨分多いといふことです。

◇

しかも尚お寺では鐘が鳴り響いて總ての人の宗教心を呼び起さうとしてゐますが、彼等にとつてお寺の鐘も共産黨のスローガンも同じく皆無意味で彼等にはたゞ彼等だけの世界があるのみです、でパースハは寧ろ若い男女のお祭りといつても良い位で今まで多かつた若い男や娘の自殺もこれからは殆ど無くなるのが常ださうです、何故かといふとパースハを境としてお互ひに婚曳する廣い天地と從つて自由に相手を得ることが出來るからだといはれてゐます。

奉天

奉天—北陵間の 遊覽列車試乘記
ゴテ〳〵に滿車飾を施して 支那式の開通記念

【奉天特信】支那側の新計畫による奉天北陵間遊覽列車の運轉は、愈五日から開始された、無聊に苦む奉天市民は唯一の慰安日たる日曜を最も樂しく最も有效に利用すべく前日から決定し期待してゐるのであるが、近頃

日曜は 天氣かと思へば南風が吹きまくつて黄塵萬丈と化したり、曇天かと思へば意地惡く春雨が降り出したり、折角樂しみの日曜を臺無しにして仕舞ふ事が多い、五日も豫想した通り今にも雨が降り出さんとする空模樣、時期はよし五日から北陵に遊覽列車が往復するといふので待ち兼ね日和見をしてゐた遊覽客も最後の腹を定めて奉天驛に急ぐ、奉天驛は午前七時四十分と九時半の二回で

發車の 時間が徹底せず乘り後れたものが多數あつた、聞けば四日午後當局で發車時間を打合せ決定したばかりだといふ、記者もそれに遲れた一人である、午後三時馬車を驅つて北陵に向ふ北市場からガード附近にかけて何時も乍ら道路の惡いことこれだけで其の先に金殿玉樓あり微笑んで吾を迎へる人があつても不快になる二度と再び行かう氣もしないやう丁度遊覽客を乘せた十五輛聯結の列車が

瀋陽驛 に向ふ二時北陵を出發した第二回の列車が歸着せんとする處である、その車輛も滿員機關車は紅白青等の色旗で飾り立てその中に「北陵汽車開通典禮」と記した金文字が燦として輝き各車輛には「北陵遊覽列車開通記念」と記したビラが貼付けてある天氣は氣遣はれても當日の盛會が想像される、北陵に着いた時は午後四時、陵內の

見物に 向つたが果して雨はシト〳〵と降り出した、同行の森君と打合せの結果北陵見物よりも北陵に驛が出來たといふ新設の驛の見物に向ふ、北陵附近にはそれらしいものも見えぬ、降雨を突いて半里も引返し昨年建設された東北大學の南方に一寸した建物があるのでそこへ來て見れば矢張それが驛なのだ、プラツトホームの立札には「北陵驛」と書いてある、驛の建物は木造で待合室は三十人入れば動きもとれぬと思はれ、その隣りに事務室と切符を賣つてゐる室があるのみである、天氣のよい日なら兎も角五日のやうに降雨と來ては何百乃至何千とも集り乘客は足の入れ場もない、その驛から北陵まで少くとも十五町はある問題の欄原農場を

橫斷し てそこまで敷き延ばした線は東北大學工廠前から十四丁位であるから一寸一服である、終列車を待つこと二時間、始めて列車の人となる、車輛は全部平奉線のものを使用してゐるのだそこに珍しい京濱線の文字の入つた車輛と一等車があるかと思つたらそれは待合室の狹隘なため京濱車輛は一般待合車に一等室は食堂として一般のお好み一品料理の注文が出來る、仲々ぬけ目はない、七時廿分北陵驛を發し欄原農場を橫切つて皇姑屯に向ふ、途中約一丁の間も列車內で惡臭鼻をつんざく、窓より見れば線路の東方一面

黄金の 波がうねつてゐる北風に吹かれてゐる無理からぬことだ、これでは酒や花にうかれてもこれだけでくさりする、これで當日の惡印象の第二回目だ、八時日はたつぷり暮れて奉天驛に到着、今後は毎日曜二往復の列車が運轉されるし賃金は三等三十錢、二等四十錢、一等六十錢となつてゐる、これから日曜の慰安を北陵に求めるものゝためには最も便利とならう

御來奉の 山階宮
北陵等御見學の うへけふ安東へ

山階宮茂麿王殿下は戰史御見學のため陸軍士官學校學生一行二百五十名と共に五日午後五時半沙河堡より御着奉、驛には軍隊その他官民多數の出迎へあり自動車にて奉天駐剳隊步兵第卅三聯隊に御成り遊ばされ同夜は奉天獨立守備隊に御宿泊された、今後の御日程は左の通りである

▲六日午前中城內御見學、午後零時廿分發にて撫順に向はせられ同地御見學のうへ同八時五分御歸奉兵營に御宿泊

▲七日午前七時二十分奉天發田義屯、文官屯、北陵等御見學の上午後五時御歸奉、同十時五十五分發にて安東へ向はせられる

人事

▲保々滿鐵地方部長 四日夜歸連
▲中西同地方課長 同上
▲三宅關東軍參謀長 五日來奉
▲山內務雄氏(滿鐵監査役) 四日來奉
▲李吉長鐵路局長 五日長春より過奉歸連
▲阪谷關東廳財務課長 五日來奉
▲津田海軍大佐 五日哈爾賓へ

藏本書記生

當地總領事館藏本書記生は近く一ケ月の賜暇を得て歐洲各國の情勢視察のため西伯利經由赴歐の途に就く筈である

公主嶺

家庭副業として 養兎を奬勵
可愛い眼をパチクリさせて 白兎六十頭既に到着

山本滿鐵社長の唱導せる經濟化、生産化の方針は各種の方面に具體化し漸次實現しつゝあるが今回滿鐵家庭研究所が中心となり奬勵することになつた、家庭副業としての兎飼育は全くその方針に合致せるものとし滿洲家庭副業界の魁として各方面より多大の興味をもつて注視されてをるので公主嶺農事試驗場畜産科長香村岱二氏は內地に出張選定してきた

白色 メリケン種六十頭は該事業の試驗臺にのぼるべく長途の旅に些かの疲勞もなく可愛い眼を見張りつゝ公主嶺驛に安着した兎は暫時畜舍に保養したうへ各家庭に分配することになつた、滿洲家庭副業界の先驅者たる事業の前途に幸多からんことを希望すと澁谷社會課主事は熱心に說き比較的餘暇を有する滿洲の家庭生活に副業をとり入れ生活を引締め多少を論ぜず家庭經濟に寄與したいと考へ家庭副業問題を考究した結果、月給生活者が副業として第一に作業が簡易であつて本業の能率を傷つけない

程度 のものがあることは各自の留守中に老幼婦女子にでも行ひ得ることが必須條件で本來が家庭副業である以上少額の資本で出來且つ回收の速かなもので又此事業を永續させる爲販路が充分拓けること等を考慮せねばならぬので恰好の事業を見出すことが至難で實行しかねてゐたところ最近畜産科と協議養兎事業がこの條件を最も多分に具備してをることを考へ實行することにしたので何處までも成果を期する覺悟であると語つてゐる、最初は確實な同志五十名を選び飼育培養しその

結果 を見ることにしたが養兎の副産物としては子供の情操教育に大きな貢獻をなし勝手元より出る廢物を利用し眼に見えぬ大きな收穫を期待してをるので飼育方法其の他は專門家の意見を聞き經驗と合せて養兎希望者に指導すると、現今內地に於ける養兎事業は成績頗る良好にして巨額の利益を收めてゐると

花便り
杏花は十二日頃が見頃

公主嶺附近に於ける杏其他の開花は例年に比し約一週間遲れるであらうと豫測された天候は引續き不順にして寒冷さらず小雨曇天に陰鬱を極め春季衛生の大掃除すら延期されたほどであるが五日より快晴となつたので十一、二日頃は年中行事の一となつた郭家店の杏花は見頃で公園敷島臺附近華子溝等も同時に滿開するであらうと

土筆吟社發句會

當地土筆吟社では半數以上の會員を失ひ其後の句會を見合せてゐたところ新駐騎兵聯隊の將校中に同好の士が多いので去る二十八日滿鐵倶樂部に久しぶりで句會を開催、當日の席題春泥、杏花の吐吟の高點句は左記の如くであつた

春泥や爪皮もなき宿の下駄　惠順僂
馬繋ぐ酒旗の柱や杏咲く　山雨靑
舞ふ妓等の緋の袖裏に杏散る　晴雲
杏花咲きぬテニスコートの西南　酒仙
戰跡の札掩ふて杏咲く小驛　幽崖
杏咲くや裡に驟馬鳴く一構へ　跣流
植かへて花乏しらの杏哉　汀香
轍ふりて泥濘の中駒早やむ　近村
春泥に喰入る馬車の轍かな　疏流
杏花咲く庭に驢馬聞く異鄕哉　惠須僂
春泥や塗り下駄に裾引きずりて　惠須僂
春の泥素足の女爪立ちて　幽匡
春泥を浴びて野球の女連　酒仙
限りなく苦力の續くや春の泥　山雨靑
春泥や片側町の貸家札　酒仙
板塀の角にぬられし春の泥　晴雲
厨もる灯すじに雨の杏花哉　同人
春泥や蘆の白根をたゝへけり　幽匡
杏花一枝野遊戻りの疲れ足　酒仙
春泥に舟押し入れて芹を摘む　近村
杏咲く花園の往來や支那娘　疏流

松井師團長

松井第十六師團長は當地駐剳軍隊

瓦房店

電燈株主總會

瓦房店電燈會社にては三十日定時株主總會を開き利益金の處分其他を附議した、尚補缺取締役には西村米治氏當選就任した

小學校に寄贈

當地機關區員山田勘吉氏は在學記念として金十圓を當地小學校へ寄贈した

修養禪話

水野童龍禪師は四日午後七時より當地昭和寺に於て生死と題する修養的講演をした聽衆多數盛會だつた

鐵嶺

野遊會の歸りに 兇漢に襲はる
同行の藝妓も負傷す 原因は人違ひからか

五日の龍首山野遊會は別項の如く空前の盛會を極めたが圖らずも當日の山上に於て一不祥事があつた居留地櫻町岡田醫園の主人岡藤造氏は當日參加して午後三時頃下山せんと

鐵嶺 ホテルの藝妓小奴と共に慈濟寺前の石段にかゝつたとき突然傍に居た支那人が煉瓦を握つて無言の儘同氏右額を強打したる爲め氏は不意の襲撃に而も顔面は鮮血に塗れ前齒五本は齒根より脫し其場に昏倒した、斯くと見た加害者の支那人は氏の携へてゐたステツキを奪ひ尚も全身を強打し同行の小奴も右腕を强かに打たれて大騷ぎとなり加害者は支那側巡警が現場に取押へ岡氏は滿鐵醫院に擔ぎ込み入院手當中であるが意外の重傷で失明こそせざれ

右顔 は全く目もあてられぬ有樣であると、原因は當日支那人と爭論したる者あり或は人違ひより加害したものでは無いかと見られてゐる、犯人は支那側に於て取調中なれば一兩日中に眞相判明するであらう

龍首山の 野遊會賑ふ

全鐵嶺市民の龍首山野遊會は豫定の如く五日午前十一時より山上に於て催されたが當日は連日の降雨晴れたりと雖も朝來曇勝にて降雨の模樣あり著しく人足を鈍らせたやうであつたが、それでも參加者五百名に近く頗る盛大で模擬店などは忽ちに賣切れ臨時販賣店なども豫想外の賣行で龍首山としては空前の賑はひであつた、午後一時ごろ歡興の最中に愈降雨の氣配あり二時頃までには殆ど下山し幾分の興をそがれた

豆粕斤量統一で 日支當業者商議
會議所から商務會に 同業者の招集を依賴

當地に於て産出する豆粕斤量は略一定せる筈なるも中には不統一のものもあり斤量不足の爲め一般取引商人の不利とする點尠からざる場合あるを以て是非之が統一を圖る必要ありといふので鐵嶺特産組合から商工會議所に支那側油房業と會見の斡旋を依賴したので會議所では支那側商務會に對し同業者の招集の依賴狀を送つた、近く商務會でも油房業者を招集し日本側と會見の上斤量統一につき商議する機を與へるであらう

旅大修學旅行
鐵嶺小學校生

鐵嶺小學校五六年の旅大修學旅行一行九十二名は齋藤、山田、鈴木の三訓導引率の下に六日午前五時半發列車にて嬉々として出發したるが、七日は旅順を見學し、八日大連見學、同日夜行で離連し九日午前十一時着列車にて歸鐵の筈

人事

▲松井第十六師團長 五日午前十一時通過列車にて北行長春へ、八日午後零時二十分着急行にて來鐵の筈
▲三宅十六師團參謀長 同上
▲萩尾開造氏(鮮銀鐵嶺支店長)會議出席の爲め二日京城に向つたが八日頃歸任の筈
▲下山恭次郎氏(鐵嶺輸入組合理事)令息福岡中學入學附添の爲め內地旅行中のところ七日歸鐵

商人連中は 更生の思ひ
反日會の腰折で

天津警備司令部は五月一日のメーデー遊行を禁止すると共に中央政府の命令に基き反日會の行動を嚴重取締る方針に一變し、同時に從來公安局巡警の援助を得た反日檢査員にも保護を加へぬ事となつたので、反日會に執りては重大なる痛手であるため反日會常務員唐際源其他の幹部は一日午後秘密會を開きて對策を講ずると共に各部に通報したので反日會は俄に悄氣返り各檢査所共同貨檢査を行はず昨日迄の元氣は何處へか消え散じた爲めに一般邦商は勿論支那商も漸く蘇生の思ひを爲し弗々取引を開始する者も見えるが果して將來永く此の態度を官憲が持續するやは不明である、官憲の態度の急變は商人に據りては回生の福音となつて居る

旅順

戰跡早巡り競走 十二日に延期す
競走規定に變りなし

關東廳體育研究所主催の戰跡巡り徒歩競走は五日尚武の節句に開催の筈であつたが雨に祟られ十二日に延期した、開會時間其他は變りがない因に參加申込は一千名を突破し二、三の團體申込を拒絶するの盛況であつた

精査することになつた

黄金臺

關東憲兵隊長二宮大佐は九日午後六時から新市街將校集會所に在旅知名士及び新聞記者を招待し一夕の淸宴を張ると

◇─◇

旅順滯在中の久保田金平氏は六日木下長官邸にて大分中學生の修學旅行團に對して一場の戰跡講演を行ひ同日午後四時半大連へ

◇─◇

雨曇、東風、旅順の連峰春煙のうちに浮ぶ

素晴らしい 行商の出願
一月から一千餘人

春から夏にかけてのシーズンは行商人の天下である、お蔭で警察の保安は許可願書が毎日二、三十通に達し眼を廻してゐる、一月から五月五日までに行商を許可した數は總計一千五十九名に上つた、其のうち一般行商が八百八十九名、露店廿九名、古物直し八十一名、屑物買六十名であるが、戰蹟見學團の殺到で馬車夫の懷をあたゝめ其によつて生きて行く飲食行商も今が書入れ時である

戶數割の 賦課割合

旅順市の昭和四年度の戶數割賦課割合は日本官吏三割六分九、支那官吏一分五厘、日本公吏三割二分二厘、民間は日本人一割四分四厘、支那人民間一割三分七厘、一戶平均四百〇二點、一點が三十八錢九厘〇九とすれば一戶別から賦課金をみると金十五圓六十四錢一厘となつてゐる、市會では委員を設け日、支人の賦課歩合について一層

天津

計畫許りで 實現困難
白河の改修

日本租界碼頭は大連榊谷組の請負で莫大の資金を投じて完成され國際的に誇りを示して居るが、惜い哉白河の泥鎖で材料置場と汚水糞尿の流し場となつて居る、是が爲め租界當局は何とか海河の改修實現を望んで居るが一向に

案許り 立つて實現されず、爲めに新任松本理事は此重大問題の解決を速進するため努力して居るが海河工程局は一向に呑氣に構へ

一、租界碼頭前の泥鎖も今の處何とも始末は出來ぬ

二、永定河の改修も公債募集は南京政府の許可があつたが銀行團が容易に引受ぬため當分實現は

三、困難である、今夏の大洪水說が流布されて居るが工程局は未だそんな事は考へて居らぬ

斯る態度であるから民國が碼頭の泥鎖を片づけんとするにはボンピング、ステーションを設置するより他ないとの事である

徴兵檢査成績

五月一日天津駐屯軍で今年度壯丁の徴兵檢査を行つたところ、壯丁四十名中甲種合格は僅かに十四名で然も黴毒、淋病患者三名あり北支那青年の風儀の墮落を物語つて居るものだと檢査官も失望の態であつた、因に其成績は左の如くである

受檢者四十名、甲種一四、乙一二乙種二三丙種一〇、丁種一

花街振はず

排日、排貨の萬力に締め附られた天津邦商の懷具合は到底花街百名近くの不見轉を養ふ事は不可能で近來御茶屋の女將は蒙古風の黴塵が一寸も溜り、酒も一升德利を處々から走らすと謂ふ悲慘な狀態爲めに三月は僅に三萬本臺であつたが四月は流石に花に浮かれる四萬九千本まで漕ぎつけた、それでも去年四月の六萬三千本に比ぶれば二萬本の不景氣であつて花街の閑散は甚だしい千本以上の上轉を披露すれば次の如し

三代光、花香、駒菊、百々代、荒勇、百々壽、百々江、太郎

鞍山

藤根理事來鞍

滿鐵會社々長代理藤根理事は沿線社員慰問の爲め來鞍し六日午後五時三十分より湯崗子溫泉對翠閣に於て鞍山市民有志を招待し懇親宴を張つた

實業團の陣容

鞍山滿鐵運動部主催の各町內對抗陸上競技大會は既報の如く十二日午前八時三十分より陸上競技場に於て開催されるので實業團は四日午後五時より協會事務所に於て役員會を開き出場選手及び役員を選定したが其結果左の如し

選手監督三宅欣吾、選手係藤沼禧一郎、佐藤榮一、岡元一雄、會計水野藤一郎、野田德松、庶務係野村數榮、內野長作

井井寮自治祭

鞍山富士通り井井寮員の第四回自治祭は既報の如く五日午前十一時より二階食堂に於いて警察、新聞關係者其の他を招待し開催されたが濱田幹事の開會の辭あり久留島課長の祝辭で手踊り、三曲、二〇加等の餘興あり柳町橘家、一樂明月より紅裙連の手踊あり盛況裡に午後四時三十分閉會した

事務所家族會

鞍山地方事務所家族會は既報の如く五日午前九時二十分より苗圃に於て開催され林會長の挨拶あり運動競技に移つた夫より寶探し、奇術餘興あり盛會裡に午後三時閉會した

人事

▲藤根理事は四日午後一時三十九分急行で鞍山驛通過遼陽へ
▲加藤政人氏(協會長)は五日午前六時三十三分着列車で歸鞍

開原

開原局の成績

開原郵便局四月中事業成績左の如し

郵便の部

種別		數
通常	引受	五三〇一七通
	配達	六三三九〇一通
小包	引受	二四五個
	配達	一八六一個

爲替貯金の部

種別		件數	金額
爲替	取組	八五件	二九七八圓
	拂渡	一〇七件	七〇六九圓
貯金	預入	一、三三四件	一三三三一圓
	拂戾	一、一三〇件	一二五五六圓
振替	振込	一、二八件	二〇五四八圓
	拂渡	五九件	二七二八圓

保險年金の部

種別	件數	金額
保險	三三件	四五二圓
年金	一	一

陸大の旅行團

陸軍大學滿洲戰史旅行團一行陸大校長荒木中將以下十名學生五十名及び支那學生六名は去る三日大連上陸現地戰術を施行順次北行中であるが來る十三日午後四時五十一分當驛通過北行し十六日午前十一時四十九分急行列車にて通過南行の筈であると

大連將棋聯盟特選
滿日五人拔戰
(福村君二回勝三回目)

(三ノ六) 平手先番 ▲二段福村義一 △二段泉宮晉吉

	九	八	七	六	五	四	三	二	一
一	△香			△金				龍	△香
二		△王	△銀			△歩			
三		△歩	△桂	△金					
四	△歩		△歩		△歩	△角			△歩
五				△歩	歩	△桂			
六	歩		歩	歩		歩			歩
七		歩	銀	金			歩		
八		玉	金						
九	香	桂						桂	香

▲福村持駒 飛 銀 歩 歩　△泉宮持駒 歩 銀

(盤面以下の手順)
▲四五歩△五五角▲九五歩△八五桂▲九四歩△九七歩打▲八六歩△九四香▲八五歩△九八銀打▲九五歩打△同香▲九三歩打△九九銀不成▲七九王△六六歩

コドモページ 成績紙上展覽會

おとうさんのおかへり
伏見臺小學校尋二 今永美八重

うちのおとうさんのおとうとがひどいびやうきになつたのでおとうさんがとうきやうにいきました。いつもおとうさんとおはなししながらごはんをたべるのに、けふはおとうさんのすがたがありませんから、私はさびしくなりました。おとうさんはいくまへに四月十日にかへつてくるとやくそくしました、それで四月十日をまつてゐましたが四月になると、をぢさんのびやうきはよけいひどくなりましたので、まだくかへつてこられなくなりました。それから十八日になるとおとうさんがよるのきしやでかへるとでんぽうがきましたのでその日をまちました。いよくその日がきました。がくかうからかへると、私やにいさんは、ばんおそくまでおきてゐるからいゝといひました。はやとちやんもひろとちやんもぼくなんか一じごろまでおきてゐるといひました。それからさあちやんとおままごとをして、あそびました。おかあさんにおまんじゆうをもらひました。それをみんなたべて、おむかへにいくよういたしました。そしてえきにいきましたが、ながいこときしやがきませんのできしやのとほるところへいきました。そしたらきしやがきました。おとうさんがぼうしをふりあげたものですから、すぐわかりました。おとうさんがかへつたので私はうれしかつたです。おうちにかへるとはやとちやんやひろとちやんはねてゐましたので、おこしておみやげを見せました。それからないちのおいしいおかしをたべました。

春の日の散歩
大廣場小學校二年 雨宮正臣

今日はあさ、くもつてゐたがひるからおてんきになりました。それでおとうさん、おかあさんおとうと、いもうと、ぼうやとにしこうゑんへいきました。おかあさんはさくねんからにしこうゑんへいつたことがないので入口のりつぱなのにおどろいて「ここはどこか」とたづねましたのでぼくたちは「こゝはにしこうゑんよ」といつて大わらひをしました。それから中へはいつて見ると、怜矢くんがゐたのでしつけいといつて、ちがうみちへいつて犬つかひをみました。犬は犬つかひをながめながら石のやうなものをぐるりぐるりまわつてゐました。それからでんきゆうゑんへいきました。いつて見ると井上くんがおかあさんときてゐました。井上くんはぼくを見るとはづかしさうなかほをしておかあさんのかげにかくれました。それからメリーゴーラウンドにのりました。そして五ふんたつとおりてたかやわしを見てうちへかへりました。

四年生
松林小學校尋四 戸谷綾子

私どもは四年生になつた。今まで三年であつたのにもう四年生になつたかと思ふとうれしくてくたまりません。其の上さいほう、支那語、理科などがふえた。本も、てちようもあたらしい、三年生の時よりえらくなつた。四月一日の日學校へいつて見るとかべにぺんきがぬつてあつたので氣がすつとした。四月二日に學校へいつて先生と教室にはいつた。もと五年生がをつた教室であつた。私どもがならんでゐた教室には三年生がはいつてゐた。これから又べんきようをして早く五年生にならうと考へてゐます。

オトウサンノオテガミ
聖德小學校尋二 山本泰

コノアヒダ オトウサンカラ オテガミ ガ キマシタ。ヨク ウンドウスルカラ ゴホウビ ニ オカシ ヲ オクツテ、アゲヤウ カト オモツタ ケレド ハナ ガ タカクナル ノト 目 ガ アヲク ナルソウダカラ ヤメニシマシタ。ソノ カワリ ニ カツドウシヤシンキ ヲ オクツテ アゲマス ト アリマシタ。ボクハ ソノ オテガミ ヲ ヨンデ トテモ ウレシカツタ。

ゆびの名
伏見臺小學校尋二 齋田くに子

ハツエ「くに子さん、ゆびのなをしつてゐますか」
クニ子「しつてゐます」
ハツエ「きよ子さんは」
キヨ子「しつてゐませんわ」
ハツエ「そしたらくに子さんいつてごらんなさい」
クニ子「一ばんふといのがおやゆびよ、そのつぎはひとさしゆびよ、そのつぎが中ゆびよ、中ゆびのつぎがくすりゆび、そのつぎの一ばん小さいのが小ゆびよ」
ハツエ「さうです。たいへんよくしつてゐますね」
キヨ子「私もおぼへたわ」
ハツエ「それではいつてごらんなさい」
キヨ子「おやゆび、人さしゆび、中ゆび、くすりゆび、小ゆび」
ハツエ「うまい、うまい」
クニ子「じやうずだねえ」

寫生 日本橋小學校三年 安原みさ子

ホシガウラ
聖德小學校尋二 平原太郎

ボクハオトウサントオカアサント三人デホシガウラニイキマシタ。オカアサンタチハケシキヲナガメテキマシタガボクハブランコニノツテアソビマシタ。シバラクシテコンドハムカフニイキマシタ。ソコニスハツテトホクノホウノケシキヲナガメマシタ。ウミモアヲクソラモアヲクテキレイデシタ。カイガンニハカモガ二三バトマツテヰマシタ。

おままごと
伏見臺小學校尋二 白石とし子

きのふはるちやんと、ときちやんと、とみちやんと、ぼうやと私と、うちのまへにござをしいておままごとをしました。おかあさんに私がなりました。とみちやんのうちのござも、もつてきてそれをおうちにしました。そしたらはるちやんがおままごとどうぐをもつてきましたので私が「さあはじめませう」とみんなにいひますと、みんなが「はーい」とどなりました。又私が「もうごはんをたくからでみんなそこであそびなさい」といひました。私はそれから一せうけんめいにごはんのしたくをしてから私は、みんなに「ごはんよ」とよびました。そしたらみんながよつてきました。私はくさをおかずにして、すなをおしるにしました、ごはんは小さないしにしました。私はうちのたいこをはんだいにして「さあいたゞきませう」とみんなにいひましたらみんなが「いただきます」といつて、なかよくおはなしをしながらおいしくいたゞきました。それからごはんがすんだから私が一人であとじまひをしました そしてみんなでおもしろくあそびました。しばらくするとゆふがたになつたので、みんなとおわかれしてかへりました。

ビロードの小箱
大連聖德小學校尋四 内山智恵子

「それでは叔母様おからだをお大切にごきげんよう」とお別れをした。「智恵ちやんもよく勉強なさいねこれはお別れに上げますよ」と青いビロードの小箱と紙包を食卓の上におかれた。お禮を言つて何かしらと見たかつたけれども學校がおくれるといけないのでそのまゝ家を出た。學校で勉強して居てもあの箱の氣がゝりでたまらない。早く家に歸つて箱の中の物を見たいばかりに今は少しもおちつかない。家につくなり「お母さん今朝叔母様からいたゞいたあれ何、見せてちやうだい」と言ふとお母さんは「さあ何かあてゝごらん」と笑つておつしやつた。「女學校へ行くやうになつてからですよ」といはれてビロードの箱を明けた。箱の中には腕時計が光つて入つて居た。私はうれしいのでいつまでも手からはなさうとはしなかつた。だが叔母様達がとうく東京へ歸つてしまはれる事がなんとなく悲しく思はれる。

ボクノオトウト
聖德小學校尋二 高橋光彦

ボクガガクカウカラカヘルトボクノ二人ノオトウトガゲンカンニキテヨロコンデムカヘテクレル。三ツニナルホウガオカアサンニ「ニイチヤンカヘツタ」トイツテオシヘマス。二人トモニコニコワラツテヰマス。ボクハスグオベンキヤウシテソレガスンデカラ二人ノオトウトヲアソバセテアゲルノデス。

童謠

花ばたけ
大廣場小學校尋二 堀義彦

今日はたのしい
日やうび
みんなで一しよに
花ばたけ
つくることに
きめました
ぼくと兄さん
石はこび
むしろにつつんで
はこんだよ
それで石がき
つくつたら
ママもてつだひ
してくれた
パパはくはで
たがやした
それをきれいに
ならしたら
すてきなはたけが
できあがつた
こんどの日やう
たねまきだ

あかれんが
嶺前小學校尋三 矢橋滿子

だれもつかつてくれない
れんが
かわいさうな
あかれんが
おにはのすみに
おいてある
いたづらがきがしてある
れんが
かわいさうな
あかれんが
だれもつかつてくれない
あかれんが

こけい
聖德小學校尋二 江副勝

かつちん　かつちん
ながいはりと
みじかいはりが
あさからばんまで
かけくらべ
かつちんかつちん
かつちん　かつちん
うさぎのやうに
はやい　ながいはり
かめのやうに
おそい　みじかいはり
二人がきようそう
かつちんかつちん
かつちんかつちん
ながいはりは
はやいなあ
みじかいはりは
おそいなあ

とうとうけつしよう
ばんざい

體操
嶺前小學校尋三 上野露

オイチニく
足のうんどう
オイチニく
赤白ぼうし
チヨコンとかぶり
男のたいさう
上手だなあ
オイチニく
男のたいさう
こつけいだ
あたまをかいて
ニコくと
男のたいさう
上手だなあ

あまだれ
伏見臺小學校尋二 正岡さた子

あまだれさんは
あめのふる日に
きつときて
おうちのまはりで
タン　タン　タン
うるさいく
あまだれさんは
おうちのおやねを
トン　トン　トン
雨がやんだら
ゐなかつた

子馬
大廣場小學校三年 小坂敬子

子うま　子うま
かはいゝ子うま
いつもいつも
なかよくあそび
かあさんるすにや
草くつてるよ
かあさんまちまち
草くつてるよ

アヒル
哈爾濱小學校 安藤二郎

アヒルノ　オクビハ
ナガイ　ナーガイナ
オクビヲ　フリタテテ
ミンナ　ソロツテ
ガーガーガー
大キナ　アンヨデ
ペツタリコ
ミンナ　ソロツテ
ペツタリコ
ナニヲ　見テモ
ガーガーガー

チクオンキ
哈爾濱小學校 中原朗

ボクガ　チクオンキ　カケタナラ
カナリヤ　マネシテ　ウタヒダス
チイチク　チイチク　ウタヒダス
弟モ　イツシヨニ　ウタヒダス

來る二十日迄に全部撤退を終る

我が山東派遣軍

【東京六日發電】山東派遣軍中濟南にある部隊は十一日より撤退を開始し十四日には張店、博山附近の部隊、十五日には坊子の部隊を撤退し船舶輸送は十四日より開始し二十日を以て全部撤退を終る豫定である、尚獨立飛行中隊は十二日空中輸送を行ひ青島より大連平壤大邱を經て十四日太刀洗に歸還する筈

けふ撤退開始を訓令

【東京六日發電】鈴木參謀總長は七日宮中の御都合を伺つた上參内山東撤兵計畫を奏上し安滿師團長に撤退開始の訓令を發する筈

潮の岬燈臺へ 聖上行幸

關西より御還幸の途 串本港に御寄港遊し

【東京六日發電】天皇陛下には海難防止の第一線に立つ燈臺事務に對し深き御心を垂れさせ給ひ東宮におはせし大正五年十一月大吠岬燈臺に行啓あらせられた事があつたが、今回關西行幸の際御還幸の途特に御召艦を和歌山縣串本港に着けさせられ潮の岬燈臺と無電局へ行幸あらせられる旨仰出された、御日取は二十七日午前九時半串本棧橋御上陸約十丁の坂路を御徒歩にて燈臺に成らせられ無電局へも御立寄り親く御視察遊ばさるゝ由

グ公殿下を正賓に晩餐會

今夜首相邸で盛大に

【東京六日發電】田中首相は七日午後七時より首相官邸に於てグロスター公殿下を主賓とする盛大なる晩餐會を開くことゝなつた

濱口總裁が奉迎文捧呈

拜謁を仰付る

【東京六日發電】濱口民政黨總裁は六日霞ケ關離宮に伺候グロスター公殿下に拜謁仰せつけられ奉迎文を捧呈した

騎兵學校に御成り

秩父宮御同列

【東京六日發電】馬の宮樣グロスター公殿下には御多忙の御日程の一日をさいて六日午前十時霞ケ關離宮御出門自動車にて習志野陸軍騎兵學校に成らせられ、此處にて御出迎への秩父宮殿下と御同列にて脊梅の高等馬術や習志野原に於ける戰闘演習を御覽遊ばされ、午後三時二十分御機嫌麗しく御歸還遊ばされた

共同丸と戎克衝突

一名行方不明

五日午後九時半頃第廿一共同丸が艀をついて黄白嘴燈臺沖合を航行中、山東省萊州掖縣の徐春來(二三)を船長とし七名乘組の百五十石積の戎克と衝突し戎克は浸水、乘組の中山東省生れ徐寮(二〇)は海中におち行方不明になつたこの騒ぎに一驚した第廿一共同丸では直にロープを投げて同船を大連まで曳航したが、徐船頭の語るところによると同船は現金一千百圓、鈔票一千圓、小爲替千圓を積んでゐたものが總て流失してしまつたと

徴兵檢査始まる (伏見臺小學校で)

滿蒙十五鐵道驛傳競爭

豫想投票懸賞募集

詳細の規定近く發表

本社主催の滿蒙十五鐵道驛傳競爭に就いて本社の係員は晝夜兼行其の準備に努めつゝあるが、之に從ふ紅白兩班の選手はダイヤグラムに就いて互ひに作戰を謀議し孰も必勝を期してゐる、殊に一般讀者に對する興味の中心たる所要時間豫想に關する規定及び賞品は一兩日中に發表する豫定であるが、豫想投票期間を來る十日より廿五日までとなし懸賞々品としては總額數千圓に上るものを一等乃至五等に分ち、三百名に近き豫想日時適中者及び其の接近順に從つて贈呈することになつてゐる、尚讀者に對する各鐵道事情の紹介は別項の如く本日の紙上より連載し始めたが更に各鐵道の中終端驛及び交叉驛の列車發着時間表も不日本紙上に掲載して豫想投票者の參考に資することゝする

波斯に大地震

死者二千名

【テヘラン六日發電】ペルシャのコラツサン縣に地震起り死者二千名を出したとの報が本日當地に達した、トルキスタンとの國境地方にあるクシヤン、シルヴン、キフアン、ボユヴアンの四ケ村落は全滅したがコラツサン縣の首都メシエツドでは地面に大龜裂を生じたのみで大した被害はなかつたと

岡山縣で一家五名

燒死を遂ぐ

【大阪特電六日發】五日午後十一時頃岡山縣和氣郡日笠村大字保曾農業谷秀太(五三)方から失火し、同家の三棟を全燒六日午前三時鎭火したが、妻スズノ(五〇)長女チヨ子(二七)孫正夫(六)秀子(四)タカ子(二)の五人は無殘にも燒死を遂げ、養子源吾(二七)は辛うじて屋外に逃れたが失神狀態となつた、尚主人秀太は外出中で死を免れた、原因は藁籠室の燒爐かららしいと

支那船客に猩紅熱

船内船客消毒

大連小崗子露天市場劉金吉山(二一)は二月廿八日母親に連れられて郷里天津府文安縣勝芳に歸省してゐたが、五日午後四時頃第一泰利號にて歸連した所、檢疫の醫務局醫師に、樣子が變だと診斷され實母と共に寺兒溝檢疫所に入院せしめた所猩紅熱と判明、船體並に船客約百六十八名に就き消毒を行つた系統は原籍地らしく劉吉山は六日午後死亡因に猩紅熱患者としては本年最初のものであると

張宗昌軍の敗兵 奉天で生活難

奉天署で近く送還する

【奉天特電六日發】去る三日鐵西苦力宿舍に張宗昌軍の敗兵約八十名が押しかけ滯在してゐたが、既に食糧缺乏悲慘な狀態にあるので奉天署ではこれが處置につき考慮中であるが、近く滿鐵に依頼し歸還せしめると

東京に天然痘

【東京特電六日發】蠣殻町米穀取引人扇清治郎は五月一日發病六日天然痘と決定、傳染徑路は上海らしい

三越爭議團員

三十名檢束

【東京六日發電】三越爭議團員四十名は五日朝三越、白木屋、松坂屋、松屋で出動の店員に對し宣傳ビラを配布せんとして堀留署に發見され三十名檢束された

段位制々定最初の ハンディキャップ レース

十九日大連運動場で

滿洲の陸上競技に今春初め段位制を設けたが、その最初のハンディキャップレースを滿洲體育協會主催で來る十九日午前九時から大連運動場に於て左の方法によつて擧行することゝなつた

一、競技種目

▲トラック之部 百米、二百米、四百米、八百米、千五百米、五千米、百十米高障碍、八百米リレー

▲フイルド之部 圓盤投、砲丸投、槍投、棒高跳、走幅跳、走高跳、三段跳

一、競技方法 本會制定の段位制に依り行ひ大體に於て個人競技とするも其中團體競技をも認む

一、團體組織 各團體は團體として競技に參加する事を得(滿鐵[illegible]は同運動會の色別に依り一團體と見做す)團體競技は一等三點二等二點、三等一點として其の得點の多き團體を優勝とす(各團の人員は無制限とす)

一、入賞 個人賞は各種目共一等より三等迄とし團體競技は一等より三等迄入賞とす

一、參加料 一人一種目に付金二十錢申込と同時に納付の事

一、申込期限 五月十日正午迄到着の事

一、申込所 滿鐵社會課氣付 滿洲體育協會

巡捕採用試驗

關東廳警官練習所では今回入所すべき普通巡捕二十名、交通取締巡捕二十名、計四十名の巡捕採用試[illegible]

法政早大再勝

―立教帝大敗る―

【東京特電六日發】法帝野球二回戰は六日午後三時五分より中野球場で帝大先攻で開始・帝大は五回に一點六回に一點を得法政は一回に一點三回に二點を得三アルフア對二で法政再勝・四時五十五分閉戰・バツテリーは(帝大)遠藤・小林・鹽澤(法政)若林・成田・尚早立第二回戰は六日午後二時六分より神宮球場にて立教先攻で開始・早大は好打連發一回四點二回二點五回一點を得たるに對し立教は三回一點・五回二點を得たのみで七アルフア對三のスコアで早大一回勝四時四十一分閉戰・兩軍のバツテリーは(立教)土・細岡・小笠原(早大)松崎・小川・伊丹

デ盃歐洲ゾーン

白耳義全勝す

【ブラツセル五日發電】ラクロワユーバンク(白耳義)對ルツプー・フォンデルネル(ルーマニア)のデビスカツプ庭球戰は七對五・六對一・六對一にて白耳義勝ち全勝したので次はチエツコスロバキアと對戰する

デンマーク勝つ

【コペンハーゲン五日發電】デンマーク・チリーの對戰はヘンツクゼン(デンマーク)六對二・六對三六對四トラルヴアス(チリー)でデンマーク勝ち今度はギリシヤと對戰する

ギリシヤ勝つ

【アゼンス五日發電】ギリシヤ對ユーゴースラビアの試合は三對零でギリシヤ勝ちデンマークと戰ふ事になつた

大成功裡に競馬終る

總賣上高は約十八萬圓

星ケ浦春季競馬大會の六日は朝來空模樣怪しかりしに拘らず最終日とて滿員の盛況であつた、聯盟優勝は華王に關東軍司令官寄贈賞、抽新優勝は華王に大連市長寄贈賞、同じく抽新優勝の日高には滿鐵寄贈賞、新古馬優勝左近には關東廳賞與各抽優勝の武嵐には大連農會寄贈賞をそれぞれ各馬主に授與された

尚ほ入賞馬及びその配當(五圓券)は左の如くであつた

▲第一競馬各抽一哩、一着張飛二分十七秒三、二着八雲、三着若松(配當十圓八十錢)▲第二競馬抽新一哩、一着一瞬二分二十一秒三、二着雲雀、三着拔天(配當十圓六十錢)▲第三競馬各抽一哩、一着桂二分十三秒一、二着宗戸、三着名草(配當五圓八十錢)▲第四競馬抽新四分三哩、一着雄飛一分四十四秒二、二着北斗、三着豐玉(配當八圓三十錢)▲第五競馬駈騁優勝二哩半一着萬歳十一分十二秒三、二着錦、三着金丸(配當五圓七十錢)▲第六競馬新古呼一哩、一着勇二分四秒四、二着月星、三着綠剛(配當十五圓二十錢)▲第七競馬抽新一哩、一着谷風二分十八秒四、二着極東、三着勝見(配當七圓)▲第八競馬各抽一哩四分一、一着豐二分四十五秒、二着金峰、三着大正(配當七圓九十錢)▲第九競馬抽新優勝一哩四分一、一着華王二分四十六秒二、二着太郎、三着大黒(配當五圓九十錢)▲第十競馬抽新優勝一哩四分一、一着日高二分四十八秒、二着羽衣、三着乙姫(配當五圓)▲第十一競馬新古呼一哩半、一着左近三分二秒、二着隆洞、三着晉羽(配當五圓二十錢)▲第十二競馬抽優勝一哩四分一、一着鳳武嵐二分四十一秒三、二着正和、三着昇龍(配當六圓十錢)▲第十三競馬各抽一哩、一着旭二分十一秒二、二着淡月、三着更科(配當二十九圓五十錢)▲第十四競馬抽新四分三哩、一着清一色一分四十二秒二、二着一初、三着千島(配當八圓四十錢)

因に四日間の馬券賣上高は十七萬九千八百六十圓で、春競馬としては大成功であつた

水產會魚市場

十二日開場式

新たに乃木町海岸に建設中であつた關東州水產會魚市場は此程落成を告げたので來る十二日正午より盛大なる開場式を擧行する筈

暴風警報解除

六日午後四時南滿洲一帶の暴風警戒を解く

けふのラヂオ

昭和四年五月七日(火曜日)

自午前十一時 相場(特產、錢鈔、株式、各地相場)

自午後零時三十分 相場(特產、錢鈔、各地相場)ニュース

自午後三時三十分 相場(特產、錢鈔、株式、各地相場)ニュース

自午後七時三十分

一、ニュース

二、講談(清水次郎長荒神山血煙)燕城九山

三、清元道行旅路の花聟(落人)淡月唄さだ子、唄作野夫人、三味線清元延愛喜

四、尺八(夕月)一部小笠原米山、二部梶原米城、三部横井米星、四部中村米雲

五、支那劇(徐策跑城)連東倶樂部々員

六、料理獻立

七、天氣豫報

八、ラヂオ體操

第三回大連市民運動會

來る五月廿六日擧行

午前八時より大連運動場にて

一、參加規定及申込

(1) 個人申込 參加希望者は一種目毎に往復はがきに住所、氏名、年齡、職業及競技種目を記載して申込期限内に申込むこと但學生は一人二種目以内とし一般は三種目以内とす

(2) 團體申込 小學校兒童及學生は各學校毎に取纏め申込むこと 一流選手及之と同等と認むるものは參加を遠慮されたし 一種目毎に各團體より一組宛とし代表者より申込むこと但一人二種を兼ぬることを得ず、

(3) A一七歳以下 B一八歳―二五歳 C二六歳―三五歳 D三六歳以上但五〇〇米は此限にあらず、小學校兒童は學年別とし中等學生以上はなるべく學年を標準として組合せをなす

一、競技種目

(1) 團體運動 團體遊戯、合同體操、教練、ダンス

(2) 競技 A個人 イ、トラック一〇〇、二〇〇、四〇〇、八〇〇、一五〇〇、五〇〇〇 ロ、フイルド、砲丸抛、走巾飛、走高跳 B團體 一般四〇〇米リレー、一六〇〇米リレー、學生二〇〇〇米メドレーリレー

(3) 其他(學生は出場せず)提灯競走、スプンレース、重荷競走、二人三脚、綱引、假裝行列

一、參加證 往復ハガキにて申込み復信を以て之に充つ、當日持參して出場の際係員に提示すること(小學校兒童及學生の參加證は一括して之を各學校宛に送附す)

一、申込締切 五月十五日限り

一、申込所 大連市學務課(電話八四五四番)

主催 大連市役所

後援 滿洲日報社

本社懸賞當選小說（新聞版上演）

人生の曲藝 (122)

瀨野皓太作　淺枝次朗畫

雪の朝(三)

それは思ひがけない、支那陸軍少佐の軍服を着けた朱文啓であつた。

「今頃、私にだまつてどこへ御出かけになるんです」

彼は脅かす樣につけ加へた。

「しまつた」彼女は心の中で、彼にみつけられた事を悔んだけれ共どうする事も出來なかつた。

彼女は涙を拭ふて、それには答へないで、鞄を提て、しほ〳〵と入口の方に步き出した。

「鞄を持ちませう。お出しなさい」

彼女は、朱文啓にそれを渡したもう破れかぶれの氣であつた。彼女はもう一口も、朱啓文には今度の事は話さない事に決心した。

二人が自動車に乘ると、すぐに彼は訊ね始めた。

「どこかへ旅行するつもりでしたか」

彼女は默つて返事をしなかつた。

「しかし、あなたはあそこで泣いてゐましたね。これは、たゞの旅行ではない」

彼女は突然に顔を上げた。

「朱さん。あなたは默つてらつしやい。妾は今度の事は、一言だつて、あなたにお話しないつもりなの。それに、あなたは妾にそんな失禮な臆測などしない樣にして下さいな」

彼は、それを聞くと直に笑つて了つた。

「はゝゝ……。誰だつてそれくらゐの臆測をしますよ。美しい女が改札口近くで、まるで戀人に取り殘された樣な格好で鞄に腰を下して泣いてゐる。私でなくたつて誰だつて、何とか考へますよ」

しかし葉山百合子は、その毒口を、言ひ返す元氣さへなかつた。彼女はたゞ、默つて內村信策の幻の樣な顏をみつめてゐた。

彼が、どれほど彼女を責め立てる樣とも、彼女は、そのまゝ押切るつもりであつた。內村信策が何と言はうとも、彼女の最後に落つく所は、結局、內村信策の胸の他にはない。この屈強なかくれ場所だけは、意地の惡い彼に知られ度はない。彼女はさう考へたのであつた。

が、朱文啓は、ちよく〳〵とそのさぐりの言葉をやめなかつた。

「しかし、荒井博士の研究所はどうするおつもりなんです」

彼女は、例のいたづら氣がそんな間際にも彼女の胸に浮んで來てゐた。

「荒井博士？だつて、當分は先生のご用事には妾が必要でなくなつてるんだわ、若しかすると先生は別なご用に妾が必要なのかも知れないけれど」

「別の用事？一體それはどう言ふ意味なんですか」

朱少佐は、ちろりと彼女の橫顏をみた。

彼女は、くす〳〵と、完るで今までとは違つた晴れやかな微笑を口もとに浮べてゐた。

「先生は妾を手離したくなかつたんだわ。先生は妾の手傳ふ樣な仕事が當分なくなつて了つてゐるのに、妾を離したがらないのだわ」

「しかし、それはどう言ふ意味なのです。あの嚴肅な、そして謹嚴な博士が、あなたをどうしようと言ふのです」

「あら、先生は何もしやしないわ、一言だつて、妾には判る事も仰言らないわ。だけど妾には判るんですの、で、妾あの方に、實は嘘を言つて了つたのよ」

彼女は、まるで小娘かなどの樣に笑つて了つた。

「嘘を？」

朱文啓は、決して笑はなかつたのであつた。

「嘘を。田舍の母が妾に會ひたがつてゐるので、暫くお暇を下さいとさう言つたのよ」

朱文啓は、しかし彼女のその言葉に充分の信を持たないでゐた。

「何て、思ひつきでせう。故鄕に母を持つてゐるものには、そんな白々しい嘘は言へないわ。妾は母が病氣で何時どうなるか判らないとも言つたのよ」

母！。この言葉は朱文啓の心の中にも、ふと、不思議な響きを持つて胸に響いてゐるのに氣ついた。彼の母に對する考へが、そして微かながら彼の母の幻に打つゝかつたその柔かい感情が、次の瞬間にはそつと彼の胸から消えて了つてゐた。

「百合子さん。私の御訊きしたいのは、荒井博士のお宅からどうして出たかと言ふ事じゃないんです。あなたが、此んな所で何故泣いてゐるかを知れば好いのです」

新刊紹介

▲商業世界(四月號) 東京京橋區小傳馬町一ノ三商業世界社(定價三十五錢)
▲札幌農林學會報(三月號) 北海道帝國大學農學部內札幌農林學會
▲運動界(五月號) 東京市牛込區下宮比町一番地運動界社(定價五十錢)
▲植民(五月號) 海外商業發展號 東京市麴町區下六番町五十番地日本植民通信社(定價五十錢)
▲大衆(五月號) 東京市芝公園十號の四大衆社(定價三十錢)
▲海外(五月號) 亞細亞開發號 東京市外落合町文化村海外社(定價四十錢)
▲新使命(四月號) 東京市麴町區內山下町一の一新使命社(定價四十錢)
▲海外經濟事情(外務省通商局編纂) 東京市京橋區築地三丁目十五番地中尾印刷所
▲日本魂(五月號) 東京市京橋區[illegible]町兩側日本魂社(定價三十五錢)
▲所有と社會主義(第十五卷四號) 東京麴町永樂町滿鐵東亞經濟調査局
▲明德論壇(五月號) 東京市芝區山村町七番地明德會出版部(定價十錢)
▲カツトブツク 東京市京麴町區平河町六の二四實業界社(定價六十錢)
▲農業世界(五月號) 東京日本橋區本石町三丁目博文館(定價四十錢)
▲我宗教 大阪府下長野町二三四番地大道園(十錢)
▲ソ聯邦一九二六年の國勢調査について(日露協會報告第四十四號) 東京市麴町區內幸町一丁目三番地日露協會

五月川柳課題

▽「逃げる」 五月五日締切 長谷川百穴選
▽「談・判」 五月十日締切 小倉蜂助子選
▽「觀察」 五月十五日締切 編輯局選
◎各題必ず別記一人五句限

滿日文藝係

大連汽船出帆

●青島、上海行
榊丸 五月八日前十一時
大連丸 五月十一日前十一時
天津丸 五月十四日前十一時
●天津行
天潮丸 五月九日後四時
長平丸 五月十二日後四時
天津丸 五月十五日前九時
●登州府・龍口行
龍平丸 五月十一日後六時
●香港、廣東行
萬達丸 五月九日
東洋丸 五月十七日
●營口行
長順丸 五月十日
●阪神行
長順丸 五月十五日
●安東行
濟通丸 五月十三日後六時

大連汽船株式會社 電話番號代表四一八五番

政記輪船出帆

永利號 五月八日芝罘行
廣利號 五月九日威海行
有利號 五月九日安東行
底利號 五月七日威海行
安利號 五月七日靑島行
宏利號 五月十三日右虎咀行
純利號 五月十三日上海行
增利號 五月七日上海行

荷客取扱店(大連市敷島町) 永和公司 電話七二七五・七八六八番
政記輪船股份有限公司 電話四一一四番

高橋汽船大連出帆

大連芝罘間定期船
●芝罘行 海龍丸 五月八日午後六時
代理店 大連加賀町三〇 鹿玉軒記 電六一一七・三八五一

社船大連出帆

●鹿兒島住の江行 臺東丸 五月
●天津營口行 南部丸 五月
●大阪行 羅勢丸 五月
●函館小樽行 光驗丸 五月

栃木商事株式會社大連出張所 大連市山縣通一二九 電話七四一八番

日清汽船大連出帆

●靑島、上海行午前九時出帆
華山丸 五月十四日
廣山丸 五月九日
代理店 大阪商船株式會社大連支店 電話四一三七番
專屬荷客取扱店(大連市山縣通) 國際運輸株式會社 電話三一五一番

大阪商船出帆

●門司神戶(大阪行)午前十時出帆
はるびん丸 五月八日
うらる丸 五月十二日午後四時
香港丸 五月十四日
ばいかる丸 五月十七日
●上海福州基隆高雄行後三時出帆
福建丸 五月十四日
盛京丸 五月廿四日
長沙丸 六月五日
●朝鮮經由長崎鹿兒島行
關東丸 五月廿一日
●北米シヤトル、タコマ行(上海神戶四日市横濱經由)
あふりか丸 五月十二日
●紐育行(神戶四日市横濱經由)船客お斷り
へいぐ丸 五月廿三日
●歐洲行(上海香港新嘉坡經由)船客お斷り
あんです丸 五月三十日
●天津行
武昌丸 五月十一日
貴州丸 五月十八日
河南丸 五月廿五日
●横濱直行(後三時出帆)
河南丸 五月十日
武昌丸 五月十七日
貴州丸 五月廿四日

大阪商船株式會社大連支店 電話四一三七番
專屬船客案內所滿洲旅館協會 信濃町遼東ホテル內電四一三一番
乘船切符發賣所 ジャパンツーリストビューロー 大連市伊勢町 大連案內所電五五五四番
專屬荷客扱店(大連市山縣通) 國際運輸株式會社大連支店 電話三一五一番
大山通り切符發賣所 電話七〇三四番
沙河口切符發賣所 東來洋行內 電話九五〇六番
ニホーム荷扱所 電話四八〇二番

阿波共同汽船

●芝罘威海衛青島行
第十六共同丸 五月七日後七時
●芝罘、威海衛、青島行
第廿六共同丸 五月八日後七時
●芝罘、威海衛、青島行
第廿一共同丸 五月十日後七時
●濰南浦行
長山丸 五月十日前十二時
滿鐵とは貨物連絡取扱致候
阿波國共同汽船會社 大連支店 大連市山縣通二〇〇番地 電長六八九一・五〇〇一番

日本郵船出帆

●歐洲行
豐岡丸 五月十三日孝浦行
松本丸 五月廿七日漢堡行
豐橋丸 六月廿五日漢堡行

近海郵船大連出帆

●長崎、神戶、大阪、横濱行
相模丸 五月九日
玄武丸 五月卅日
勝浦丸 六月廿一日
●横濱行
淡路丸 五月十八日
勝浦丸 五月廿四日
相模丸 六月八日
●天津牛莊行
淡路丸 五月十日
勝浦丸 五月十六日
玄武丸 五月廿二日
相模丸 五月卅一日
●基隆、高雄行
神州丸 五月十一日

朝鮮郵船大連出帆

●青島仁川行
會寧丸 五月十一日
●仁川、長崎、鹿兒島行
羅南丸 五月十二日
朝鮮鐵道各主要驛及本社各寄港地貨物受證發行
右汽船出帆日時は天候其他の關係により變更する事有之候
水路圖誌(海圖)販賣所
朝鮮郵船株式會社大連代理店
近海郵船株式會社大連代理店
日本郵船株式會社大連出張所 大連市山縣通電話三七三九・七八四六番
專屬荷客取扱店 監部通(吾妻橋) 丸一商會 電話四二四六・五八八八番

島谷汽船大連出帆

●南館爹日本各港函館小樽行
長成丸 五月八日
大成丸 五月十九日
鮮海丸 五月卅一日
●寄港地館南浦、仁川、群山、木浦、釜山、浦項、秋、境、宮津、舞鶴、新潟、伏木、函館、小樽
●各船客室設備あり
●敦賀伏木新潟行
島谷汽船株式會社大連出張所 大連市山縣通一五三
代理店 大三商會 電長四七一一・三八四二一・六一一二

夕刊 滿洲日報 五月六日

政局推移の默契と政策の完全な合一
床次氏肚裡に在る入閣條件 新黨は氣乘り薄し

【東京特電六日發】田中内閣の改造に際して床次氏を入閣せしむることに對しては薩派の人々を中心に反對運動起りつゝある一方、床次氏自身も無條件の入閣には頗る氣乘り薄であり政友會と新黨クラブとが對等の立場に於て

一、政局の將來に對する局面打開につき意見が全然一致せる場合（即ち適當の時機において政權を床次氏に讓り政友會が之を援助すること）

二、政策上の協定成立の場合（即ち政友會が兩税委讓を斷念し財政の緊縮を斷行し金解禁を行ひ其他の諸政策に於て民心の一新を圖ること）

以上の二項につき意見の一致を見なければ、此の際輕々しく政友會の勸説に應ずることは出來ぬと考へてゐる、然しながら斯くの如き場合は寧ろ兩黨の合同となるべきものであるので新黨クラブの大勢は單に政友會との友好關係を持續して將來の立場を有利ならしむることを希望し、床次氏の入閣問題は餘り興味を有せぬもの〻如くである

内閣改造方針は全部首相に一任
與黨内の大勢一致す

【東京六日發電】内閣改造が如何なる範圍に行はれるか、又床次氏の入閣が果して實現するか否かは一般に興味を以て見られてゐるところであるが、閣内及び與黨内に於てもそれぞれの立場に依つて異つた意見を有し、田中首相の處置如何に依つては如何なる

紛擾 を釀さんも圖られないので田中首相も此等の情勢については充分注意を拂ひ萬全を期すべく種々考慮してゐるが最近に至り一部閣僚並に與黨内部に於て此の際黨出身閣僚は全部一應進退を首相に一任し首相をして自由に手腕を揮はしめよとの意嚮が擡頭して來た、即ち之は自己の利害關係に依つて首相の内閣改造に對する意志を鈍らせんとする一部閣僚や政務官に對する

牽制 運動であり且つ黨内區々の意見を退け黨の統制を圖さらんとするの意志より出たもので結局は黨の大勢を制するに至るべく内閣改造具體化し床次氏入閣問題が本舞臺に入らんとするに至らば各閣僚も進退の一切を擧げて首相に一任することにならうと見られる

不戰條約案 近く御諮詢奏請
政府樞府の諒解成る

【東京六日發電】不戰條約案御諮詢奏請の時期、並に問題の文句に關しては樞密院方面の情勢に鑑み擧げて田中首相に一任してあるが田中首相は極力之が善後措置につき東究奔走した結果案は原案の儘として附帶條項として「第一條中の人民の名に於ての文句に限り我國に關係せざるものと諒解す」との聲明を加へて御諮詢を仰ぐ事に樞府方面とも大體諒解が出來たので首相は十四日頃の閣議に於て一應承認を求め御諮詢奏請の手續きを採り本月中には御批准を終る方針である、田中首相は五日午後六時頃出淵歐米局長を官邸に招致し不戰條約問題御諮詢の手續きを採ることについて約一時間に亘り協議した

首相、内田伯に
辭意を飜すやう勸告

【東京六日發電】政府と樞府との間に折衝を重ねてゐる不戰條約の字句問題については政府は大體に於て樞府の主張を是認することゝなつた模様で、之に對し内田顧問官は全權として調印した關係上深く其の責任を感じ樞府にて遺憾なること確定する以上辭職するが穩當なりとの考へより此の程近親者に辭意を洩らしたとのことである然るに若し内田伯が引責せば當面の責任者たる田中兼攝外相の責任にまで波及すると云ふので田中首相は内田伯に辭意を飜すよう勸告した

拓省設置と朝鮮除外問題の紛糾
責任は政府に在りと 貴族院方面の注目

【東京六日發電】樞密院で問題となつて居る拓殖省官制勅令案中朝鮮總督の權限論に對しては議會中より貴族院方面で相當注視し豫算案議決の本會議でも石塚英藏氏よりこの點につき政府の方針を質問した程であるが、樞府精査委員中齋藤氏の投げた一石は朝鮮其他六親日團體を中心に、國民協會その意外の運動を與へ、朝鮮各地に運動は相當猛烈となりつゝあるに鑑み、貴族院各派間には問題の性質から見れば海外領土を政府部内並に議會に對し主張する機關の設置は海外關係地において當然歡迎さるべきにかゝはらず、今日朝鮮にて種々な論議が行はれつゝあることは事前に省設置理由を理解せしめなかつたによるもので、殊に臺灣その他と異り朝鮮は總督府官制にも明記して居る通り拓殖省設置の曉には當然總督の權限問題に觸れるは豫知さるべきことで政府、朝鮮當局の失態を責ねばならぬと稱してゐる

米獨諒解成る
賠償問題妥協案

【巴里四日發電】賠償問題專門委員獨逸代表シヤハト氏は本日公式にアメリカ代表ヤング氏提案の妥協案を條件つきで承認した

告したと云はれてゐるが、政府が樞府に屈服する以上責任問題は今後喧ましくなるものと見られてゐる

荻川放談 (33)
改革

滿鐵の改革と云ふ新聞報知が、頻りに東京方面から傳はる、議會も濟んだに、社長の歸任が遲いと思つたら、斯うした問題が在るゆゑと頷かれる、改革なるかな、適正なる改革は進歩と發達を意味する、滿鐵は生れて既に二十年を過ぐ、其間に殆ど改革と名のつくほどの改革を受けて居らぬに、四圍外國の情勢は全く一變の趣きあり、此情勢に鑑み滿鐵改革の聲も、各方面で幾らか聞こえぬでもなかつたが、經濟界に於て經驗と智識に加へ鋭き手腕の所有者たる現社長によつて、此改革が考慮さるゝに深き意義を感ず。

◇

論界は、針ほどのことをも棒と觀て、無暗に之を横議するの弊がある、今度の改革案は針でない棒である、併し此の横議だけは避けたい。

◇

幸ひ今度の改革案に對しまだ横議と認むべきはない否正論の發表さへ少きは、世間が此改革の重大性に鑑みて然るならん、若し東京方面の新聞報知が眞なりとせば、蓋し是れ現社長の滿鐵改革案の是非を公論に問ひたる事にもなるが、改革の重大性からして輕々しく之に論議を加へざるは甚に善い、縱し論議ありとも、社長自身が其抱負を公開するまで之れを待て、而して此間に問ふべきこと糺すべきことあらば、他に採るべき色んな手段もあるべし、要は滿鐵の改革に完全を期せんには、彼是それを議論して、之に邪魔の入らざることが大切なり●

それにつけ、社長の改革案の一なりと云ふ、滿鐵に社長の諮問機關として、評議員會を置くと云ふ案件如きは、即時に採擇して、之を以て其改革を審査せしめたく、是れ恰も今度英國勞働黨首領マクドナルドが、國家改造の前提として、政府組織を改造し、現在の政務機關たる各省を統一する爲め、別個の委員會を設定せんとする意見に似通ひて、頗る面白し、但し新たに選ばるゝ評議員が、單に實業界のみからと限られざることを希ふ

黑田次官一行けふ來連す
出迎人で埠頭賑ふ

滿洲における國有財産調査の重要任務を帶び來滿せる黑田大藏次官一行十名は六日入港のはるびん丸で來連したが神田内務局長、田中同秘書役、佐藤商議會頭等が沖に出迎へた、一行は黑田次官を始め會計檢査院第一部長河野秀男、大藏省國有財産課長安江好治、貴族院議員藤田四郎、衆議院議員菅原傳、陸軍省經理局一等主計八木光三、管財局屬田村兵吉、主計局屬今井一男で一行は零時半船が岸壁に着くと同時に秋山埠頭長の先導で一先づ待合所内の貴賓室に少憩しその後、滿鐵差廻しの自動車に分乘、ヤマトホテルに入つた一行は午餐後、直に滿鐵の一般經濟狀態その他に就き説明を受け、更に關東廳側より長澤土木出張所長より大連の市街計畫に就き一場の説明あり續いて佐藤商議會頭その他より商議會議より滿洲金融制度改革等に就き説明及陳情を受けた

銀資供給に就ては實情を聽いて考慮
信託會社問題は尚ほ相談中 黑田大藏次官談

今度やつて來たのは關東州に於ける國有財産調査と滿洲の經濟視察が目的である、國有財産調査は内地は既に終り朝鮮は去年行つたので今度は關東州と云ふ譯である、滿鐵の信託會社は信託法が關東州に布いてないので其の設立はどうかと思ふが目下滿鐵とも相談中である、銀資金の融通を主とする證券會社に就ては未だ聞いて居ないが、對支關係もあり、當地の經濟界を調査し且つ色々當地の人々とも話して見た上でなければどうとも云へない、數年前銀資金を供給する中央銀行設立に關して大藏省から事務官が滿洲に調査に來たこともあるが、當時と今日とは事情を異にし正金や東拓もあることだ、又支那關係もあり只機關ばかり備はつたところで實際に適合せねば何んにもならぬ、まあ調査してからのことだ

證券會社を設立し信託の機能を發揮
滿鐵社長に手續せば許可すと 藏相、意向を傳ふ

滿鐵の信託會社設立については曩に關東州内に信託業法の適用なくまた近く之を施行することも不可能な事情にある關係から、申請中の該會社は大藏省銀行局にて難色があり遂に關係者研究の結果資本金一億圓程度の證券會社を設け之に依て信託會社と略同樣の機能を發揮せしむることに大藏、滿鐵兩者の諒解成り、三土藏相は四日山本社長と會見の際、更めて申請手續きを執る上は最急ぎ認可する意嚮なる旨を告げた

たが大藏省では信託會社としてでなく證券會社としてその機能を

運用 した方がよからうといふことで折衝中であつたもので滿鐵は滿洲財界の實情から見單てなる證券會社でなく信託會社として運用することが必要だとして提案した譯けである、然し證券會社としての設立は未だ絶對的のものでないから本日着連する大藏次官一行に對し信託會社の立案趣旨を大いに説明してその考慮を煩はす積りである、又假りに證券會社として

認可 を仰ぐにしても提出中の信託會社案は當然證券會社組織に書類の變更をせねばならぬが未だこの手續きをしてゐないので證券會社として認可を見る筈はないことゝ思ふ

證券會社變更は未定の問題
小日山滿鐵理事談

滿鐵が政府に認可の申請をした信託會社は資本金一億圓で五千萬圓拂込み即ち會社所有の有價證券及現金三百五十萬圓を出資し該證券の賣拔は勿論支那側の銀資吸收を希望してゐる右に就いて小日山理事は語る

滿洲經濟の視察だけ
菅原傳氏語る

黑田次官一行と共に滿洲の國有財産調査のため同行來連した我政黨界の長老衆議院議員菅原傳氏は語る

滿洲にはズツと昔、日露戰爭の時來ただけで、それから約二十四、五年の月日が流れてゐる、何か言ひたいが何分そんな昔の觀察を土臺にしては話にはならんだらう、まあ今度この一行に加つたのを幸ひ、よく觀察するんだね、何滿鐵民營問題かね、それはむしろ君たちの方が詳しからう、私等は船の無電で承知した位だ、今度來た事に就いて色々な觀察が下されてゐる樣だが、私自身は滿洲の經濟視察に

けふ來連した黑田大藏次官

大連の日程

來た丈だ

來連した大藏次官一行の大連に於ける日程は左の如くである

△六日正午滿鐵の招待に出席、滿鐵からは理事以下部長及部長待遇者十三名列席した

△七日午前滿蒙資源館、中央試驗所、沙河口工場視察

官民合同で一行の歡迎會
十日夜開催

黑田次官一行の大連官民合同の歡迎會は田中民政署長、石本市長、佐藤商議會頭發起の下に十日午後六時三十分からヤマトホテルに於て開催されるが會費は金六圓、出席希望者は大連商工會議所宛申込まれたしと

北滿支那側要人張學良氏に進言
日本側の吉會線問題交渉で兎角長引く滯奉期間

【哈爾賓特電四日發】張作相吉林省政府首席張景惠東支督辦等北滿支那側要人が昨年以來屢々出奉し、その都度滯在が長引いた理由は東支鐵道問題、對露外交並に通商問題及び對南問題などに關して奉天幹部と種々打合せのためでもあらうが、主なる

原因 としては張學良氏が南京政府と連絡をとりつゝ吉會線問題に關する日本側からの交渉に對し政策的に善處するため吉會線と深い關係の地位にある吉林省及び東支鐵道百腦者の滯奉進言を必要とするによるものであると見てゐる、而して吉會線問題も如何とか決せねばならぬ際、南方政府と連絡をとる上に且つは又直接滿鐵理事と折衝するに當つて智謀を與へたものは北滿の事情に明るい張作相並に張景惠及び鐵道通の呂榮寰の諸氏であるから問題が未だ解決せず再び日本からの

交渉が 豫期される今日張景惠並に張作相の兩氏は職務の都合で今週中あたりには一旦歸任するであらうが呂氏の歸哈はまだ〳〵遲れるものと見られると想像してゐる

最近著しい州内各會の發達
昭和四年度に於る業績

現在會の施設せる事業の主なるものは、教育であつて警備、勸業等之に次ぎ其の他土木、衞生、地方改良、屠獸場、市場等公共の事業を經營してゐるが、教育施設としては普通學堂を設置經營して支那兒童の初等教育を行つてゐる、近來漸く施設整ひ就學兒童も增加各會共校舍の增築を要する現況である

勸業に 關しては苗圃の經營、模範桑果樹園、蠶種試驗、牛豚種の改良等の施設をなし、他農村の振興を圖りつゝある、しかして昭和四年度管内各會の經費豫算總額は百十一萬五千餘圓で前年より六萬餘圓を增加した、會税の收入は七十九萬餘圓で歲入の七割強を占め（内反別割五十五萬圓—歲入の四割九分—戸別割十四萬六千餘圓—一割三分二厘—）

特別税 九萬一千餘圓入（一割二厘）税外收入は三十二萬四千餘圓にて歲入總額の二割九分に當つてゐる、之が割當率は戸別割一戸平均一圓九十二錢二厘、一人當り二十六錢八厘、反別割一畝平均二十四錢九厘で、會税の一戸平均は十圓三十四錢九厘一人當りは一圓四十四錢四厘となり、前年に比して一戸當り五十九錢三厘、一人當にて七錢八厘を減じた

歲出は 普通學堂費の三十五萬二千七百八十九圓（前年より）

萬八千餘圓增）を筆頭として事務所費の二十八萬圓、警備費七萬五千餘圓、勸業費五萬餘圓、未費一萬五千餘圓、地方改良費一萬三千餘圓、基本財産造成費三萬二千餘圓、臨時部にては補助費六萬五千餘圓等の支出が重なるものであるが、最近に於ける會自治、財政及事業の發達は之によりても頗る著しきものあることが想察される

滿洲青年議會
六月初め大連に開會

滿洲青年聯盟本部は沿線各理事參集して理事會を開催中であつたが第一回議會を近く大連に開催することに決定し五月二十日迄に各地の總選擧を行ふ手筈となつたから各地に於ても日ならずして猛運動が起るであらう、因に第一回議會開催期日は小日山理事長旅行中のため未だ確定せざるも多分六月一二三日の三日間滿鐵協和會館に開會の豫定である

△八日午前西崗子公學堂、取引所、日清油房、華工收容所視察、午後關東廳救療所、窯業會社、露天市場視察

△九日午前八時ヤマトホテル發自動車にて旅順へ、途中龍王塘水源地視察

△十日午後旅順發大連へ

尚沿線視察日程は既報の通りであるが滿鐵からは鎌島信司氏が主となる

旅順視察日程

黑田大藏次官一行の旅順に於ける視察日程は左のごとくである

△九日 午前八時大連發同九時頃旅順着十時半より約一時間に亘り關東廳關係事項につき打合せ正午軍司令官主催の午餐會に臨み陸軍所管地博物館を視察、午後六時木下長官主催の晚餐會

△十日 午前八時半師範學堂、警官練習所、工科大學、矢原氏經營の鹽田、郵便局敷地、警察署海軍所管地を視察、正午久保田駐在武官主催の午餐會に臨み午後一時より戰跡、戰利品陳列所を見學四時半自動車で大連に向ふ

して案内の役に當ると

次官一行の宿所

黑田大藏次官一行十名の大連に於ける旅館は左の如くである

▲黑田次官、ヤマトホテル四番
▲河野會計檢査院第一部長 同上三番
▲菅原代議士 同上八番
▲藤田貴族院議員 遼東ホテル新館二番
▲安江國有財産課長 ヤトホテル十五番
▲大野特銀課長 同上十八番
▲荒川主計局主計官 同上十四番
▲八木陸軍一等主計 同百八番

山崎課長歸連

新任遼陽師團長に挨拶のため赴遼中であつた山崎滿鐵文書課長は六日午前八時三十分着列車で歸連した

人事

▲高橋仁一氏（南滿電氣支配人）六日入港のはるびん丸にて歸連
▲田邊鐵氏（公主嶺取引所長）同上
▲廣西金藏氏（三泰油房重役）同上
▲德島在鄉軍人團一行十七名 視察のため同上來連
▲長野縣實業補習教員養成所生徒一行二十九名 同上
▲八幡濱商業學校生徒一行四十三名 同上
▲宮崎中學校生徒一行九十四名 同上
▲細田義造氏（本社經理部長）滿蒙踏傳競爭の要務を帶びて五日午後九時發奉天へ出張

大觀小觀

床次氏の入閣を薩派が阻止してゐる。いよ〳〵路頭に迷はせる積りか。サツパリ判らぬ。

◇

滿鐵改革案、流石に山条式だ。政府も一寸手がつけられぬらしい

◇

南京派の高壓に對して、馮派あくまで隱忍す。此の隱忍が聊か無氣味ではある。

◇

市長も三月かゝつて出來た。助役も之に倣ふとある。

◇

徹底的軍縮意見の露、支兩國が世界有數の陸軍國であるのは妙な現象。

◇

軍備制限問題が、軍費公開決議だけで漸く纏まつた。眞の軍縮實現は前途遼遠。

歌集 木蓮
長尾昌一

忍冬あまき香かげば七つなりし母の御前の吾のこひしき

日の一日さみしと思ふ旅宿のあしたに母を思ひいだして

大屋島夕べは月をむらさきに乙女のごとく靡ける波

落人のかなしき跡もこもるかに屋島の秋をなけける蟋蟀

ひたひたと夕べは夢をさゝやくと屋島が浦の波のやさしさ

形あるものにもあらばとりいでゝいだき泣かましさみしき心

阿賀紙のはてたき時をなくとてもなほおもかげに人やうまるゝ

天氣豫報

七日（曇）南西の風 曇後晴

日出四時四九分 日沒六時五一分

滿潮前九時 後九時一五分

干潮前二時三〇分 二時五五分

昭和の御前試合

優勝の四氏に名刀を授與

三組の銀盃と共に

【東京六日發電】五日晴れの御前試合に美事優勝の榮を贏ち得た栗原、木原、横山、持田の四氏は試合終了後五三の桐に菊模様を打込んだ三組銀杯を優勝賞として授與されると同時に侍從職から御下渡になつた左の如き四口の名刀をそれぞれ授與された

▲栗原氏に宮本包則の御太刀（刀長二尺三寸四分、明治二十八年二月謹作）

▲木原氏に延壽正國の御太刀（刀長二尺二寸八分、明治二十八年四月謹作）

▲横山氏に羽山丹臣の御太刀（刀長二尺二寸、明治三十一年一月一日秋田にて謹作）

▲持田氏に備前祐永の御太刀（刀長二尺二寸八分、天保四年二月吉日備前長船住人横山加賀之介藤原朝臣祐永の作）

國粹を保存奬勵

一木宮相談

【東京六日發電】御前試合終了後一木宮相は左の如く語つた

氣候不順で寒さが後戻りした様な今日長くも二時間の長い間陛下の臨幸を仰いだ光榮の御前試合に百六十六名の多數の選士が一人の故障もなくすらすら進め得た事は我等主催者側として喜ばしいことであつた、特に昨夜の雨で今日の如き氣遣はれたが今日は寒くはあるが、一天紺碧の好天氣であつたのも神國に備はる天佑であらう、兎角日本人は四十を過ぎると老込勝ちであるが、今日の試合に依り若い者は勿論四十を越した老武者に尚ほ矍鑠壯者を凌ぐ概あるを見て武道の精神は此處だと肯かれた、選士達の武道精神に則つた堂々たる勝負振りも今更の如く武道の清澄さを偲ばれたがわけて劍道の高野、中山、柔道の嘉納、山下四名人の「古式の型」はげにも勇壯典雅であつた、武道の眞底を流るゝ大神秘が自ら見る人の體内に浸潤するやう感ぜられた、今後も益々此の國粹を保存獎勵しなければなりませぬ

優勝の榮え

謙遜して感想を語る

【東京特電五日發】劍道府縣選士優勝者横山永十君は福島高商三年生で同校劍道部主將で今年二十三歳の青年である、同君は優勝の喜びを滿面に湛えて語る

何しろ選士は全國一粒選りの人々で皆私達より先輩で勝つ自信などはなかつた、決勝戰の畑生氏は精練證ではあり、最初横面に附け入つたところを胴を取られてゐるので、あとは唯夢中であつた、勝つて見ると唯感激するだけで何にも申上げられない

◇

更に指定選士として優勝した持田盛二君は語る

父は尚ほ八十餘歳の高齡で群馬縣に居り、小野派一刀流の免許を持つてゐるので、十二歳の時から稽古を強いられた、日清役後劍道が盛んになつた時である二十五歳の時、京都に出て修行した、相手の高野先生は私のズツと先輩で、とても勝てる人ではなかつたが、右足を痛められてゐたので勝たして貰つたやうなものである

◇

柔道府縣選士優勝者木原久雄君は次のごとく語る

私の柔道は十三歳の時、山口縣防府中學に入つて始めて、中學の時初段、明治專門學校在學中に四段まで進みました、勤務先の八幡製鐵所の方が忙がしいので十分稽古も出來なかつたし、試合は唯夢中でやつただけでした

◇

指定選士優勝者栗原民雄君は左のごとく語る

審判方法には意見もあつたが試合は力限りやりました、今日の勝因は平常の無休主義の賜と思ふ、性來鈍感なと先生に注意されてゐたため無休主義で練習に努めたのであります

高野畑生氏の敗因

中山師範批評

【東京特電五日發】御前試合の指定選士及び地方選士の決勝戰々績に就審判中山博道氏は批評し語る

高野茂義（大連）對持田盛二（京城）の試合は最初から持田優勢であつた、高野は得意の片手上段で幾度か小手を試みたが成らず持田亦た得意の突きを三度試みたが、お互に得意が奏効しなかつたのは互に用心したためで模範試合らしきものであつた、高野の破綻は振りカブらうとする刹那に飛び込まれたのである 最後に上段の小手をとられたのは將に動作を始めやうとして既に前方に左足が動きかゝつたとき即ち出鼻をやられたことが敗因であらうと思ふ又、畑生對横山は双方よく戰つたが横山は先づ小手に當てたが不充分でとれなかつた、畑生の破綻は出鼻の小手をとられたのである、稽古から見ると畑生の方が修練が積んで居るやうであるが横山は氣分で勝つたといへる

流行性腦脊髓膜炎芝罘に侵入猖獗

公安局から注射液購入に來連

大連港で嚴重防疫

流行性腦脊髓膜炎は殆ど支那全土に蔓延し、日々の死亡者も相當の數に上つてゐるが、この大連港とは最も近接の間にある芝罘においても恐ろしい勢ひで流行しつゝある旨當地海務局に報じられた六日早朝芝罘より入港の海勇丸にて[illegible]臺市立公安局醫官趙子平氏が來連したが芝罘西南河下縣一帶に三週間前より同病患者續出し既に三名死亡するに至つたので同氏はワクチン液購入の爲來連したものであつて氏の語るところによると尚續發する模様である

關東廳に達した報告によれば上海方面に於ける同病の流行は頗る猛烈で三月末までは一日平均二十名の發生であつた所四月に入つては上旬に於いて一日平均二十名中旬二十七名下旬三十名の割合で發生し計八百名の發生を見、二百五十名の死亡者を出したが前月に比すると約十倍の増加である

而して關東廳衛生課では同方面との交通に關し嚴重に取締を行ひ病菌の侵入を防ぐことゝなつた

一般婦人の參加希望

五月祭練習會

本年初めての催しで各方面から少からず興味を以て迎へられてゐる大連市役所主催本社後援の五月祭りは愈十二日大連運動場に於て華々しく擧行されることゝなつたが、これに先だち七九兩日午後四時より彌生高等女學校に於て別項の通り舞踊練習會を開き晴れの日に備へることゝなつたが、各團體のほか一般婦人の參加を歡迎する

「金剛呪門」映畫會

七八日兩夜沙河口劇場で

本紙連載の「金剛呪門」の映畫會は去る四日より本社主催の下に市内演藝館に於て開催し初日以來白熱的歡迎裡に素晴らしい人氣を博し連日連夜大入滿員で本年度の新記録を作り札止めの盛況を呈してゐるが、西部本紙讀者のために七八日の兩夜沙河口劇場に於て上映することになつた、會費は七十錢と五十錢で讀者は優待券持參者に限り五十錢と三十錢に割引する

蛇のやうに人妻に附き纏ふ

執拗な行商の支那人

五日午前九時三十分ごろ大連近江町一五二物品行商胡玉章（四三）は兒玉町九滿鐵機關區員太田新吉（假名）方の裏口より侵入し折柄居合せた同人妻フキ子（假名、二八）に對し柏餅を進上するとて同女の歡心を買ひ怪しげな擧動に出るのでフキ子は底氣味惡くなり屋外に逃げ出さんとしたが、戸口に立ち塞がり同女を抱きすくめんとした騒ぎに新吉の實弟精一（二三）がその筋に訴へたので北公園派出所より警官駈け付け取押へた

この痴漢は昨年七月ごろも眞夜中に主人の不在中表入口より同家に侵入し就床中のフキ子を襲ひフキ子のため刺身庖丁を以て左手甲に一撃を與へられその儘逃走したもので當時の傷痕はまだ左手甲に殘つてゐたが、フキ子は附近で評判の美人な爲め胡玉章は昨年來懸想し執拗くつき纏つてゐたもので取調べの上取敢へず拘留十日に處せられた

グ公殿下御入京

寫眞（上圖）は秩父宮殿下とグロスター公殿下御同列にて霞ケ關離宮に向はせらるゝ（下圖）は東京驛前に御出迎へ申し上げた在京英人

三井畫伯佛蘭西サロン入選

一昨年七月繪畫研究の爲佛蘭西に赴き巴里に留學中の當地の三井條太郎氏は今回首尾良くサロンフランセに出品せる「縫ふ女」「肖像畫」の二點當選し一躍世界的一流美術家としての名聲を獲るに至つた

因にサロンフランセと云ふのは國立の宛かも我が帝展の如きもので絶對的權威を持つて居り滿洲より斯くの如き美術家を出したるは實に我が在滿邦人の誇りと云ふ可きである

不人情な夫妻を酌婦に賣り

精神病者となつたのを顧ぬ

國元から照會で發覺

小崗子署宛て數日前兵庫縣宍粟郡千種村字西山生れ見當りんから同人娘繁野（三）は市内丹後町二一理髪業清水林藏と結婚したが最近繁野は精神病者となつて同署で保護を加へられてゐると云ふ話で夫林藏に尋ねても返事もくれぬから繁野の現状を御調査願ひ度いと照會して來たので同署保安係では早速林藏を取調べると林藏は繁野を前借六百五十圓で長春吉野町二丁目紅矢ハル方へ酌婦に沈め繁野が泣きの涙で呻吟中遂に昨年末精神に異常を來たし稼業が出來なくなり小崗子署保安係の手で廢業せしめて目下慈惠病院伏見臺分院に入院せしめてゐるが夫林藏は此狂へる繁野を放擲して顧みない有様なので同署では林藏を呼出し懇々説諭を加へた

鮮妓に迷うて失業者自殺

沙河口朝鮮料理店に忍込み

猫いらずを嚥み危篤

六日午前八時頃沙河口西町一〇一朝鮮料理永興館方抱酌婦政子が客を送り出した際、泊り客の無い筈の部屋から人のうめき聲が聞えたので調べて見ると苦悶中の男は同家抱酌婦八千代事宋蓮峰（二九）の馴染客で近頃足止めされてゐる新潟縣人當時市内智光院止宿中の野口隆一郎（三九）なので大いに驚き届出でたが野口は猫イラズを服用して居たもので早速滿鐵沙河口分院に擔ぎ込み應急手當を施したが生命危篤

野口は本年三月滿鐵築港事務所を解雇されて以來次第に零落して遂に智光院に止宿する程落ぶれたが豫て馴染の前記八千代の事が思ひ切れず五日朝から同家を訪うて八千代に逢はせて呉れと頼んだが斷はられ思ひ上つて前記の始末に及んだものであると

脱走支那兵の拳銃密賣未遂

大連若狹町九一趙緒俊かた無職陳明濱（三〇）は元山東軍第四師長劉選來の部下で去る四月二十六日脱走し同月二十七日龍口より連勝號にて來連し知人の趙緒俊かたに至り寄食中自己所持にかゝる米國製ブロペラー拳銃一挺、同彈丸四發を趙を介し他に賣却せんとした事より發覺し無許可所持者として五日大連署に擧げられた

問題の戯曲

『大津事件』及『小村壽太郎』

前者は中村吉藏氏作、後者は小林宗吉氏作、何れも素晴らしい名作『現代』五月號に發表！面白くて大感激を受く大好評！

密告したと金品を強要

賭博犯人が

大連久方町五南滿電氣會社員小島常右衛門（四七）ほか十一名が去る一日夜賭博開帳中檢擧された事は既報の通りであるが、この中の久方町五貿易商森田暢（二七）は五日深更前記小島の情婦たる吉野町一〇〇仕立業賤川キヨ（三三）かたに至りキヨに對し「賭博を密告したのはお前であらう」と詰問恐喝し金品を強要した事が發覺し大連署に恐喝犯人とし取押へられた

多數贓品隱匿

大連西通り三八寺井作造かたで三日より雇ひ入れた苦力朱徹承（二〇）に擧動不審の點あるので届け出により西廣場派出所より小笠原巡査出張し逮捕の上嚴重取調べた處褲子の綿の中に鍍時計、金縁眼鏡、珊瑚かけ、卵型腕時計、クローム指輪、サム時計、シーマ腕時計、金指輪、金メダル、眞珠入メダル等合計十六點時價百五十圓に相當する贓品を隱匿してゐた事實を自白した、何れより窃取したか不明であるが心當りの者は大連署司法係へ申出て貰ひたいと

藝妓訴へらる

大連逢坂町一六八無職多川莊平及びその娘藝妓由太郎こと多川チセ子（二三）の兩名は六日同町三〇貸座敷舞鶴こと勝野トメより詐欺罪により大連署へ告訴された

訴狀によると由太郎はもと同地玉川樓の抱藝妓として稼業中前記勝野が玉川樓の營業權および抱藝酌婦の讓渡を受け名義書替その他の手續に際し親子兩名は共謀上、由太郎が舞鶴に於て稼業する如く装ひ入院諸掛費二十四圓を支拂はしたのみか由太郎の前借金一千四十九圓十三錢を踏み倒さんとしたといふにある

藝者の家出

大連平和街六二料理店吾妻樓抱へ藝妓夢路こと齋藤ヨシ（二二）は四日午前十時ごろ無斷家出したまゝ未だに歸らぬので自殺の虞れありと抱主よりの願出により目下大連署で捜査中

南船北馬

◇…五月に入つて一日からお天氣が惡く時ならぬ寒さがつゞく、これは北支那方面に低氣壓が滯留してゐるためで昨年に較べて三度乃至五度氣温が低い。即ち一日からの氣温は一日十度九、二日八度五、三日八度七、四日十三度二、五日十度で平年より一日二度、二日四度一、三日四度三、四日零度八、五日三度三低い

◇…内地も氣狂ひ天氣で新潟縣地方は四日夜來氣温低下し五日の朝降雹があつたが卅年來の珍現象【高田五日發電】

◇…五日朝群馬縣でも霜が下り農作物の被害甚大【前橋五日發電】

◇…哈爾賓商務街の某露人の娘が兩親の知らぬ間に飼犬の乳を吸つてゐることが發見されたが、狂犬の疑ひがあるといふので大騒ぎ【哈爾賓發】

◇…二日の午後二時頃天津領事館警察の福山警部以下の手で價格二萬元の密輸阿片を白河の濁流に捨てたので岸から怨めしそうに黒山の人【天津發】

スポーツ

歐洲ゾーン戰

【ヘルシングフオルス四日發電】デビスカツプ世界庭球選手權歐洲ゾーン第一回戰フインランド對エヂプト第一日シングルス試合は本日當地で擧行フインランド・エヂプト共各一點を得た

デ杯戰米豫選

【フイラデルフイア四日發電】デビスカツプ庭球戰アメリカ選手豫選會は本日擧行された成績左如し

ハンター｛六對四、四對六、六對四｝ヘネシー

ヴアンリン｛六對四、六對三｝アリソン

五月祭り

舞踊練習會

日時 五月七日（火）九日（木）兩日午後四時より

場所 彌生高等女學校

參加團體 各社交婦人會、各宗教婦人會、滿鐵婦人協會、各高女同窓會、其他一般婦人の參加歡迎

主催 大連市役所

後援 滿洲日報社

滿洲日報

濟南城内警備の引繼愈よ終了す
五日正午我軍は引揚ぐ

【濟南特電五日發】南軍の濟南[illegible]は五日午前九時より入城を開始し十一時頃までに城内の警備[illegible]移駐した城内の警備はこれ[illegible]

河南省において蔣馮兩軍遂に衝突
歸德附近で激戰中

【南京四日發電】支那側報道によれば蔣介石氏系の[illegible]系の鄭大章軍とが河南省歸[illegible]ふし新聞掲載を禁止した

奉天城内外を警戒
兵工廠を始め旅館、停車場等に憲兵、警察官を派遣

【奉天特電六日發】[illegible]城内各旅館には警察より終夜[illegible]し共産黨員の潜入を防ぐ[illegible]鐵道驛には憲兵、警察署員[illegible]名宛派遣し來往客を注視す[illegible]内外の各城門に警察保安隊[illegible]て立番警戒せしむ

四、兵工廠その他工廠は特に軍隊を派遣して保護せしむ

なほ人心動搖の惧れあるため特に戒嚴令は布告しないと

馮玉祥氏特使を派して政府の擁護を言明
蔣馮兩氏間の空氣緩和されん

【北京六日發電】蔣介石氏が馮玉祥氏の下に賀耀組氏を特派し速かに産關を出て共に國事を圖り誤解を一掃されたいとの所感を送れるに對し、馮玉祥氏は劉驥、薛篤弼兩氏を代表として派遣した、一行は賀耀組氏と共に五日南京着、蔣介石氏に馮玉祥氏の回答文を手交した、右に依ると極力中央を擁護すべきを力說し更に閻錫山氏に對しては最近特に好感を表し居り中央に對し何等異心なし鹿鍾麟の離京は全く誤解に基く尚孫良誠の山東撤退に關しては孫を入京せしめ罪を請はしむべしと懇勤極まるもので、馮蔣間の險惡なる空氣は之れがため相當緩和さるべしと見らる

總てが誤解
態度に變りない
薛篤弼氏南京で語る

【南京六日發電】蔣介石氏の使者賀耀組氏と共に昨夜南京に歸つた馮玉祥系の要人薛篤弼氏は馮氏の密書を蔣介石氏に手交した後左の如く語つた

一、孫良誠の山東引揚は全く彼の誤解に依るもので彼自身も深く後悔し馮も彼の爲め中央に對し穩便の處置を願つてゐる

二、馮の病氣は全快せぬが奉安祭迄には入京したいと語つてゐた

三、馮の態度につき種々謠言あるも馮の中央擁護の態度には何等變更はない

四、余は蔣介石に一切を報告し馮の手紙を傳達した、その手紙の内容は一切の謠言に迷ふことなく國家の爲の適宜の方策の實行を蔣介石に乞ふたものである

五、鹿鍾麟、唐悦良等の南京脫出も誤解に基くもので馮は此の點につき最も心配してゐる、然し彼等も其の誤解なりしことを知り日ならずして上海より歸京し中央に謝罪するであらう

南京政府に對し萬事泣寢入
馮派の態度きまる

【北平四日發電】薛篤弼氏は一日萬事泣き寢入りとし南京の命令は潼關において馮氏と對南京態度を協議したが、昨今蔣介石氏の馮玉祥氏に對する行動は韓上に蔣氏が江西派に採つた行動と同樣で、山東問題をきつかけに各方面から河南にせまらんとしつゝある故今回は御無理御尤もで聞くことに決し、蔣氏は南京政府に對して近く歸寧する旨打電した、又開封にある鹿鍾麟氏も馮氏と面會後十日迄には南京に歸る旨打電し南京政府の御機嫌を損ねぬ樣腐心してゐる

馮派廣西派要人左遷
四日附命令で

【上海五日發電】國民政府は四日附命令で馮派、廣西派要人に對し左のごとく人事異動を行つた

軍政部長代理　鹿鍾麟
免本職並に兼職

任軍政部常任次長軍政部長代理を命ず　陳儀

外交部次長　唐悦良

同　朱兆莘

免本職

廣西省政府主席兼廣西各部隊編遣主任　黄紹雄

免本職並に兼職　伍廷颺

任廣西省政府主席　呂煥炎

任廣西各部隊編遣主任

蔣介石氏ら近く北平へ向ふ
孫文氏遺骸出迎へに
巨頭會議を行ふか

【北平六日發電】來る二十八日北平發南下すべき故孫文の遺骸出迎への爲め蔣介石氏は近く吳稚暉、戴天仇、蔡元培、孫科、何應欽氏等その他國民政府要人等と共に來平することゝなつたが、同時に閻錫山氏も同日までに來平すべく一方奉天の張學良氏も來るべしと言はれ當地に巨頭會議行はれんと觀らる

【北平六日發電】來る二十八日北人宋慶齡女史は孫文遺骸移靈式に列すべく歸國の途次當地に來たが國民黨首腦部は反革命的であるから從前通り國民黨の積極的活動には贊成せぬと言明した

宋慶齡女史
歸國の途着伯

【ベルリン五日發電】故孫文氏夫[illegible]

故孫文氏遷柩祭と我代表

【東京五日發電】故孫文氏の遷柩祭は六月一日全市をあげて盛大に行はれるが、我國よりは正式代表として芳澤公使が當り、犬養毅氏は半官的な國民代表の形で參列することゝなる筈である

條約問題は歸任後折衝開始
芳澤公使長崎で語る

【長崎五日發電】駐支公使芳澤謙吉氏は條約問題協議のため五日長崎入港の上海丸にて當地經由東上したが語る

今回の南京訪問の目的は南京、漢口事件解決文書調印のためでこれは六日東京南京で公表の筈である、山東引繼ぎに關しては既に支那側より發表された通りである、反日會は救國會とあらため依然排日を繼續し國民政府も取締りをなして居るが、その威令も勢力範圍内だけにはおよび居るもとかく取締りの徹底を缺くは遺憾である、しかし今回解決の南京漢口事件の約束によりこのまゝ看過することなきを信じて居る、國民政府承認問題については條約問題解決後とされて居るが自分一個の考へとしては同問題の解決をまつ要はあるまいと思ふ、ことに日支の懸案解決は現政府を相手として解決され外交的儀禮交換も行はれて居るのであるから事實上三月以來承認されて居る形である、大使館昇格は何れ政府と協議決定を見るならん、東京滯在は二週間で歸任後條約問題につき折衝開始の筈

歸任の林總領事
芳澤公使と會談
けふ名古屋に於て

【東京六日發電】對滿方針打合せの爲め歸朝中であつた林奉天總領事は六日夜東京發歸任することゝなつたが、途中七日名古屋にて上海より歸朝の途に在る芳澤公使と會見し種々重要な打合せを行ふ豫定である

一日一線
（1）
鐵道から覗く滿蒙のすがた
新舊十五線の連絡を背踏する本社の驛傳大競爭

最近の滿蒙のすがたを正しく見究めやうとする人々は、まづ第一に近年すばらしい勢ひで延びつゝある滿蒙の鐵道網を注視しなければならない、一日〳〵新しい天地にレールヘッドが進んでゆく、滿蒙の鐵道圖は刻々と變化し、進展してゆくのである

〇―〇

全支を通じて、今後「紅」の進運をたなびかした大きな文化地帶を求めやうとするならば、それは大連を起點として滿蒙の奧に擴がる鐵道の脊髓骨に附隨して生れる、新社會の文化と、もう一つは上海を起點として擴がる揚子江の文化と云つたものであらう、

「滿蒙は鐵道から」の言葉こそこゝ十年前から、そして今後十年にかけての、吾等の合言葉であると斷言し得られるであらう事程、滿蒙の鐵道は、今や新しい天地を語る唯一のものとなりおほせてゐる。

鐵道を中心として塗り代へられつゝある滿蒙を見るものは、既に空疎な滿蒙悶燃を戴ものとする、觀念的滿蒙開發業者諸君の言葉に無かつた新しい事實を見るであらう。

〇―〇

新しい土地と、これを拓く人を繋ぐものは鐵道である。北滿の奧に延びゆくこれ等の鐵道によつて、昭和三年の支那人の入滿移民數は驚くべき數に上つた、即ち

大連經由	五〇六、五五三人
營口經由	一五二、五五六人
安東經由	五二、七〇三人
奉天經由	二二六、六六〇人
合計	九三八、四七二人

南滿の四つの口で扱つた移民數だけでも九十三萬八千と云ふ數である、勿論これは山東から流れ込んだのは大部分であつて、二年度は一、〇五〇、八二八人と云ふ數であつた、今四年度は前年よりも多いだらうと見られてゐるから、こゝ三年間で滿鐵線で取扱ふ數だけでも三百萬を越すことゝなる、

これ等の移民は、新しい鐵道に沿ふて四散し、各地方に於て、一年にして聚落、五年にして街を成し、十年にして都會、と云つたのびはそきすがたを見せつゝあるのだ、このすがたこそは滿蒙でなければ見られない圖、即ち「滿蒙は鐵道から」である

〇―〇

この度本社が決行する新舊滿蒙十五鐵道、三千四百廿四哩の連絡せ踏みこそ、新しい滿蒙のすがたを傳へる第一齣だと信ずる尚この十九日決行する迄に豫め十五鐵道のアウトラインを示しておくことが讀者に便利であらうと思ふ、これ迄鐵道關係のエスキパート以外はこの延びつゝある新線の內容を、ヘツキリ知つてゐる人は少かつた、否、餘りに急速な新線延長の交錯は專門家でさへも煩はしかつた程である、さて「一日一線」十五鐵道の種々相を見ることゝしやう

（寫眞は滿鐵線の列車）

外字新聞の郵送拒絕
國民政府中傷記事に立腹

【上海五日發電】國民政府はノースチヤイナデーリーニユースが國府中傷記事を掲載したとて英總領事に取締を要求して居たが、遂に本日支那官憲は同紙の郵送を拒絕し同時に同紙が貨物として輸送さ

治外法權撤廢勸告の通牒
伍駐米支那公使より米國務長官に對して

【紐育四日發電】支那公使伍朝樞氏は去る二日國務長官スチムソン氏に對し支那における治外法權撤廢勸告通牒を手交したが、氏は本日當地における演說において外國人は支那の法治組織が一標準に達することを目標として進まんことを望んで居るが、斯くのごとき標準においては領事裁判權の存續はゆるされないとのべた、尚今回の通牒本文は合衆國にては來る六日朝刊新聞に發表されるが、支那本國でも同時に發表されると說明した

排日運動を取締り日支親善に努力
入津した方振武氏植田軍司令を訪ふ

【天津特信】問題の方振武軍は既に全軍山東に移動を終つたので五三記念日の三日午前九時秘書何庭流を伴ひ旭街なる植田軍司令官邸を訪問し、山東赴任の挨拶を述べ在留邦人は誓つて保護に當る旨を誓約したが時餘に亘る會談の大要次の如し

今回國民政府の命令で山東に赴任する事となり昨日入津したので取敢へず

貴官の

健康を祝し併せて將來の交誼を希ふため參上した、昨年の濟南事變は誠に遺憾至極の事で余は一部世人から事件の元兇の如く目せられて居るが、實は當時部隊の一部を濟南市に殘留せしめてゐたるも余自身は蔣介石司令の命に據つて德州方面に前進中で事變には關係が無かつた事を特に諒せられたい、其れは兎も角として今日此忌はしき事變も目出度く解決し今後は日支の親善を增進せしめなければならない、余は不敏なれど今後大に之に努力する考へであり且つ日本に留學の

因緣も

ある故日本人には多大の好意を有つて居るから山東赴任の上は排日運動の如きは嚴重に取締り目的の達成に努める考へで居る、希くは貴官に於ても山東在留の日本人諸氏に此旨を電報せられたい、山東引繼後に於ても安心して業務に從事せらるゝ樣通達せられん事を願ふ、之を要するに今後は日支親善共存共榮に大に努力する考へである故諒せられたい

植田司令官は快く方氏の挨拶をうけ其榮轉を祝し終つて方氏の申出により親善提携の

意味で

活動寫眞のフヰルムに入るべく方氏と共に前庭に立つて氏を玄關先まで見送つた

奉天北陵間の遊覽列車

【奉天特電五日發】支那側の新計畫である奉天北陵間の遊覽列車はいよ〳〵本日から毎日曜に運轉することゝなつた、第一日の第二列車は午前九時出發したが遊覽客極めて多數あり十五輛連結の車輛も全部滿員の盛況を呈した、これがため北陵は近來にない人出であつた

特務艦「淀」出港

大連埠頭卅八番バース繫留中であつた特務艦「淀」は六日午後二時鎭南浦に向つて歸港した

『喜ばれるので感激させられた』
小日山理事五日歸る

滿鐵社員中間驛勤務者公所員及びその家族（奉天以北）を慰問のため二週間に亘つて各方面へ出張中であつた小日山滿鐵理事は五日夜歸連したが氏は語る

慰問順序は奉天から北上し長春より吉林に赴き、更らに四平街へ引返して四洮線を洮南に出で洮齊線で齊々哈爾に赴き、哈爾賓を經由して長春から歸連した譯けだが、不便な中間驛やその他に土産を持つて訪問すると非常に喜んで呉れるのでスツカリ感激させられてしまつた而して社員の日支人は實に仲良く働いてゐるが支那官憲側は日本人排斥で意想外に惡化してゐるようだ、洮南の如きは同方面旅行者の同地に於ける唯一の宿泊所たる大通旅館の如きは彼等の毒爪にかゝつて閉鎖の運命に置かれてゐる始末だつた

遼海丸
五日に歸る

黃花魚漁船保護のため山東の利津方面に出動中であつた水上署の遼海丸は五日午前歸連したが、臨山指揮官は

去月の廿四日から約十二日間に亘る漁船保護に當つてゐたが幸ひ大過なく任務を果し得て喜んでゐる、今年はグチは非常に少く州内の船は百五十、州外二百五十隻位が漁業に從事し一隻三百圓より二、三十圓位の揚高しかないらしかつた、この間張宗昌氏の敗走でかなり忙しかつたが、事件としては廿八日夜旅順管內山頭會の揚傷有（二五）が任應岐軍の戒嚴令下にあつて網干しにゆく途中射殺されたので、保護の任にある遼海丸では直に適當な賠償方法を講ずべく交涉して引揚げたのである

巡捕採用試驗

關東廳警官練習所では今回入所すべき普通巡捕二十名、交通事務巡捕二十名、計四十名の巡捕採用試驗を四日は金州民政支署、六日は旅順警官練習所と大連警察署に於て施行したが、殊に大連の試驗場には受驗者が早朝より押寄せ百五十五名を算した、午前中は學科午後は體格檢査を行つたが試驗官は受驗者は主として州內土着の者で學力程度も公學堂卒業の者多く成績概して良好だ、と喜んで語つてゐた

張宗昌軍の敗兵
奉天で生活難
奉天署で近く送還する

【奉天特電六日發】去る三日鐵西苦力宿舍に張宗昌軍の敗兵約八十名が押しかけ滯在してゐたが、既に食糧缺乏し悲慘な狀態にあるので奉天署ではこれが處置につき考慮中であるが、近く滿鐵に依賴し歸還せしめると

最近のこと廣東省新會縣城附近を流れて居る沙堤橋河で一漁夫が魚の眞黑に集つてゐるところを見付け一網で數百尾をせしめた後他所を廻つて元の場所に引返して見るゝ前の通り魚が集つてゐるので不思議に思ひ▲網を入れて又大漁をしてから河中を探つたところ重さ十斤ばかりの青石を發見した、その石は鯨のやうな紋で蔽はれてゐて形も金魚そつくりである▲石はその翌日或骨董商に二十五元で身賣されて一時にパツと噂が高くなつた▲これこそ傳說にある「田魚寶」と云ふ寶石に違ひないと早速骨董商から讓り受け陳列館に保存することになつた……との話。

◇定期後場（銀建）

▲大豆（收調）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
五月末	六二八〇	六二八〇	六二八〇	六二八〇
六月末	六二九〇	六二九五	六二九〇	六二九〇
七月末	六二九〇	六二九〇	六二九〇	六二九〇
八月末	六二九〇	六二九〇	六二九〇	六二九〇

出來高　一千十二車

▲三等大豆（不申）

▲豆粕（保合）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
五月限	二一四〇	二一四〇	二一四〇	二一四〇
五月末	二一四〇	二一四〇	二一四〇	二一四〇
六月限	二一三〇	二一三〇	二一三〇	二一三〇
七月限	二〇九五	二〇九五	二〇九〇	二〇九〇
八月限	二〇八〇	二〇八五	二〇八〇	二〇八〇

出來高　五萬八千枚

▲豆油（强調）單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
五月限	一五七五	一五八〇	一五七五	一五八〇
六月限	一六〇〇	一六〇〇	一六〇〇	一六〇〇
七月限	一六二〇	一六二〇	一六二〇	一六二〇
八月限	一六四五	一六四五	一六四五	一六四五

出來高　六千五百箱

▲高粱（保合）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
五月末	三三〇〇	三三〇〇	三三〇〇	三三〇〇
八月末	三三〇〇	三三〇〇	三三〇〇	三三〇〇

出來高　三車

▲包米（不申）

◇現物後場（銀建）

銘柄	寄付	大引
混保（袋込）	六二九〇	六二八〇
大豆（裸物）	―	―
三等（袋物）	―	―
大豆（裸物）	―	―

出來高　十車

銘柄	寄付	大引
豆粕	二一三〇	二一三〇

出來高　四萬枚

銘柄	寄付	大引
豆油	一五七五	一五七五

出來高　三千五百函

銘柄	寄付	大引
高粱	三五一〇	三五一〇

出來高　二車

銘柄	寄付	大引
包米	四〇七〇	四〇七〇

出來高　二車

錢鈔

◇定期後場（單位錢）

期	寄付	高値	安値	大引
近	九六八〇	九六九〇	九六八〇	九六八五

出來高　期近　二十五萬圓

◇現物後場（單位錢）

	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	九六八〇	一二三四〇	一二七〇〇
二時半	九六七五	一二三四〇	一二七〇五
三時半	九六七五	一二三四〇	一二七〇五

出來高（銀對金）三千圓　（銀對洋）一萬七千圓

商品

後場

●麻袋（腔り）

銘柄	約定期	値段	枚數
鐵筋	延五月末	四一五	五〇

出來高　五萬枚

綿糸布、麥粉（出來不申）

神戸特産物（六日）

銘柄	
大豆現物	七五〇
先物	六五〇
豆粕現物	二二五
先物	二二八
滿洲小麥	四六〇
豆油現物	二四〇

大阪綿糸

限月	後場寄	後場引
五月限	三三〇〇	三三五〇
六月限	三二〇〇	三二九〇
七月限	三二七〇	三二六〇
八月限	三二六〇	三二四〇
九月限	三二〇〇	三二三〇
十月限	三二三〇	三二一〇
十一月	三二二〇	三二〇〇

東京株式（長期）

銘柄	後場寄	後場引
東株新	一五〇〇	一五〇〇
品	一四〇〇	一四〇〇

東京株式（短期）

銘柄	後場寄	後場引
東新	不申	一二八〇
中	不申	一二八〇
先	不申	一二九〇
五	不申	一二一〇
七限	不申	不申
豆新、豆信	一七五〇	一七五〇

大阪株式

銘柄	後場寄	後場引
大株新	九三八〇	九三七〇
大紡新	八三三〇	八三二〇
鐘新	二五二〇	二五二〇
日糖	二九二〇	二九〇〇
郵船	不申	六六九〇
東新	不申	不申
	一三九六〇	一四〇〇

銘柄	寄値	引値	高値	安値
五品	二一八〇	一四〇〇	東新	
	二一八〇	一四〇〇		
	二一八〇	一三九四〇		
	不申	一三九九〇		

徵兵檢査始まる

（伏見臺小學校で）

滿蒙鐵道驛傳競爭
役員と選手

役員

會長　滿洲日報社長　山崎　猛

審判長　滿鐵々道部長　宇佐美寛爾

審判委員

滿鐵社長室情報課長　寒河江堅吾

滿鐵々道部涉外課長　伊澤　道雄

滿鐵々道部大連鐵道事務所長　羽田　公司

關東廳遞信局監理課長　篠原　忠男

國際運輸常務　平田驥一郎

南滿電氣會社支配人　高橋　仁一

滿洲日報編輯局長　米野　豐實

滿洲日報總務部長　白井　龜雄

競爭紅班

班長　滿洲日報整理部長　繩田　養造

顧問　滿鐵々道部營業課旅客係主任　貝塚　新作

班選手（滿洲日報記者）

秋山豐三郎　南里　順生

木村　莊十　長谷部貫一

藤井　啓輔

競爭白班

班長　滿洲日報社會部長　武田　南陽

顧問　ジヤパンツーリストビユーロー大連支部長　平野　博三

班選手（滿洲日報記者）

神藏　重勝　千田　萬三

加藤　保敏　島屋　進治

津田　勇三

る〻をふせぐため稅關に對し一切の船舶を搜査すべき旨訓令した

慢性的胃腸疾患特効藥

胃腸良藥

アイフ

急性胃加答兒　慢性胃加答兒
胃酸過多症　胃アトニー症
胃擴張　胃下垂症　慢性胃弱
初期胃癌及び胃潰瘍　胃痙攣
急性腸加答兒　慢性腸加答兒
大腸加答兒　慢性下痢　粘液性下痢　初期腸結核及び腸潰瘍　胃腸病より起る肺尖加答兒
食傷り水傷りより起る腹痛下痢嘔吐等の諸症に最も卓効あり

慢性胃腸病にて

●常に食慾進まず胸先支へ嘔つき胃痛み
●下痢又は軟便にて大便に粘液を混じ
●腹はり放屁多くゴロ〳〵鳴り胃腸痛み
●胃酸過多症にて食前食後に胃部痛み
●下痢のため營養衰へ身体衰弱甚だしく
●元氣無く顏色悪しく物事を氣にし
●神經衰弱を起し氣短く夜熟睡を得ず
●衰弱のため肺尖加答兒を起し熱出で
●胃腸内壁のただれにて少しく飲酒や不消化物を食するも覿面下痢や痛みを起し
●重症にて下痢の際便に血液膿汁を混じ裏急後重を感じ胃癌又は腸結核等の疑ひある危險症には是非ともアイフを服用せられよ

アイフは胃腸病に對し最も親切に調劑せる良藥にして其の主藥は加答兒の原因たる腸胃内壁の爛れて居る部分に附着して創面に薄皮を張り炎症を鎭め粘膜を強壯にし粘液の分泌を減じ大腸に於ては硫化水素と化合し硫化蒼鉛となるから自然と胃腸の弛緩を引しめ蠕動を制し下痢を止め痛みを鎭靜する特効がある。
故に胃腸病者は此のアイフを内服すれば胃腸を健全にし食慾を進め血色を良し榮養の吸收を佳良にするから從つて體重著るしく增加し服用後目に見えて健康を回復し隨分の重症でも必ず滿足なる大効果を得べし。

藥價

普通アイフ（四日分　七十五錢　八日分　一圓五十錢
　　　　　（十七日分　三圓　四十五日分　七圓
重症用特製（十一日分　五圓　二十三日分　十圓
　　　　　（三十六日分　十五圓　八十日分　三十圓

本舗へ御注文の方は藥價を郵便爲替又は振替大阪三四五番順和公司へ御拂ひ込みあれば着金次第直に御送藥す

大阪市東區清水谷西之町三六五番地
發賣本舗　順和公司
電話東五六四番・五〇〇二番・五〇〇三番
振替口座大阪三四五番

コドモページ 成績紙上展覽會

おとうさんのおかへり

伏見臺小學校尋二 今永美八重

うちのおとうさんのおとうとがひどいびやうきになつたのでおとうさんがとうきやうにいきました。いつもおとうさんとおはなししながらごはんをたべるのに、けふはおとうさんのすがたがありませんから、私はさびしくなりました。おとうさんはいくまへに四月十日にかへつてくるとやくそくしました、それで四月十日をまつてゐましたが四月になると、をぢさんのびやうきはよけいひどくなりましたので、まだ／＼かへつてこられなくなりました。それから十八日になるとおとうさんがよるのきしやでかへるとでんぽうがきましたのでその日をまちました。いよ／＼その日がきました。がくかうからかへると、私やにいさんは、ばんおそくまでおきてゐるからいゝといひました。はやとちやんもひろとちやんもぼくなんか一じごろまでおきてゐるといひました。それからさあちやんとおまゝごとをして、あそびました。おかあさんにおまんじゆうをもらひました。それをみんなたべて、それからかほをあらつて、おむかへにいくようにいたしました。そしてえきにいきましたが、なかなかきしやがきませんのできしやのとほるところへいきました。そしたらきしやがきました、おとうさんがぼうしをふりあげたものですから、すぐわかりました。おとうさんがかへつたので私はうれしかつたです。おうちにかへるとはやとちやんやひろとちやんははねてゐましたので、おこしておみやげを見せました。それからないちのおいしいおかしをたべました。

春の日の散歩

大廣場小學校二年 雨宮正臣

今日はあさ、くもつてゐたがひるからおてんきになりました。それでおとうさん、おかあさんおとうと、いもうと、ぼうやとにしこうゑんへいきました。おかあさんはさくねんからにしこうゑんへいつたことがないので入口のりつぱなのにおどろいて「ここはどこか」とたづねましたのでぼくたちは「こゝはにしこうゑんよ」といつて大わらひをしました。それから中へはいつて見ると、仲矢くんがゐたのでしつけいといつて、ちがうみちへいつて犬つかひをみました。犬は犬つかひをながめながら石のやうなものをぐるりぐるりまわつてゐました。それからでんきゆうゑんへいきました。いつて見ると井上くんがおかあさんときてゐました。井上くんはぼくを見るとはづかしさうなかほをしておかあさんのかげにかくれました。それからメリーゴーラウンドにのりました。そして五ふんたつとおりてたかやわしを見てうちへかへりました。

四年生

松林小學校尋四 戸谷綾子

私どもは四年生になつた。今まで三年であつたのにもう四年生になつたかと思ふとうれしくてたまりません。其の上さいほう、支那語、理科などがふえた。本も、てちようもあたらしい、三年生の時よりえらくなつた。四月一日の日學校へいつて見るとかべにべんきがぬつてあつたので氣がすつとした。四月二日に學校へいつて先生と教室にはいつた。もと五年生がをつた教室であつた。私どもがならんでゐた教室には三年生がはいつてゐた。これから又べんきようをして早く五年生にならうと考へてゐます。

オトウサンノオテガミ

聖德小學校尋二 山本泰

コノアヒダ オトウサンカラ オテガミ ガ キマシタ。ゴホウビ ニ オカシ ヲ オクツテ、アゲヤウ カト オモツタケレド ハナ ガ タカクナルノト 目 ガ アヲク ナルソウダカラ ヤメニシマシタ。ソノ カワリ ニ カツドウシヤシンキ ヲ オクツテ アゲマスト アリマシタ。ボクハ ソノ オテガミ ヲ ヨンデ トテモ ウレシカツタ。

ゆびの名

伏見臺小學校尋二 齋田くに子

ハツヱ「くに子さん、ゆびのなをしつてゐますか」
クニ子「しつてゐます」
ハツヱ「きよ子さんは」
キヨ子「しつてゐませんわ」
ハツヱ「そしたらくに子さんいつてごらんなさい」
クニ子「一ばんふといのがおやゆびよ、そのつぎはひとさしゆびよ、そのつぎが中ゆびよ、中ゆびのつぎがくすりゆび、そのつぎの一ばん小さいのが小ゆびよ」
ハツヱ「さうです。たいへんよくしつてゐますね」
キヨ子「私もおぼへたわ」
ハツヱ「それではいつてごらんなさい」
キヨ子「おやゆび、人さしゆび、中ゆび、くすりゆび、小ゆび」
ハツヱ「うまい、うまい」
クニ子「じやうずだねえ」

おまゝごと

伏見臺小學校尋二 白石とし子

きのふはるちやんと、ときちやんと、とみちやんと、ばうやと私と、うちのまへにござをしいておまゝごとをしました。おかあさんに私がなりました。とみちやんのうちのござも、もつてきてそれをおうせつまにしました。そしたらはるちやんがおまゝごとどうぐをもつてきましたので私が「さあはじめませう」とみんなにいひますと、みんなが「はーい」とどなりました。又私が「もうごはんをたくからでみんなそこであそびなさい」といひました。私はそれから一せうけんめいにごはんのしたくをしてから私は、みんなに「ごはんよ」とよびました。そしたらみんながよつてきました。私はくさをおかずにして、すなをおしるにしました、ごはんは小さないしにしました。私はうちのたいこをはんだいにして「さあいたゞきませう」とみんなにいひましたらみんなが「いただきます」といつて、なかよくおはなしをしながらおいしくいただきました。それからごはんがすんだから私が一人であとじまひをしましたそしてみんなでおもしろくあそびました。しばらくするとゆふがたになつたので、みんなとおわかれしてかへりました。

ビロードの小箱

大連聖德小學校尋四 内山智惠子

「それでは叔母様おからだをお大切にごきげんよう」とお別れをした。「智惠ちやんもよく勉强なさいねこれはお別れに上げますよ」と靑いビロードの小箱と紙包を食卓の上におかれた。お禮を言つて何かしらと見たかつたけれども學校がおくれるといけないのでそのまゝ家を出た。學校で勉强して居てもあの箱の氣がゝりでたまらない。早く家に歸つて箱の中の物を見たいばかりに今は少しもおちつかない。家につくなり「お母さん今朝叔母様からいたゞいたあれ何、見せてちやうだい」と言ふとお母さんは「さあ何かあてゝごらん」と笑つておつしやつた。「女學校へ行くやうになつてからですよ」といはれてビロードの箱を明けた。箱の中には腕時計が光つて入つて居た。私はうれしいのでいつまでも手からはなさうとはしなかつた。だが叔母様達がとう／＼東京へ歸つてしまはれる事がなんとなく悲しく思はれる。

寫生 日本橋小學校三年 安原みさ子

ホシガウラ

聖德小學校尋二 平原太郎

ボクハ オトウサントオカアサント三人デホシガウラニイキマシタ。オカアサンタチハケシキヲナガメテヰマシタガボクハブランコニノツテアソビマシタ。シバラクシテコンドハムカフニイキマシタ。ソコニスハツテトホクノホウノケシキヲナガメマシタ。ウミモアヲクソラモアヲクテキレイデシタ。カイガンニハカモガ二三バトマツテヰマシタ。

ボクノオトウト

聖德小學校尋二 高橋光彦

ボクガガクカウカラカヘルトボクノ二人ノオトウトガゲンカンニキテヨロコンデムカヘテクレル。三ツニナルホウガオカアサンニ「ニイチヤンカヘツタ」トイツテオシヘマス。二人トモニコニコワラツテヰマス。ボクハスグオベンキヤウシテソレガスンデカラ二人ノオトウトヲアソベセテアゲルノデス。

童謠

花ばたけ

大廣場小學校尋二 堀義彦

今日はたのしい
日やうび
みんなで一しよに
花ばたけ
つくることに
きめました
ぼくと兄さん
石はこび
むしろにつつんで
はこんだよ
それで石がき
つくつたら
ママもてつだひ
してくれた
パパはくはで
たがやした
それをきれいに
ならしたら
すてきなはたけが
できあがつた
こんどの日やう
たねまきだ

あかれんが

嶺前小學校尋三 矢橋滿子

だれもつかつてくれない
れんが
かわいさうな
あかれんが
おにはのすみに
おいてある
いたづらがきがしてある
れんが
かわいさうな
あかれんが
だれもつかつてくれない
あかれんが

とけい

聖德小學校尋二 江副勝

かつちん　かつちん
ながいはりと
みじかいはりが
あさからばんまで
かけくらべ
かつちんかつちん
かつちん　かつちん
うさぎのやうに
はやい　ながいはり
かめのやうに
おそい　みじかいはり
二人がきようそう
かつちんかつちん
かつちんかつちん
ながいはりは
はやいなあ
みじかいはりは
おそいなあ

とうとうけつしよう
ばあんざい

體操

嶺前小學校尋三 上野露

オイチニ／＼
足のうんどう
オイチニ／＼
赤白ぼうし
チョコンとかぶり
男のたいさう
上手だなあ
オイチニ／＼
こつけいだ
あたまをかいて
ニコ／＼と
男のたいさう
上手だなあ

あまだれ

伏見臺小學校尋二 正岡さた子

あまだれさんは
あめのふる日に
きつときて
おうちのまはりで
タン　タン　タン
うるさい／＼
あまだれさんは
おうちのおやねを
トン　トン　トン
雨がやんだら
ゐなかつた

子馬

大廣場小學校三年 小坂勢子

子うま　子うま
かはいゝ子うま
いつもいつも
なかよくあそび
かあさんゐるすにや
草くつてるよ
かあさんまちまち
草くつてるよ

アヒル

哈爾濱小學校 安藤二郎

アヒルノ　オクビハ
ナガイ　ナーガイナ
ミンナ　フリタテテ
ミンナ　ソロツテ
ガーガーガー
大キナ　アンヨデ
パツタリコ
ミンナ　ソロツテ
パツタリコ
ナニヲ　見テモ
ガーガーガー

チクオンキ

哈爾濱小學校 中原朗

ボクガ　チクオンキ
カケタナラ
カナリヤ　マネシテ
ウタヒダス
チイチク　チイチク
ウタヒダス
弟モ　イツシヨニ
ウタヒダス

渾身の勇をふるつて各選士武技を闘はす
五日晴れの御前試合
畑生、高野兩氏惜しくも敗る

【東京五日發電】五日の御前試合に天皇陛下は此の日陸軍通常禮服に大勳位略綬を佩せられ午後一時式場玉革に臨幸あらせられた。諸員は一齊に起立して最敬禮の内にむかへ率れば直に劍道試合は開始された、軀幹堂々古武士の面目やくじよたる高野佐三郎、中山博道兩劍士演武臺場に參進し

陛下御前に最敬禮申上ると共に左右にわかれて高野範士は打太刀の構へ、中山範士は受け太刀の構へにて足摺りも力強くせられるや丁々發矢と寸分のすきもなき大日本帝國劍道の型を御覽にいれ、引續き府縣指定兩選士の准々決勝を行ひ柔劍術試合があつてから決勝戰に移り府縣選士優勝者は福島縣の福島高等商業學生三段横山永十(二)指定選士優勝者は京城の朝鮮總督府警務局範士持田盛二の兩氏ときまつて大緊張裡に劍道試合を終了、陛下は午後二時三十三分一旦宮城に還御あらせられた、陛下は午後三時三十四分再び臨御あら

柔道試合に移り、先づ嘉納治五郎、山下兩氏演武臺場に進み嘉納師範とり手となり山下八段受け手となり柔道古式の型を天覽にいれたる上いよ〳〵左記の如く龍攘虎搏の接戰を演じた、斯くて陛下は御機嫌いともうるはしく還御あらせられた、皇族各宮殿下は其の儘御のこりあり一木宮相より御下賜の名刀四口ならびに銀製三つ組宮内大臣杯を柔劍道指定府縣兩選士優勝者四名に傳達授與終り、各參加選士百六十六名には記念銀杯各一個を授與して昭和の歷史的御前試合は燦たる響をあげて終了した、成績左の如し

劍道
府縣准々決勝

一、勝本田勤四郎（千葉）　河合　曉晴（水戸）
二、勝畑生　武雄（關東州）　菅原　繁雄（愛知）
三、勝北見　蓁造（樺太）　南　潔（兵庫）
三、勝横山　永十（福島）　森田　可夫（愛媛）

同准決勝

一、勝畑生　武雄（關東州）　本田勤四郎（千葉）
二、勝横山　永十（福島）　北見　蓁造（樺太）

同決勝

勝横山永十（福島）　畑生武雄（關東州）

指定選士准々決勝

一、勝大麻　勇次（佐賀）　小川金之助（京都）
二、勝高野　茂義（關東州）　堀田捨次郎（東京）
三、勝持田　盛二（京城）
四、勝植田平太郎（高松）　古賀　恒吉（金澤）
　　堀　正平（吳）

同准決勝

一、勝高野　茂義（大連）　大麻　勇次（佐賀）
一、勝持田　盛二（京城）　植田平太郎（高松）

同決勝

勝持田盛二（京城）　高野茂義（大連）

柔道
府縣選士准決勝

一、勝木原　久夫（福岡）　山川　渉（大阪）
二、勝島崎　朝輝（滋賀）　吉田　四一（兵庫）

同決勝

勝木原久夫（福岡）　島崎　朝輝（滋賀）

同指定准決勝

一、勝栗原　民雄（京都）　阿部　英元（東京）
一、勝牛島　辰熊（熊本）　佐藤金之助（東京）

同決勝

勝栗原民雄（京都）　牛島　辰熊（熊本）

銃劍術
江口少佐河野少佐を破る

【東京五日發電】劍道御前試合にただ一組光榮の參加を許されたる柔劍術は、近衛步兵第一聯隊步兵少佐江口卯吉氏對戶山學校教官步兵少佐河野毅氏で、近衛步兵三聯隊大木健次郎氏審判の下に行はれたが江口少佐の勝ちとなつた

潮の岬燈臺へ聖上行幸
關西より御還幸の途串本港に御寄港遊し

【東京六日發電】天皇陛下には海難防止の第一線に立つ燈臺事務に對し篤き御心を垂れさせ給ひ東宮におはせし大正五年十一月犬吠岬燈臺に行啓あらせられた事があつたが、今回關西行幸の際御還幸の途特に御召艦を和歌山縣串本港に着けさせられ潮の岬燈臺と無電局へ行幸あらせられる旨仰出された、御日取は二十七日午前九時半串本棧橋御上陸十丁の坂路を御徒步にて燈臺に成らせられ無電局へも御立寄り親く御視察遊ばさるゝ由

婦人達の百米競走　滿鐵大運動場

凄じかつた劍道の決勝
武運拙き高野と畑生

【東京特電五日發】劍道府縣選士決勝—畑生對横山—畑生は六尺有餘の大兵三十一歲で、之が相手は福島高等商業學校の白面の學生横山、年は廿三歲、畑生は生命を賭して闘ふと豪語してをり、流石に觀覽席は寂として聲なく午後二時廿五分緊張し切つた雰圍氣の中に兩雄は太刀を取りあげた、横山切先鋭く危ふしとも見えたが仲々怯まず面と迫るを畑生打ち流して胴と逆襲す、横山早技にて敵の劍を外しつゝ突き進み畑生の出小手を切つて落し、續けて廻し小手を取つて遂に劍豪畑生を葬り終る▲指定選士決勝持田對高野—持田は技圓熟の境にある朝鮮總督府の教師で四十五歲、高野は名人高野佐三郎に見出された達人、持田捨身に飛び込み胴と斬つて先づ一本をとる、高野は太刀を縱横無盡にふるひ、千變萬化虛々實々とは此のことかと思はせたが、やゝあつて高野上段に構へ動かず、持田氣合つて進まず、息詰るが如き數刻、持田高野の振かぶつた左小手を斬れば見事に決まつて高野惜くも破る

今年の優勝
一般競技では黃組 選手競技で樺組
一萬米で滿洲新記錄
遂に天候に惠まれず寂しく終つたきのふの滿鐵運動會

五日擧行した第十九回滿鐵運動會は午後に入つてやゝ見物人の數を增してきたが、降雨は完全に歇んだけれども

端午の節句とは到底思はれぬほどの寒さと、砂塵を混じへて吹きつける烈風に辟易してバツクスタンドの觀衆は應援團を除くほか殆ど全部引揚て、隻影をとゞめない寂しさだ、應援團席も得點數の景氣のいゝ黃、樺、白、綠を除いてはこれも寂寥々たるものだ、場內を一周して出發星ケ浦を往復して場內に歸着更に一周して決勝點に入る一萬米突競走は選手競技者一般競技者ともに

混合であつたが、選手競技の青組の山下寛一君が一鎗の遞信局の中本忠利君と同着に入場六百米リレーで取返すつもりが、約五米突の差でゴールインし三十三分十八秒五一で滿洲新記錄を出し中本君も三十三分二十秒で同じく新記錄を出したのは當日の白眉であつた、午前中選手競技に優勢だつた綠の鐵道部は棒高跳、槍投、圓盤投等のノキルドで全く氣勢あらず樺に先頭を讓り、更に白の大連驛にもリードされ最後の千

頹勢を挽回し得ず二年優勝の榮冠を樺に讓るに至つたのは蓋し本年は已むを得ぬ羽目であつた、右終るや會長代理神鞭理事より一般競技の優勝者黃組（社長室庶務部）の代表者永谷選手に對して優勝旗を、選手競技の優勝者樺組（埠頭）の代表者小數賀選手に對して優勝盃をそれ〴〵授與し閉會の辭を述べたのち運動會の萬歲を三唱し全く閉會したのは午後六時であつた、各種競技の得點並に選手競技その他の成績は左の如くである

一般競技得點數

一等　黃（社長室）一〇一點
二等　白（驛）四〇點
三等　綠（鐵道部）一四點
四等　樺（埠頭）一二點
五等　赤（地方部）七點
六等　青（經理部）二點

選手競技得點數

一等　樺（埠頭）八〇點
二等　白（驛）七六點
三等　綠（鐵道部）七四、五點
四等　青（經理部）六一點
五等　赤（地方部）四八點
六等　紫（興業部）二七、五點

かくて黃組と樺組とが夫々優勝となつた

選手競技午後の分

▲一萬米　選手一着（青）山下寛一（三三分一八秒五一滿洲新記錄）二着（樺）八田楔榮次郎三着（白）渡邊逸四着（赤）花田一修五着（綠）萩原與無耶▲四百米　一着（綠）濱田常盛（五三秒五二）二着（白）浦野勇三着（樺）三隅一二三▲棒高跳　一等（樺）石垣松吉二等（白）石橋末男三等（青）稻益仁三等（綠）太田猛夫▲ハイハードル　一着（白）立中善助（一八秒）二着（樺）井上純良三着（赤）木下信一▲槍投　一等（青）峯尾滿久二等（紫）吉丸美德三等（白）岡田誠一▲圓盤投　一等（樺）横井金次（三一米七八）二等（白）田中淩廣三等（綠）齋藤孝四郎▲千六百米リレー　一着白組（浦野、松重（芳）立中、中村）三分四二秒五四、二着綠（仲田、濱田、石村、尾田）三着樺四着青五着赤

一般競技午後の分

▲一萬米　一着中本忠利（遞信局）三十三分二〇秒（滿洲新記錄）▲登山競走　一着山根竹信二着岡田正三着宇野一、四着中村丹治五着栗山徹雄▲各課對抗八百米リレー　A組一着大連列車區（藤崎、髙橋、萩原、北崎）一分四八秒五四B組一着消費組合本部（綠川、二神、青山、宗正）一分四五秒▲中等學校八百米リレー　一着大連商業（堀部、鈴木、井上、工藤）一分四三秒五四二着大連二中▲三着大連一中▲傍系會社八百米リレー　一着國際運輸（石川、新城、野口、井上）一分四五秒二着南滿電氣▲專門學校八百米リレー　一着滿洲醫大（今井、立川、吉岡、比企）一分四二秒五三▲沿線各支部八百米リレー　一着沙河口（松崎、中村、大久保、益田）一分四三秒五二

ニユースリール

▲孟買暴動外者廿名【孟買五日發電】當地工場地帶に於けるヒンヅー、モスレム兩教徒衝突にて本日午後までに死者二十、負傷者二百名を越え、拘禁された者三百名に達し本日は稍靜穩である。

▲群馬地方に降雹【前橋六日發電】群馬地方一帶は六日拂曉氣溫頓に降下し降雹あり桑園の損害甚だしく養蠶家は大恐慌を來してゐるが當局は直に調査に着手した。

共同丸と戎克衝突
一名行方不明

五日午後九時半頃第廿一共同丸が闇をついて黃白嘴燈臺沖合を航行中、山東省萊州掖縣の徐春來（四七）を船長とし七名乘組の百五十石積の戎克と衝突し戎克は浸水、乘組員の中山東省生れ徐泰（三）は海中におち行方不明になつたこの騷ぎによると同船は現金一千百圓、鈔票に一轉した第廿一共同丸では直に一千圓、小錢曾千圓を積んでゐたロープを投げて同船を大連まで曳航したが、徐船頭の語るところに一ものが總て流失してしまつたと

グ公殿下を正賓に晩餐會
今夜首相邸で盛大に

【東京六日發電】田中首相は七日午後七時より首相官邸に於てグロスター公殿下を主賓とする盛大なる晩餐會を開くこととなつた

濱口總裁が奉迎文捧呈
拜謁を仰付る

【東京六日發電】濱口民政黨總裁は六日霞ケ關離宮に伺候グロスター公殿下に拜謁仰せつけられ奉迎文を捧呈した

三越爭議團員
三十名檢束

【東京六日發電】三越爭議團員四十名は五日朝三越、白木屋、松坂屋、松屋で出勤の店員に對し宣傳ビラを配布せんとして堀留署に發見され三十名檢束された

支那船客に猩紅熱
船内船客消毒

大連小崗子露天市場劉金榮四男劉吉山（四つ）は二月廿八日母親に連れられて鄉里天津府文安縣勝芳に歸省してゐたが、五日午後四時頃第一泰利號にて歸連した所、檢疫の海務局醫師に、樣子が變だと診斷され實母と共に寺兒溝檢疫所に入院せしめた所猩紅熱と判明、船體並に船客約百六十八名に就き消毒を行つた系統は原籍地らしく劉吉山は六日午後死亡因に猩紅熱患者としては本年最初のものであると

青葉に金魚賣り
天津ものが多い

若葉の滿洲にも漸く訪れた金魚賣の聲、金鱗を閃かして硝子鉢の中に泳ぎ廻つてゐる市中に捌かれるのは殆ど天津から來るが一番多いのが出目金で一寸餘で一四十五錢位、大連でも老虎灘及び桃源臺で蕃殖して居たが、氣候不順の當地では皆失敗して今老虎灘の支那人が僅かにやつてゐるだけ、らんちゆう、わきん等が夫に次ぎ値段は大體同じ見られない、大抵の人は金魚を飼ふのに麩や念の入つた人は卵とめりけん粉を捏たりして遣つたりするがあればいけない鹽節の心を削つて遣るのが一番良いさうだ

毒藥自殺未遂

【哈爾賓特電五日發】本日午前十一時新城大街一號岩本喜助方にて保險勸誘員中村傳四郎（三七）なる者毒藥自殺を圖り其儘行方不明となつた原因は歡樂に使ひ込んでの狂言らしい

けふのラヂオ

昭和四年五月七日（火曜日）

自午前十一時　相場（特產、錢鈔、株式、各地相場）
自午後零時三十分　相場（特產、錢鈔、各地相場）ニユース
自午後三時三十分　相場（特產、錢鈔、株式、各地相場）ニユース
自午後七時三十分
一、ニユース
二、講談（清水次郎長荒神山血煙）燕城九山
三、清元道行旅路の花聟（落人）淡月唄さだ子、唄作野夫人、三味線清元延愛喜
四、尺八（夕月）一部小笠原米山、二部梶原米城、三部横井米星、四部中村米雪
五、支那劇（徐策跑城）連東俱樂部
六、料理獻立
七、天氣豫報
八、ラヂオ體操

し良いとこでしうきんが二十五錢位である安物の二錢三錢と云ふのは天津、臺灣、滿洲の雜種物、三十圓五十圓もするりうきん、おらんだしゝがしら等の種類があるがそんな物は此處では

法大早政勝つ　法政大勝、早大勝つ
昨日のリーグ戰

【東京特電五日發】帝法野球第一回戰は五日午後二時三十分から神宮球場で擧行された球審淺沼・壘審横澤法政先攻・帝大古館・小林法政若林・松井のバツテリーで戰ひ左のごとく十三對三で法政の勝となつた

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
法	2	0	0	0	0	7	2	1	1	13
帝	0	0	0	0	1	0	0	2	0	3

續いて早立野球一回戰を行ふ・審判新田・天知で立教先攻に開始十一對一で早大大勝した・バツテリー立教辻・山本・小笠原・正田・早大松木・小川・伊丹

デ杯歐洲ゾーン
白耳義全勝す

【ブラツセル五日發電】ラクロワユーバンク（白耳義）對ルツプー・フオンデルネル（ヘルーマニア）のデビスカツプ庭球戰は七對五・六對一・六對一にて白耳義勝ち全勝したので次はチエツコスロバキアと對戰する

デンマーク勝つ

【コペンハーゲン五日發電】デンマーク・チリーの對戰はヘンツクゼン（デンマーク）六對二・六對三六對四トラルヴアス（ヘチリー）でデンマーク勝ち今度はギリシヤと對戰する

ギリシヤ勝つ

【アゼンス五日發電】ギリシヤ對ユーゴースラビアの試合は三對零でギリシヤ勝ちデンマークと戰ふ事になつた

本社懸賞當選小説 (禁無斷上演)

人生の曲藝 (122)

瀨野皓太作
淺枝次朗畫

雪の朝(三)

それは思ひがけない、支那陸軍少佐の軍服を着けた朱文啓であつた。

「今頃、私にだまつてどこへ御出かけになるんです」

彼は脅かす様につけ加へた。

「しまつた」彼女は心の中で、彼にみつけられた事を悔んだけれ共どうする事も出來なかつた。

彼女は淚を拭ふて、それには答へないで、鞄を提て、しほ〳〵と入口の方に歩き出した。

「鞄を持ちませう。お離しなさい」

彼女は、朱文啓にそれを渡した。彼女はもう破れかぶれの氣であつた。彼女はもう一口も、朱啓文には今度の事は話さない事に決心した。

二人が自動車に乘ると、すぐに彼は訊ね始めた。

「どこかへ旅行するつもりでしたか」

彼女は默つて返事をしなかつた。

「しかし、あなたはあそこで泣いてゐましたね。これは、たゞの旅行ではない」

彼女は突然に顏を上げた。

「朱さん。あなたは默つてらつしやい。妾は今度の事は、一言だつて、あなたにお話しないつもりなの。それに、あなたは妾にそんな失禮な穿鑿などしない樣にして下さいな」

彼は、それを聞くと直に笑つて了つた。

「はゝゝ……。誰だつてそれぐらゐの穿鑿をしますよ。美しい女が改札口近くで、まるで戀人に取り殘された樣な恰好で鞄に腰を下して泣いてゐる。私でなくたつて誰だつて、何とか考へますよ」

しかし葉山百合子は、その毒口を、言ひ返す元氣さへなかつた。

彼女はたゞ、默つて内村信策の幻の樣な顏をみつめてゐた。

彼が、どれほど彼女を責め立てやうとも彼女は、そのまゝ押切るつもりであつた。内村信策が何と言はうとも、彼女の最後に辿りつく所は、結局、内村信策の胸の他にはない。この屈强なかくれ場所だけは、意地の悪い彼に知られ度はない彼の母に對する考へが、そして微かながら彼の母の幻に打つかつたその柔かい感情が、次の瞬間にはそつと彼の胸から消えて了つてゐた。

「百合子さん。私の御訊きしたいのは、荒井博士のお宅からどうして出たかと言ふ事じやないんです。あなたが、此んな所で何故泣いてゐるかを知れば好いのです」

が、朱文啓は、ちよく〳〵とそのさぐりの言葉をやめなかつた。

「しかし、荒井博士の研究所はどうするおつもりなんです」

彼女は、例のいたづら氣がそんな間際にも彼女の胸に浮んで來てゐた。

「荒井博士? だつて、當分は先生のご用事には妾が必要でなくなつてるんだわ、若しかすると先生は別なご用に妾が必要なのかも知れないけれど」

「別の用事? 一體それはどう言ふ意味なんですか」

朱少佐は、ぢろりと彼女の横顏をみた。

彼女は、くすくすと、完るで今までとは違つた晴れやかな微笑を口もとに浮べてゐた。

「先生は妾を手離したくなかつたんだわ。先生は妾の手傳ふ樣な仕事が當分なくなつて了つてゐるのに、妾を離したがらないのだわ」

「しかし、それはどう言ふ意味なのです。あの篤學な、そして謹嚴な博士が、あなたをどうしようと言ふのです」

「あら、先生は何もしやしないわ。一言だつて、妾の氣になる樣な事も仰言らないわ。だけど妾には分るんですの、で、妾あの方に、實は嘘を言つて了つたのよ」

彼女は、まるで小娘かなどの樣に笑つて了つた。

「嘘を?」

朱文啓は、決して笑はなかつたのであつた。

「嘘を。田舍の母が妾に會ひたがつてゐるので、暫くお暇を下さいとさう言つたのよ」

朱文啓は、しかし彼女のその言葉に充分の信を持たないでゐた。

「何て、惡ひつきでせう。故郷に母を持つてゐるものには、そんな白々しい嘘は言へないわ。妾は母が病氣で何時どうなるか判らないとも言つたのよ」

母! この言葉は朱文啓の心の中にも、ふと、不思議な響きを持つて胸に描いてゐるのに氣ついた

新刊紹介

▲商業世界(四月號) 東京京橋區小傳馬町一ノ三商業世界社(定價三十五錢)
▲札幌農林學會報(三月號) 北海道帝國大學農學部内札幌農林學會
▲運動界(五月號) 東京市牛込區下宮比町一番地運動界社(定價五十錢)
▲植民(五月號) 海外商業發展號 東京市麴町區下六番町五十番地 日本植民通信社(定價五十錢)
▲大衆(五月號) 東京市芝公園十號の四大衆社(定價三十錢)
▲海外(五月號) 亞細亞開發號東京市外落合町文化村海外社(定價四十錢)
▲新使命(四月號) 東京市麴町區内山下町一の一新使命社(定價四十錢)
▲海外經濟事情(外務省通商局編纂) 東京市京橋區築地三丁目十五番地中尾印刷所
▲日本魂(五月號) 東京市京橋區櫻欄兩側日本魂社(定價三十五錢)

五月川柳課題

五月五日締切
▽「逃げる」 長谷川百穴選
五月十日締切
▽「談判」 小倉蜂朗子選
五月十五日締切
▽「視察」 編輯局選
○各題必ず別紀一人五句限

滿日文藝係

▲所有と社會主義(第十五卷四號) 東京麴町永樂町滿鐵東亞經濟調査局
▲明德論叢(五月號) 東京市芝區田村町七番地明德會出版部(定價十錢)
▲カツトブツク 東京市京橋區平河町六の二四實業界社(定價六十錢)
▲實業世界(五月號) 東京日本橋區本石町三丁目博文館(定價四十錢)
▲我宗教 大阪府下長野町二三四番地大道園(十錢)
▲ソ聯邦一九二八年の國勢調査について 東京市麴町區内幸町一丁目三番地日露協會

F—13

五月人形のお手入に

世界一家庭必備の防蟲料

藤澤樟腦

只今から害蟲の活動期で盛に孵化繁殖する時です

衣服 書畫 骨董 毛織物 等貴重品の蝕害を受ける最も危險な時期ですから寸時もお手入れを怠つてはなりません

藤澤樟腦は殺蟲の効果優秀なるのみでなく實に濕氣をはじく力極めて强烈で常に害蟲の孵化繁殖を防ぎますのでその殺蟲力と併せて保存上の効果一層甚大であります

來近ナフタリン・パラピン混入の粗惡品多し「錘馗印」に御注意

左記は陸軍被服本廠發表の樟腦ナフタリンの比較表です

	一立方尺に對する使用量	箱に入れた蟲の數	死んだ蟲の數
樟腦	二、五	一三〇	一〇八
ナフタリン	三、五	一三〇	三

「衣服のお手入法」 御申越次第進呈

「樟樹栽培の手びき」 郵券貳錢封入御申越次第進呈

大形 中形 小形 藤石形

フルトーゼ マクニン 發賣元 藤澤友吉商店
大阪市東區道修町二
支店 東京市日本橋區本町
支店 京城府西小門町四二

石拔桝量保證 事務所 大連榮町一番地

美味白米は

泉陽精米所に限る

電話三四二七番又はハガキにて御注文下さらば市内は迅速に御屆けいたします

◆頭の痛む時 ◆齒の痛い時 ボンヤリした時

ノーシン

のんだ心地よさ何に例へんようもなし

常盤橋に……素的に氣持の好い……マルイパンの紅茶店が出來ました
店は小さくても味は大連一流
是非……御來店下さい
紅茶一杯のお客樣を歡迎致します

マルイパンン店 常盤橋 電八二一五一

肺病、肋膜には
眞正 獺(カワウソ)の肝(キモ)
(說明書贈呈ニセモノ御注意)
發賣本舖 大連市榮町二 佐々木洋行 電二一三四二

井上醫院

大連浪速町一丁目 電話五二六〇番

性病(梅毒淋疾 軟性下疳) 皮膚病 泌尿器病 生殖器障碍

野中醫院

大連市吉野町二五 電話六四四一番

性病(梅毒淋疾 軟性下疳) 皮膚病

汽車汽船で御旅行の事は何でも御利用下さい
ジヤパンツーリストビユーロー
大連案内所 伊勢町浪速町角 電五五五四

大連汽船出帆

●青島、上海行
榊丸 五月八日前十一時
大連丸 五月十一日前十一時
天津丸 五月十四日前十一時
●天津行
天潮丸 五月九日後四時
長平丸 五月十二日後四時
天津丸 五月十五日前九時
●登州府、龍口行
隆平丸 五月十一日後六時
●香港、廣東行
萬達丸 五月九日
東洋丸 五月十七日
●營口行
長順丸 五月十日
●阪神行
長順丸 五月十五日
●安東行
濟通丸 五月十三日後六時

大連汽船株式會社 電話番號代表四一八五番
專屬荷扱店(大連市敷島町) 永和公司 電話七二七五・七八六八番

政記輪船出帆

永利號 五月八日芝罘行
廣利號 五月九日威海行
有利號 五月九日安東行
庶利號 五月七日威海行
安利號 五月七日青島行
宏利號 五月七日右虎咀行
純利號 五月十三日上海行
増利號 五月七日上海行

政記輪船股份有限公司 電話四二一一四番

高橋汽船大連出帆

●芝罘行 大連芝罘間定期船
歸義丸 五月八日午後六時
代理店 大連加賀町三〇 鹿玉軒記 電六二一七・三八五一

社船大連出帆

●鹿兒島佳の江行
泰東丸 五月
●天津營口行
南昌丸 五月
●大阪行
昭勢丸 五月
●函館小樽行
光德丸 五月

大連市山縣通二二九 栃木商事株式會社 大連出張所 電話七四一八番

日清汽船大連出帆

●青島、上海行午前九時出帆
華山丸 五月十四日
嵩山丸 五月九日
代理店 大阪商船株式會社 大連支店 電話四一三七番

大阪商船出帆

●門司神戸(大阪行)午前十時出帆
はるびん丸 五月八日
うらる丸 五月十二日午後四時
香港丸 五月十四日
ばいかる丸 五月十七日
●上海福州基隆高雄行後三時出帆
福建丸 五月十四日
盛京丸 五月廿四日
長沙丸 六月五日
●朝鮮經由長崎鹿兒島行
關東丸 五月廿一日
●北米シヤトル、タコマ行(上海神戸四日市橫濱經由)
あふりか丸 五月十二日
●紐育行(神戸四日市橫濱經由)船客お斷り
へいぐ丸 五月廿三日
●歐洲行(上海香港新嘉坡經由)船客お斷り
あんです丸 五月三十日
●天津行
武昌丸 五月十一日
貴州丸 五月十八日
河南丸 五月廿五日
●横濱直行(後三時出帆)
河南丸 五月十日
武昌丸 五月十七日
貴州丸 五月廿四日

大阪商船株式會社大連支店 電話四一三七番
專屬船客案內所 滿洲旅館協會 信濃町遼東ホテル內 電四一三一番
乘船切符發賣所 ジヤパンツーリストビユーロー大連案內所 大連市伊勢町 電五五五四番
專屬荷客扱店(大連市山縣通) 國際運輸株式會社大連支店 電話三一五一番
大山通り切符發賣所 東洋行內 電七〇三四番
沙河口切符發賣所 電九五〇六番
ニホーム荷扱所 電話四八〇二番

阿波共同汽船

●芝罘威海衞青島行
第十六共同丸 五月七日後七時
●芝罘、威海衞、青島行
第廿六共同丸 五月八日後七時
第廿一共同丸 五月十日後七時
●龍南浦行
長山丸 五月十日前十二時
(乘船客及貨物は大連市山縣通二〇〇番地 振興公司へ御照會を乞ふ)
阿波國共同汽船會社 大連支店 電長六八九一・五〇〇一番

日本郵船出帆

●歐洲行
豐岡丸 五月十三日李浦行
松本丸 五月廿七日漢堡行
豐橋丸 六月廿五日漢堡行

近海郵船大連出帆

●長崎、神戸、大阪、橫濱行
相模丸 五月九日
玄武丸 五月卅日
勝浦丸 六月廿一日
●橫濱行
淡路丸 五月十八日
勝浦丸 五月廿四日
相模丸 六月八日
●天津牛莊行
淡路丸 五月十日
勝浦丸 五月十六日
玄武丸 五月廿二日
相模丸 五月卅一日
●基隆、高雄行
神州丸 五月十一日

朝鮮郵船大連出帆

●青島仁川行
會寧丸 五月十一日
●仁川、長崎、鹿兒島行
羅南丸 五月十二日
朝鮮鐵道各主要驛及本社各寄港地貨物受證發行
右汽船出帆日時は天候其他の關係により變更する事有之候
水路圖誌(海圖)販賣所
朝鮮郵船株式會社大連代理店
近海郵船株式會社大連代理店

日本郵船株式會社 大連出張所 大連市山縣通 電話三七三九・七八四六番
監部通(吾妻橋) 專屬客荷取扱店 丸二商會 電話四二四六・五八八八番

島谷汽船大連出帆

●南鮮及日本各港經由伏木行
長成丸 五月八日
大成丸 五月十九日
鮮海丸 五月卅一日
●寄港地 鎭南浦、仁川、群山、木浦、釜山、濟州、萩、境、宮津、舞鶴、新潟、函館、伏木、函館、小樽
●各等客室設備あり
●敦賀伏木新潟行
島谷汽船株式會社大連出張所 大連市山縣通一五三 電長四七一一・三八四三